

令和9～11年度 やすらぎパークとみや施設総合管理業務仕様書

[illegible]

令和 9 年度

品名及び仕様	数量	単位	単価（円）	金額（円）
1 電気設備点検 年2回（令和9年9月、令和10年3月 予定）				
・ エアコン点検・フィルター清掃業務	2	回		
・ 室内機 パナソニック製 6台				
・ 室外機 パナソニック製 6台				
・ 電気給湯設備				
・ 電気工作物点検(低圧)				
・ 太陽光設備				
※外観点検・電流値測定(可能もの)				
小計				
2 消防設備点検業務				
1) 機器点検 年1回（令和10年3月 予定）	1	回		
2) 機器・総合点検 年1回（令和 9 年9月 予定）	1	回		
小計				
3 給茶機保守点検業務 年1回（令和 9 年10月、令和10年 3 月 予定）	2	回		
ホシザキPTE-250HWP-T-BK/WH				
小計				
4 自動ドア点検業務	3	回		
LIXIL社製2台 年3回（令和 9 年 6 月、令和 9 年10月、令和10年3月 予定）				
小計				
5 散水用貯水槽(1基)清掃・水質検査				
1) 清掃 年1回（令和9年10月 予定）	1	回		
2) 雑用水 水質検査 年6回（令和9年4月、6月、8月、10月、12月、令和10年2月 予定）	6	回		
小計				
6 浄化槽維持管理・清掃業務(40人槽) 年12回（令和9年4月～令和10年3月 予定）	12	回		
維持管理・汚泥調整・消毒業務・法定検査				
小計				
7 機械警備業務(巡回含む)	12	ヵ月		
※機械警備の通信回線及び通信料金は別途				
小計				
8 定期清掃業務				
窓ガラス清掃業務 年2回（令和9年9月、令和10年3月 予定）	2	回		
床面洗浄ワックス 168㎡ 年2回（令和9年9月、令和10年3月 予定）	2	回		
小計				
9 レンタルマット(2週間おきに交換)	12	ヵ月		
1800×1200 1枚				
900×750 2枚				
小計				
計				
消費税(10%)				
合計				

令和 1 0 年度

品名及び仕様	数量	単位	単価（円）	金額（円）
1 電気設備点検 年2回（令和10年9月、令和11年3月予定）				
・エアコン点検・フィルター清掃業務	2	回		
・室内機 パナソニック製 6台				
・室外機 パナソニック製 6台				
・電気給湯設備				
・電気工作物点検(低圧)				
・太陽光設備				
※外観点検・電流値測定(可能もの)				
小計				
2 消防設備点検業務				
1) 機器点検 年1回（令和11年3月予定）	1	回		
2) 機器・総合点検 年1回（令和10年9月予定）	1	回		
小計				
3 給茶機保守点検業務 年1回（令和10年10月、令和11年 3 月予定）	2	回		
ホシザキPTE-250HWB-T-BK/WH				
小計				
4 自動ドア点検業務	3	回		
LIXIL社製2台 年3回（令和10年 6 月、令和10年10月、令和11年3月予定）				
小計				
5 散水用貯水槽(1基)清掃・水質検査				
1) 清掃 年1回（令和10年10月予定）	1	回		
2) 雑用水 水質検査 年6回（令和10年4月、6月、8月、10月、12月、令和11年2月予定）	6	回		
小計				
6 浄化槽維持管理・清掃業務(40人槽) 年12回（令和10年4月～令和11年3月予定）	12	回		
維持管理・汚泥調整・消毒業務・法定検査				
小計				
7 機械警備業務(巡回含む)	12	ヵ月		
※機械警備の通信回線及び通信料金は別途				
小計				
8 定期清掃業務				
窓ガラス清掃業務 年2回（令和10年9月、令和11年3月予定）	2	回		
床面洗浄ワックス 168㎡ 年2回（令和10年9月、令和11年3月予定）	2	回		
小計				
9 レンタルマット(2週間おきに交換)	12	ヵ月		
1800×1200 1枚				
900×750 2枚				
小計				
計				
消費税(10%)				
合計				

令和 1 1 年度

品名及び仕様	数量	単位	単価（円）	金額（円）
1 電気設備点検 年2回（令和11年9月、令和12年3月予定）				
・エアコン点検・フィルター清掃業務	2	回		
・室内機 パナソニック製 6台				
・室外機 パナソニック製 6台				
・電気給湯設備				
・電気工作物点検(低圧)				
・太陽光設備				
※外観点検・電流値測定(可能もの)				
小計				
2 消防設備点検業務				
1) 機器点検 年1回（令和12年3月予定）	1	回		
2) 機器・総合点検 年1回（令和11年9月予定）	1	回		
小計				
3 給茶機保守点検業務 年1回（令和11年10月、令和12年 3 月予定）	2	回		
ホシザキPTE-250HWB-T-BK/WH				
小計				
4 自動ドア点検業務	3	回		
LIXIL社製2台 年3回（令和11年 6 月、令和11年10月、令和12年3月予定）				
小計				
5 散水用貯水槽(1基)清掃・水質検査				
1) 清掃 年1回（令和11年10月予定）	1	回		
2) 雑用水 水質検査 年6回（令和11年4月、6月、8月、10月、12月、令和12年2月予定）	6	回		
小計				
6 浄化槽維持管理・清掃業務(40人槽) 年12回（令和11年4月～令和12年3月予定）	12	回		
維持管理・汚泥調整・消毒業務・法定検査				
小計				
7 機械警備業務(巡回含む)	12	ヵ月		
※機械警備の通信回線及び通信料金は別途				
小計				
8 定期清掃業務				
窓ガラス清掃業務 年2回（令和10年9月、令和12年3月予定）	2	回		
床面洗浄ワックス 168㎡ 年2回（令和10年9月、令和12年3月予定）	2	回		
小計				
9 レンタルマット(2週間おきに交換)	12	ヵ月		
1800×1200 1枚				
900×750 2枚				
小計				
計				
消費税(10%)				
合計				

特記仕様書

■業務概要等

1. 目的

この仕様書は、発注者（以下「甲」という。）が実施するやすらぎパークとみやの建物及び附帯施設の安全維持並びに良好な環境の保持と施設の円滑な運営を図るため、これらの施設等を計画的かつ適正に管理することを目的とする。受託者（以下「乙」という。）は、各業務の遂行に当たっては、業務の特殊性を十分理解し、その円滑な運営に支障を来すことのないようにするとともに、これを誠実に実施しなければならない。

2. 履行場所及び施設名

やすらぎパークとみや（宮城県富谷市大亀漆穂二番地内）

3. 施設名

やすらぎパークとみや

4. 委託期間

令和9年4月1日から令和12年3月31日まで

5. 委託料の支払

委託料の支払いは年12回【毎月・事業完了後】とし、乙の請求により支払う。

6. 習熟期間

乙は、甲より指示があった場合、契約締結後、業務開始までの間に、甲の指定する者より業務の引き継ぎを受け、業務を履行する上で必要な事項について習熟しなければならない。この場合、甲はその機会を提供するものとして、乙は自己の負担と責任において行うものとする。

7. 責務

① 法令の遵守

この業務の遂行に当たっては、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、職業安定法、その他関係法令を遵守し、施設の安全と良好な環境の保持に努めなければならない。

② 守秘義務

乙は、業務上知り得た甲の秘密を第三者に漏らしてはならない。このことは、契約の解除及び期間満了後においても同様とする。

③ 信用失墜行為の禁止

乙は、甲の信用を失墜する行為をしてはならない。

④ 業務従事者の明確化

乙は、受託業務の実施に先立って、直接業務従事者に業務をするに適した統一された服装及び名札の着用をさせなければならない。なお、これに掛かる費用は乙の負担とする。

⑤ 業務従事者への指導教育

乙は、甲の業務の特殊性を十分に理解した上、管理運営に支障を来すことのないよう業務従事者に対して受託業務上必要な教育訓練を実施して、円滑な業務の確保を図ることとする。

⑥ 施設管理運営上必要な事業への参加

乙は、甲が実施する施設管理運営上必要な事業に参加しなければならない。

⑦ 業務責任者の選任等

(1) 乙は、受託業務を円滑に遂行するため、各受託業務について業務責任者を選任し、甲の担当者に届け出なければならない。

(2) 業務責任者は、契約内容の履行管理及び業務従事者の業務に関する監督について総括すること。

(3) 業務責任者は、あらかじめ、代行者を選任の上届け出し、受託業務の遂行及び連絡について、責任者が不在であっても受託業務に支障を来さないようにすること。

⑧ 本委託に関する受託条件

受託者は、ISO9001 の認証を受けていること。ISO9001 の品質マネジメントに基づき日常的に品質管理を行い、本業務における品質の向上に努めること。また、甲に対し ISO9001 の品質マネジメントに基づいた書面による報告を1カ月に1度行うこと。

8. 業務実施計画書等の提出

① 業務実施計画書の提出

乙は、各業務の実施に当たり、業務実施計画書を当該月の前月の25日（25日が閉庁日の場合は、その直前の開庁日）までに甲の担当者に提出し、承諾を得るものとする。

② 業務組織表の提出

乙は、各業務別に業務組織表を契約締結後、速やかに甲の担当者に提出すること。

また、災害・事故発生時の体制表及び連絡表も併せて提出すること。

③ 業務報告書等の提出

(1) 乙は、受託する各業務別実施状況について、当該仕様書の定めに従い業務報告書を提出するものとし、甲の担当者の確認を受けるとともに、検査員の検査を受けるものとする。

(2) 業務報告書、記録等報告書の様式（関係法令の定めがある場合を除く。）は、甲と協議の上定めるものとし、その作成費用は、乙の負担とする。

(3) 関係法令等に基づく業務については、法令様式による報告書を作成し提出するとともに、必要な官公庁等への連絡及び書類提出等の届出手続は、甲の担当者に協力し遅滞なく処理すること。この場合、写しを提出すること。

④ 改善業務

甲は、委託業務に関して調査又は報告を求め必要があるときは改善を求めることができるものとする。この場合、乙は直ちにこれに応じてその結果を報告しなければならない。

⑤ 次年度以降への対応

乙は、機器の保守、点検、整備を行うに当たっては、機器の構成部材及び構成部品類の劣化、摩耗状況等を調査し、次年度以降に予想される補修又は取替えを要する部品リスト及び参考見積りを提出すること。

9. 予防措置

① 危害及び損害予防措置

乙は、業務の実施に当たっては、甲又は第三者に危害又は損害を与えないように万全の措置を採らなければならない。また、危害又は損害を与えた場合、若しくはその恐れのある場合には、業務責任者は、直ちに甲の担当者に報告すること。

② 破損箇所に対する措置

業務従事者は、業務中に発見した破損及び故障箇所について適切な判断を下し、材料部品の交換修理又は応急措置を講じ、応急措置ができない場合には、適切な損害予防措置を採らなければならない。

③ 賠償責任

乙が、故意又は過失等により甲及び第三者に損害を与えたときは、乙において賠償責任を負うものとする。

10. 担当者の立会い等

業務責任者は、業務終了後、甲の担当者の立会いを求めるものとする。

1 1. 再委託

乙は、業務の全部を一括して、第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。
業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ、甲の承諾を得なければならない。この場合は、再委託届を委託者に提出する。

1 2. 疑義の解釈

この仕様書に疑義があるとき又はこの仕様書により難い事案が生じた場合は、あらかじめ甲の担当者と協議すること。

1 3. その他

- ① 異常等を発見した場合は、直ちに甲の職員に連絡し、指示を受けること。
- ② 施設内外で落とし物や忘れ物を発見した場合は、品物の大小に関わらず甲に届けること。
- ③ 本仕様書に明記されていない事項、業務の遂行上必要なことは誠実に対応すること。

■業務内容

1. 電気設備点検業務

① 対象機器

- (1) エアコン 室外機 パナソニック製 6台
室内機 パナソニック製 6台

(2) 電気温水器点検

(3) 電気工作物点検

(4) 太陽光設備

② 実施回数

(1) 定期保守点検 年2回

(2) 臨時保守点検 定期保守点検以外の故障の際、発注者の請求により行うこと。

(3) 定期保守点検の実施は月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時までの間に実施するものとする。

③ 実施内容

外観点検及び測定器を用いた点検

④ 点検報告書

保守点検整備を行ったときは、直ちに点検報告書を作成し、発注者に提出する。

2. 消防設備点検業務

消防法第17条3の3の規定に基づき、次の種類に応じた点検を定められた方法により、定められた期間毎に行い、点検結果報告書に消防庁告示第14号により定められた点検票を添付し点検の結果、不適事項等については、速やかに、改修復旧等の提案を行うこととする。

① 機器点検

(1) 消防用設備等の機器の適正な配置、変形、損傷並びに各機器の表示板等の状態及び設置状況が判断できる事項について、それぞれ定められた点検基準に従って確認すること。

(2) 消防用設備等の機器の機能について、外観点検及び簡単な操作をすることにより判断できる事項を、定められた点検基準に従って確認すること。

② 総合点検

総合点検の対象となる消防用設備等の全部または一部を作動させるか、または使用することにより総合的な機能について定められた点検基準に従って確認すること。

3. 給茶機保守点検業務

(1) 対象機種

ホシザキ社製

P T E - 2 5 0 H W B - T - B K / W H

(2) 実施回数

- ・ 定期保守点検 年 2 回
- ・ 臨時保守点検 定期保守点検以外の故障の際、発注者の請求により行うこと。
- ・ 定期保守点検の実施は月曜日から金曜日までの午前 8 時 3 0 分から午後 5 時までの間に実施するものとする。

(3) 実施内容

テスター・クランプメータ・メガテストの計測器を用いた点検

(4) 負担区分

業務に必要な水・電気は、甲の負担とする。消耗雑材料類は乙の負担とする。

(5) 点検報告書

保守点検整備を行ったときは、直ちに点検報告書を作成し、発注者に提出する。

4. 自動ドア保守点検業務

① 対象設備

LIXIL 社製 2 台

② 実施回数

- (1) 定期保守点検 年 3 回
- (2) 臨時保守点検 定期保守点検以外の故障の際、発注者の請求により行うこと。
- (3) 定期保守点検の実施は月曜日から金曜日までの午前 8 時 3 0 分から午後 5 時 0 0 分までの間に実施するものとする。

③ 実施内容

定期保守点検は次の項目について行う。

- (1) ドアエンジン装置各部の点検及び調整
- (2) ドアエンジン開閉速度、クッション差動の異常有無の点検及び調整
- (3) ドアエンジン装置の電気回路の異常有無の点検及び調整
- (4) 潤滑油不足の有無、点検及び調整
- (5) ドアが当たっていないか、すれていないかの点検調整
- (6) 消耗度のはなはだしい部品はないかの点検
- (7) その他の細部の点検及び調整

④ 部品の交換

無償交換部品、ヒューズ、標準ライナー・ボルト類・ビス類・ベルト・吊車・プーリーセンサー・補助センサー・レール・連結機構とする。

⑤ 点検報告書

保守点検整備を行ったときは、直ちに点検報告書を作成し、発注者に提出する。

5. 散水用貯水槽清掃

① 対象設備

型式：別紙「散水用貯水槽詳細図」「散水用貯水槽部品表」参照

② 実施回数

(1) 年 1 回

(2) 定期保守点検の実施は月曜日から金曜日までの午前 8 時 30 分から午後 5 時 00 分までの間に実施するものとする。

③ 作業内容

(1) 水槽内部は換気を十分にとり、安全管理には十分注意する。

(2) 槽内排水は水中ポンプ等を使用し完全に排水する。

(3) 槽内排水後、入槽して作業前点検を行う。

(4) 槽内で使用する機器についても使用前に消毒を行う。

(5) 槽内を高圧洗浄機にて清掃し、残水処理いて完全に排水する。

(6) マンホール蓋、蓋溝、タラップ、各バルブ、配管等を点検する。

(7) 槽内清掃後、次亜塩素酸ソーダ 100 mg/L を使用して槽内を消毒し、槽内を再度高圧洗浄して排水を完全に行う。

④ 負担区分

業務に必要な水・電気は、甲の負担とする。消耗雑材料類は乙の負担とする。故障等の修理については別途する。

⑤ 点検報告書

保守点検整備を行ったときは、直ちに点検報告書を作成し、発注者に提出する。

6. 浄化槽維持管理業務

① 対象設備

型式 ニッコー社製 NSE-40 型 (40 人槽)

② 実施回数

(1) 平常時に行われる管理作業 (点検・保守・清掃・水質管理等)

- ・ 維持管理 年 12 回
- ・ 簡易水質検査 年 12 回 (水温・水質イオン濃度 (PH)・透視度・残留塩素)
- ・ 滅菌剤補充 年 12 回
- ・ 汚泥の引き抜き 年 1 回

(2) 定期保守点検の実施は月曜日から金曜日までの午前 8 時 30 分から午後 5 時 00 分までの間に実施するものとする。

(3) 浄化槽法に定める「第 11 条法定検査」については、必要な手続き等を行い (社) 宮城県浄化槽協会に届け出るものとし、結果の報告を行うこと。

③ 必要な費用負担

業務に係る消耗品、法定第 11 条検査に伴う費用はすべて受託者の負担とする。

④ 点検報告書

保守点検整備を行ったときは、直ちに点検報告書を作成し、発注者に提出する。

7. 機械警備業務

警備業法その他関係法令を遵守し、警備対象における侵入、盗難及び火災等の防止並びに不法・不良行為を排除し安全な施設環境を確保する。

特に、開所までの期間において、不測の事態が発生した場合へ迅速な対応ができるよう十分な体制を整備する。併せて、維持管理マニュアルを作成し、開所から実施される受付業務者への確実な引き継ぎ作業を行う。

① 実施内容

(1) 警備業務用機械装置による防犯監視及び自動火災報知設備による防災監視

- ・ 警報装置により、異常信号を受信した場合には、速やかに現地へ急行し異常状態の原因究明、被害拡大防止に努めるとともに必要に応じて関係先への通報、連絡を行うこと。
- ・ 警報装置は、常に正常に機能するよう管理するものとし、適時保守点検を行うこと。
- ・ 毎日、午後 9 時 00 分から翌日の午前 5 時 00 分までの間に 1 回の巡回警備を行うこと。

② 異常事態発生時の対応

警備対象における侵入、盗難及び火災等並びに不法・不良行為等の異常事態を検知した場合には、現場に急行し状況を確認の上、甲へ連絡するとともに、必要に応じ

て、警察、消防等の関係機関へ通報するほか、当該異常事態の拡大防止の措置を講じなければならない。また、速やかに事故速報を提出し、事故処理報告書を翌日までに提出するものとする。

③ 警報装置の設置

(1) 乙は、警報装置の設置について、あらかじめ機器設置計画図等により甲の承認を得るものとし、警備開始日時までに、業務に支障ないように設置するものとする。

(2) 乙は、警報装置の設置が完了したときは、現地にて、甲の承認を受けるものとする。

(3) 乙が設置する警報装置は、甲が損料計上し乙の所有とする。また、保守点検は乙が行い、保守及び機器交換等の経費については、乙の負担とする。

④ 何らかの事情で警報装置の設置が遅れる場合は、当該機器設置までの期間において、人的警備により対応する。

⑤ 警報装置の撤去

(1) 乙は、警備終了日までに警報装置の撤去を行うものとする。この場合、警備終了日時まで人的警備により対応するものとする。

(2) 乙は、警報装置の撤去が完了したときは、現地にて甲の確認を受けるものとする。

⑥ 警備業法第4条の規定による都道府県公安委員会の認定を受け、同法40条の規定による届出を宮城県公安委員会に行っている者であること。

⑦ 一括再委託の禁止等

この契約について委託業務の全部又は主要な一部を第三者に委託してはならない。

8. 定期清掃業務

① 床面洗浄ワックス塗布業務（年2回）

- （1）床面は、移動可能なものは移動し、自在箒等又は真空掃除機で除塵すること。
- （2）当該床面に最適な中性洗剤を塗布し、ポリッシャーで洗浄すること。
- （3）洗浄後は、水拭きを行って洗剤を除去し、十分に乾燥後、樹脂系ワックスを塗布すること。
- （4）什器・備品等を汚さないよう実施し、作業のため移動した場合は、現状に復すること。
- （5）清掃日程については、発注者と調整のうえ決定する。

② 窓ガラス清掃（年2回）

- （1）ガラス面に専用洗剤を塗布した後、窓用スクイージで水切りし汚水を除去する。
- （2）ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取ること。
- （3）ガラス周りのサッシをタオルで拭くこと。
- （4）作業箇所により上記の作業方法が採用できない事情がある場合は、発注者と十分協議して 掃作業方法を決定する。

9. レンタルマット

① 1,800×1,200 1枚

② 900×750 2枚

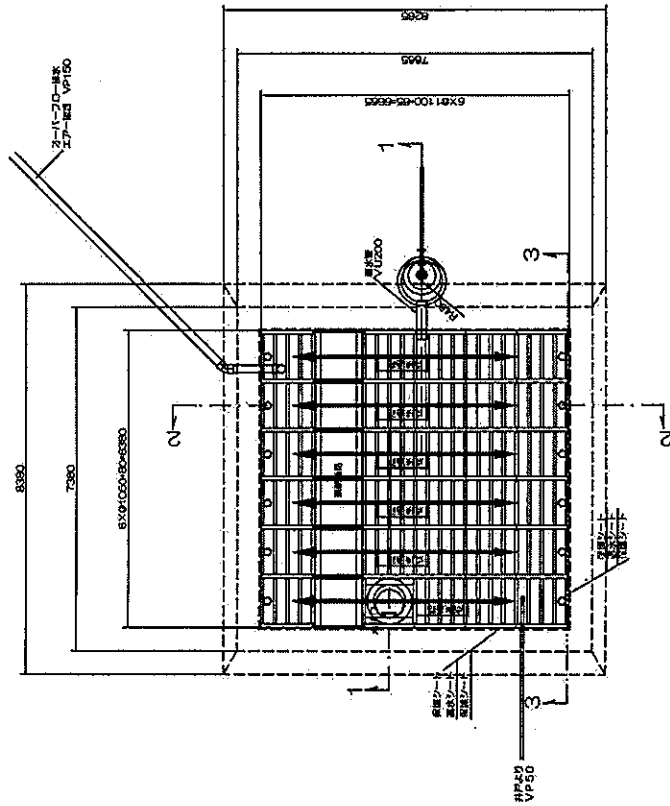
交換回数 年24回（1ヵ月に2回・2週間ごとに交換）

甲が賃貸期間の商品を紛失した場合は、相当額を以って弁償金を甲は乙に支払うものとする。

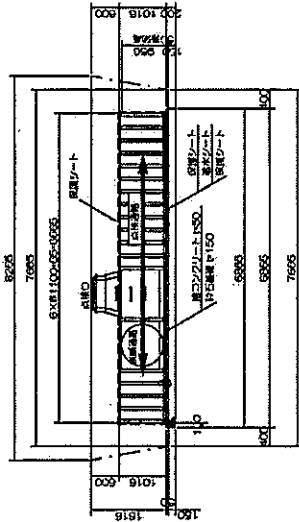
散水用貯水槽詳細図

S-1/60

平面図



2-2断面図



散水材料

散水シート：不織布（シート上下） ϕ 10mm
 散水シート：高強度ビニール ϕ 1.5mm

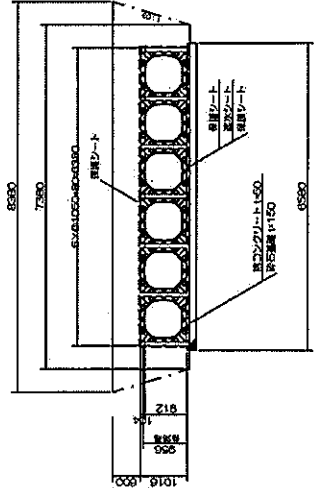
貯水材料

（鋼板）（鋼管）（鋼管）（鋼管）
 6380X665X1.016 ϕ 43203 m
 （鋼管）（鋼管）（鋼管）（鋼管）
 6380X665X0.809X0.83 ϕ 35847 m

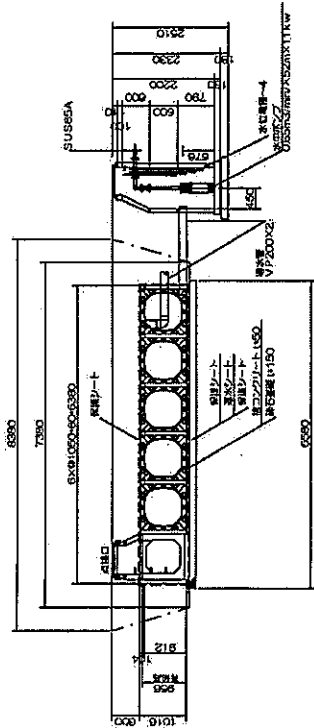
貯水構造に於て

流入管の上流側に二重フィルタを設置してください
 自動排水機 T-2S の場合、土留り0.5m以上としてください
 貯水構造は建設の順序の異なる場合があり、設置していただく
 場合は、事前に設計図面を参照し、必要箇所を修正してください
 貯水構造は、貯水構造による水の汚染を防ぐために、定期的に清掃してください

3-3断面図



1-1断面図



工事名	散水用貯水槽詳細図
図面名	散水用貯水槽詳細図
作成年月日	
縮尺	S-1/60
会社名	
事業所名	富山市

散水用貯水槽部品表

種類	部材名	記号	備考
パネケープ	上下板	PC1-TB25N	T-25 仕様
	本体	PC1-CP100N	高さ 1000 mm
		PC1-CP50B	高さ 500 mm
	側板	PC1-SP100N	高さ 1000 mm, 幅 615 mm
		PC1-SP50	高さ 500 mm, 幅 1165 mm
	鏡板	PC1-EP100N	高さ 1000 mm
		PC1-EP50	高さ 500 mm
	中間板	PC1-MPN	—
	補強板	PC1-RP	—
付属部品	目地棒	PC1-CB100	高さ 980 mm
		PC1-CB50	高さ 480 mm
	側板目地材	PC1-SPCB100	PVC 製
	塩ビ管	VP125-100	高さ 995 mm
		VP125-50	高さ 495 mm
パネケープ点検口	中間管取付型	PC1-CT-A5	RC 製・5 孔・ステップ 3 本
	中間型	PC1-CT-A4	RC 製・4 孔・ステップ 3 本
	底部管取付型	PC1-CT-B4	RC 製・4 孔・ステップ 2 本
	底部型	PC1-CT-B3	RC 製・3 孔・ステップ 2 本
パネケープ 横断通路	本体	PC1-CO-H	RC 製
	側壁	PC1-CO-S	RC 製
	接続部材	PC1-GO-J	GRC 製
	隣接部材	PC1-CP-N	再生プラスチック製
雨水用縁塊	本体	SPPC-CO-H	RC 製・ステップ 1 本
	アジャスター	SPPC-CO-A	RC 製・ステップ 1 本
	直壁	SPPC-CJ-AR	RC 製・ステップ 2 本
T-25 仕様は総重量 25 トン以内の車両を表している。 塩ビ管は、硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) を使用。 パネケープ横断通路隣接部材はパネケープ本体を加工した部材。			

施設平面図

S=1:300

A、IP1
B=200.880
T.L.=7.767
S.L.=0.161
C.L.=15.536

座標点	X	Y
A_BP	-100749.401	8768.277
A_BC1	-100785.202	8702.210
A_IP1	-100799.722	8686.856
A_ED1	-100804.681	8689.872
A_IP2	-100999.912	8563.596
A_IP3	-100998.687	8541.089
A_EP	-100862.547	8518.469
B1	-100841.713	8648.082
B2	-100826.611	8625.250
B3	-100798.753	8610.563
B4	-100817.778	8648.252
B5	-100787.822	8623.665
C1	-100855.838	8616.232
C2	-100855.510	8597.785
C3	-100809.510	8599.507
C4	-100847.883	8581.264
C5	-100832.804	8597.248
C6	-100857.142	8586.844
C7	-100819.507	8539.782
C8	-100808.811	8526.543
C9	-100806.802	8530.776
C10	-100846.238	8557.827
C11	-100821.999	8588.231
C12	-100825.758	8531.879
C13	-100848.123	8551.197
D_BP	-100816.913	8588.599
D_IP1	-100813.856	8586.571
D_IP2	-100823.157	8561.289
D_IP3	-100817.195	8544.882
D_IP4	-100818.325	8557.781
D_IP5	-100824.632	8530.881
D_IP6	-100828.858	8526.797
D_IP7	-100858.491	8530.822
D_IP8	-100870.137	8516.836
D_EP	-100875.883	8516.310
K1	-100814.468	8506.888
K2	-100827.119	8525.290
K3	-100824.344	8528.673
K4	-100821.274	8525.290
K5	-100818.909	8531.309
K6	-100816.445	8532.847
K7	-100815.532	8534.051
K8	-100811.151	8536.885
K9	-100808.123	8537.945
K10	-100805.541	8513.288
K11	-100802.019	8513.519
K12	-100809.575	8513.912
K13	-100807.186	8514.955
K14	-100804.299	8517.423

一般墓地
(和式墓地)

個別埋蔵墓地

芝生墓地

合葬墓地

愛玩動物霊園

倉庫

管理棟

…献花台、焼香台

…水汲み場、桶置き場

工事名	新葬儀場
図面名	新葬儀場 -1
作成者	〇〇〇
縮尺	S=1:300
会社名	〇〇〇
事業所名	〇〇〇

令和４年度(仮称)やすらぎパークとみや管理棟新築工事

図面リスト

A 建 築 (全体)				E 電 気 設 備				M 機 械 設 備			
1	表紙・図面リスト		26	管理棟：軸組計算3-1（壁釣合い判定表）		1	電気設備工事特記仕様書①		1	機械設備工事特記仕様書①	
2	特記仕様書 ①		27	管理棟：軸組計算4-1（柱壁伏せ図）		2	電気設備工事特記仕様書②		2	機械設備工事特記仕様書②	
3	特記仕様書 ②		28	管理棟：軸組計算5-1（柱接合部判定表）		3	照明器具姿図・凡例		3	機器表・器具表・樹リスト	
4	特記仕様書 ③		29	管理棟：基礎伏せ図		4	電灯配線図		4	給排水衛生設備図	
5	特記仕様書 ④		30	管理棟：基礎詳細図		5	コンセント配線図		5	換気設備図	
6	各工事の区分表		31	管理棟：基礎断面・姿図		6	幹線・弱電配線図		6	浄化槽 頂版開口・平面・断面図、仕様表	
7	付近見取図		32	管理棟・その他 基礎詳細図		7	倉庫棟 電気設備図		7	敷地内既存機械設備図	
8	開発計画図		33	管理棟：地盤改良工事					8	空調和設備図	
9	配置図		34	管理棟：床伏図					9	暗渠配管ルート（既設埋設管）	
9-1	敷地求積図		35	管理棟：梁、小屋伏図							
9-2	配置詳細図		36	管理棟：シックハウス検討表							
10	建物面積表、平均地盤面算定表		37	管理棟：太陽光パネル詳細図							
11	管理棟：仕上表		38	管理棟：調理台・化粧台 詳細図							
12-1	管理棟：平面詳細図		39	管理棟：室名札、竣工表示板 詳細図							
12-2	管理棟：平面詳細図（備品有り）		40	倉庫棟：平面図、仕様書、立面図、断面図							
13	管理棟：立面図		41	倉庫棟：基礎伏図、基礎詳細図							
14	管理棟：各断面図		42	管理棟：屋外ラウンジ詳細図							
15	管理棟：矩形図		43	外構工事図							
16	管理棟：天井・軒天伏せ図		44	既存：防火水槽詳細図							
17	管理棟：法規LVS		45	屋外物置基礎詳細図							
18	管理棟：鋼製建具表、鋼製建具配置図										
19	管理棟：木製建具表、建具配置図										
20	管理棟：展開図①										
21	管理棟：展開図②										
22	管理棟：展開図③										
23-1	管理棟：展開図④										
23-2	管理棟：展開図⑤										
24	管理棟：軸組計算1-1（見付面積表・床面積表）										
25	管理棟：軸組計算2-1（軸組判定表）									合計	65枚

(令和4年4月版)建築工事特記仕様書 宮城県土木部営繕課

設計審査

営繕課長
令和 年 月

総括課長補佐

班長

班員

宮城県土木部営繕課

特記仕様書

I 工 事 概 要

1 工事番号・名称

令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事

2 工事場所

富谷市大亀漆穂一番1-1、1-5の各一部、漆穂二番9、11、12-1、12-2、12-3、15、21-2、の各一部、水路

3 用途地域等

都市計画区域（内 外）用途地域（指定無）
防火地域等（防火準防火指定なし）22条）
その他の地域・地区（市街化調整区域）

4 主要用途

管理事務所・休憩所（市営墓地・パークゴルフ場）

5 敷地面積

2,743.67㎡

6 工事の概要

建物本体工事：管理事務所・休憩所
付帯設備工事：外構工事
電気設備工事
機械設備工事

7 別 途 工 事

8 そ の 他

9 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
○ 構造特記仕様書 ○ 外構工事特記仕様書 ○ 植栽工事特記仕様書
解体工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書

II 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（平成31年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（平成31年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）「公共建築木造工事標準仕様書（平成31年版）」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と⊗印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（ ） 、 < > 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項 目 特 記 事 項

① 一般事項

○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。
○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
○ 施工体系図を現場に掲示すること。
・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
調査範囲 ※ 図示

1 ② 適用基準等

○ 建設工事執行規則（昭和39年3月宮城県規則第9号）
○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成31年4月1日施行）
○ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版）
○ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定 平成12年版）及び工事写真撮影ガイドブック＜建築工事編及び解体工事編＞（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年度版）
・ 建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版）

3. 概成工期

工事工期より 日前 (1.2.1)

4. 工事実績情報（ORINS）の登録

※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） (1.1.4)
受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
・ 適用しない

5. 発生材の処理等

発生材の処理 (1.3.8)
・ 引渡しを要するもの（ ）
・ 特別管理産業廃棄物（ ）
受入れ施設名・所在地(km)
・ 再生資源化を図るもの

種 類 受入施設名 所在地 (Km) 備 考

・ セメントコンクリート塊

・ アスファルトコンクリート塊

・ 建設発生木材

・ 建設汚泥

・ 現場において再利用を図るもの（ ）
・ その他の廃棄物（安定型）（ ）
受入れ施設名・所在地(km)
・ その他の廃棄物（管理型）（ ）
受入れ施設名・所在地(km)

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

6. 電気保安技術者

・ 適用する ※ 適用しない (1.3.3)

7. 事故報告

工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧. 建築材料等

材料の品質等 (1.4.2)
本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮 (1.4.1)
本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

ホルムアルデヒド仕様

使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の 場合の該当する建築材料
1） J I S 及び J A S の F ☆☆☆☆品
2） 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
3） 次の表示のある J A S 適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。

測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μg/m3 ・ 0.08ppm)
※ フォールム (濃度指針値 220 μg/m3 ・ 0.05ppm)
※ トルエン (濃度指針値 260 μg/m3 ・ 0.07ppm)
※ フェノール (濃度指針値 3,800 μg/m3 ・ 0.88ppm)
※ シロリン酸 (濃度指針値 200 μg/m3 ・ 0.20ppm)

測定する室等：（ 屋内ラウンジ、事務室 ）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。

測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を2部提出する。
a 測定結果
b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

・ 総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。

「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑪. 建築基準法による風圧力等の指定

適用工事 建築基準法の指定

・ 長尺金属板葺 ・ 折板葺 風速(V0) ※ 30
・ 粘土瓦葺 ・ アルミニウム笠木 地表面粗度区分 II ・ III
・ ガラスブロック ・ ALC外壁パネル 多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無
・ 押出成形セメント板外壁パネル
・ 重量シャッター ・ 軽量シャッター
・ オーバーヘッドドア

※ 図 示 ・ 現状平均地盤高 (1.5.2)

・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工 事 種 目 技能検定職種（技能検定作業）

仮設工事 ・ とび（とび作業）

鉄筋工事 ○鉄筋施工（鉄筋組立作業）

コンクリート工事 ○型枠施工（型枠工事作業）
・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）

鉄骨工事 ・ とび（とび作業）

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）

防水工事 ・ 防水施工（アスファルト防水工事作業
・ ウレタンゴム系遮膜防水工事作業
・ アクリルゴム系遮膜防水工事作業
・ 合成ゴム系シート防水工事作業
・ 塩化ビニル系シート防水工事作業
・ セメント系防水工事作業
○シーリング防水工事作業
・ 改質アスファルトシート防水工事作業
・ FRP防水工事作業）

石工事 ・ 石材施工（石張り作業）

タイル工事 ○タイル張り（タイル張り作業）

木工事 ○建築大工（大工工事作業）
受入れ施設名・所在地 (km)

屋根及びとい工事 ○建築板金（内外装板金作業）
・ かかわらぶき（かわらぶき作業）

⑩. 特別な材料の工法

⑫. 設計 G.L.

⑬. 技 能 士

⑭. 完成図等

⑮. 完成写真

⑯. 設備工事との取合い

⑰. 火災保険等

18. 住宅瑕疵担保責任

① 仮囲い

※ 設ける ・ 設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・ シートゲート(H= , W=) × 箇所

2 ② 危害防止

③ 交通誘導員

④ 揚重機械器具

・ 配置する（ 日 × 人 = 人日） ※ 配置しない
・ トラッククレーン（ t吊り）× 日
・ （ t吊り）× 日

5. 監督職員事務所

※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）
・ 設ける（規模 m程度 請負者事務所と同棟 ・ 可 ・ 否）
備品（ ）

6. 工事表示板

※ 設置する（設置枚数 1枚） ・ 設置しない
営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

7. 事業コスト表示板

・ 設置する（設置枚数 ※ 1枚 ・ 枚） ※ 設置しない
営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

8. 工事用水

構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・ 無償） ※ 利用できない

9. 工事用電力

構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・ 無償） ※ 利用できない

10. 工事用通路

※ 指定しない ・ 指定する（図示）

① 足場等 (2.2.4)

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

12. その他の仮設

3 ① 埋戻し及び盛土の種類

種別 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1)
C種の場合 建設発生土受入数量 m³

2. 建設発生土の処理 (3.2.5)

○ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。
・ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・所在地 (km)
・ 有害物質の含有を調査する。
調査範囲及び項目 ※図示
・ 存置する ・ 存置しない (3.3.1)
・ 設置する ・ 設置しない (3.3.3)

3. 有害物質含有調査

4. 山留め

金属工事

・ 内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
・ 建築板金（内外装板金作業）
・ バルコ

19

9. フローリング張り

内装工事

10. 畳敷き

⑪. 石こうボードその他ボード及び合板張り

・単層フローリング

(19.5.2~3) (19.5.5~6) (表19.5.3~4)

種 別	樹 種	厚 さ (mm)	工 法	塗 装
・ フローリングボード1等	※なら	※1 5 幅 7 5 長さ400以上	・ 釘止め工法 ・ 接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステンの上 ワックス ・ 生地のままワックス ・ 既塗装品
・ フローリングブロック1等	※なら	※1 5 (303×303)	・ 接着工法	・ 既塗装品

・複合フローリング

種 別	樹 種	種 別	防湿処理	工 法	塗 装
・ 複合フローリング	※なら ・ さくら ・ ひのき	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 行う ※行わない	・ 釘止め工法 ・ 接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステンの上 ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品
・ 大型積層フローリング	・ なら ・ さくら		・ 行う ・ 行わない	・ 特殊張り工法 (体育館床)	・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品

畳の種類

・ A種
・ C種

・ B種
・ D種

(19.6.2) (表19.6.1)

種類又は記号

種別など

厚 さ (mm)

規格番号

けい酸カルシウム板
(繊維強化セメント板)
0.8FK又は1.0FK

壁

・ 8(不燃)
・ 10(不燃)
・ 12(不燃)

JIS A 5430
(タイプ2)

天井

○ 6(不燃)
・ 12(不燃)

グラスウール吸音ボード
(吸音材料) GW-B

ガラスクロス
(JIS A 3414 EP18程度)
類縁張り品

25(不燃)

JIS A 6301
(32K)

ロックウール化粧吸音板
(吸音材料) DR

※ 内部用
・ 軒天用

普通

※ 9(不燃)
・ 12(不燃)
・ 12(不燃)
・ 15(不燃)
・ 19(不燃)

JIS A 6301

せっこうボード
(せっこうボード製品) GB-R

壁

・ 9.5(準不燃)
○ 12.5(不燃)
・ 15(不燃)

JIS A 6901

天井

○ 9.5(準不燃)
※12.5(不燃)

シージング
せっこうボード
(せっこうボード製品) GB-S

壁

12.5(準不燃)
天井

・ 9.5(準不燃)
※12.5(準不燃)

JIS A 6901

強化せっこうボード
(せっこうボード製品) GB-F

・ 12.5(不燃)
・ 15(不燃)

JIS A 6901

不燃積層
せっこうボード
(せっこうボード製品) GB-NC

トラバーチン模様
色 ※白
・ 黄

・ 9.5(不燃)

JIS A 6901

化粧せっこうボード
(せっこうボード製品) GB-D

木目模様

壁

・ 9.5(準不燃)
※12.5(不燃)

JIS A 6901

天井

・ 9.5(準不燃)
※12.5(不燃)

特殊模様

せっこうボードの目地処理

※ 継目処理工法
○ 突付け工法
・ 目透し工法

・ 突付けV目地工法

(19.7.2)

・ アクリル系シーリング材

※ ジョイントコンパウンド

(19.8.2)

施 工 箇 所	品 質	防 火 種 別
仕上り表参照		・ 不燃 ○ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他
		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他
		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他

品質は参考商品名である。

断熱材の打込み及び現場発泡工法

(19.9.2) (19.9.3)

種 別	厚 さ (mm)	備 考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ A種 ※A種押出法 2種b	・ 25 JIS A 9521の JIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (A種)	・ 2種b ・ 3種b (スキ層あり)	下記以外 ※ 25 接地点及び 屋根防水部分 ビット内部
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		
・ フェノールフォーム断熱材		JIS A 9521の JIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※A種1H	※ 30 JIS A 9526 による難燃性 ・ 2級 ※3級

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種 別	簡 所	厚 さ (mm)	備 考
・ JISA発泡プラスチック保温材	※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキ層あり)	下記以外 接地点及び 屋根防水部分 ビット内部	※ 25 JIS表示認証製品

宮城県土木部営繕課

電話 022-211-326 (班) FAX 022-211-3190

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

株式会社 池下建築設計

事務所登録 宮城県 第21610219号

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名
池下 久幸
一級建築士
第280837号

工事名称
令和4年度(仮称)やすらぎパークとみや管理棟新築工事

図面名称
Scale

特記仕様書(4)

全 業

図面 No

A-5

20

21. 旗 竿

22. 旗竿受金物

23. 旗 竿

24. 屋内掲示板

25. 視覚障害者用誘導ブロック

26. 出隅面取材

27. かぎ箱

28. 消火器ボックス

29. ピクチャーレール

30. 郵便受

21

① グレーチング

22

① 再生材

23

① フィルター層及び凍上抑制層用材料

24

① 路床安定処理

25

① 砂の粒度試験

26

① 路床土の支持力比(CBR)試験

27

① 路盤の締め度試験

28

① 路盤材料

29

① 路盤の締め度試験

30

① アスファルト舗装

31

① コンクリート舗装

32

① カラー舗装

21

くつふきマット

22

ステンレス流し台

23

コンロ台

24

つり戸棚

25

水切棚

26

旗竿受金物

27

旗 竿

28

消火器ボックス

29

ピクチャーレール

30

郵便受

21

グレーチング

22

① 再生材

23

① フィルター層及び凍上抑制層用材料

24

① 路床安定処理

25

① 砂の粒度試験

26

① 路床土の支持力比(CBR)試験

27

① 路盤の締め度試験

28

① 路盤材料

29

① 路盤の締め度試験

30

① アスファルト舗装

31

① コンクリート舗装

32

① カラー舗装

21

くつふきマット

22

ステンレス流し台

23

コンロ台

24

つり戸棚

25

水切棚

26

旗竿受金物

27

旗 竿

28

消火器ボックス

29

ピクチャーレール

30

郵便受

21

グレーチング

22

① 再生材

23

① フィルター層及び凍上抑制層用材料

24

① 路床安定処理

25

① 砂の粒度試験

26

① 路床土の支持力比(CBR)試験

27

① 路盤の締め度試験

28

① 路盤材料

29

① 路盤の締め度試験

30

① アスファルト舗装

31

① コンクリート舗装

32

① カラー舗装

13. 透水性アスファルト舗装

14. ブロック系舗装

15. 砂利敷き

16. 区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

16

区 画 線

23

① 植栽地の確認等

24

① 植栽基盤

25

① 植込み用土

26

① 土壌改良材

27

① 芝

28

① 屋上緑化

29

① 一般事項

30

① 測定対象化学物質

31

① 測定方法

32

① 測定する室

33

① 測定結果等報告書の提出

34

① その他

13

透水性アスファルト舗装

14

ブロック系舗装

15

砂利敷き

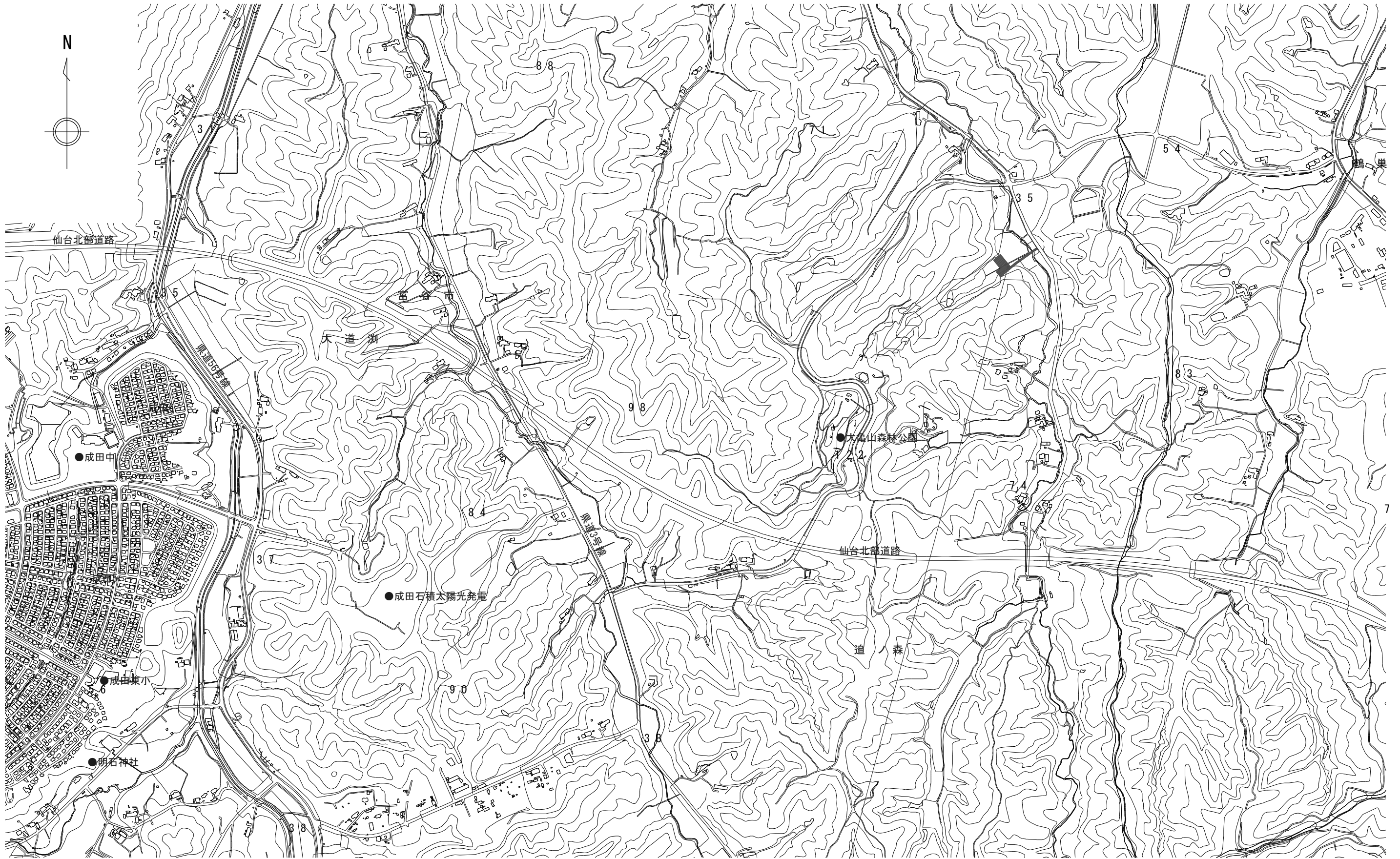
16

区 画 線

23

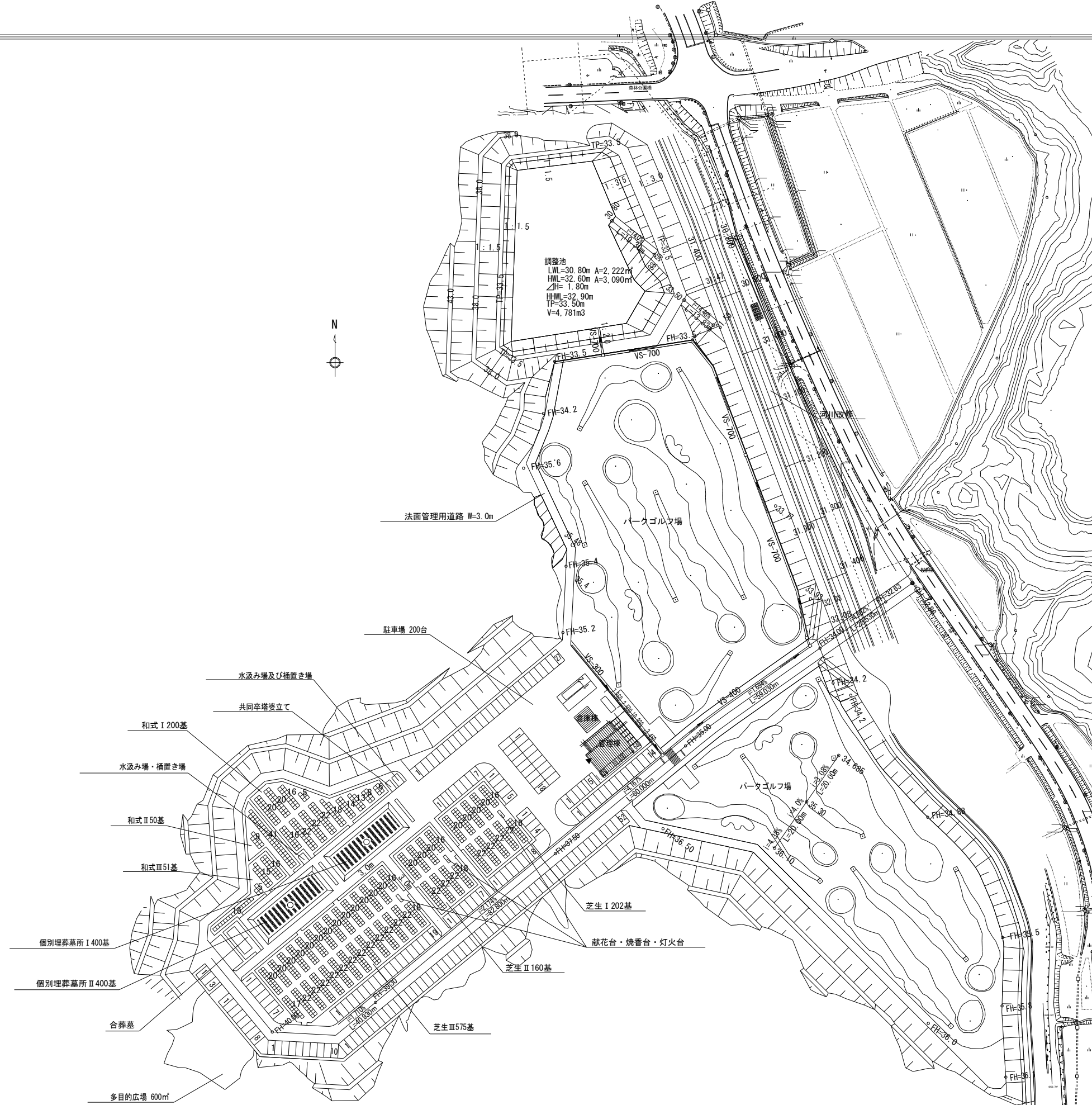
① 植栽地の確認等

各工事の区分表																
工 事 項 目		建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	備 考								
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ		○	○	○	○	○		各工事に必要なスリーブは各々の工事とする（予備は建築工事）								
同上貫通の開口補強		○														
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修		○	○	○	○	○										
工場製作間仕切及び同左の天井, 床, 各種設備器具の穴開け, 取付枠及び補強																
天井付各種設備器具の穴開け, 取付枠及び補強・補修		※	○	○	○			※下地補強のみ建築								
設備関係諸室のシンダーコンクリート		○														
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎		○														
同上 仕上（防水）		○														
同上 用架台及びアンカーボルト箱入れ, 埋込み			○	○	○											
自動ドア・防火扉（シャッター含む）		○	※					※煙感からの信号、1次配線								
台所用レンジフードファン及び浴室天井扇及び取付調整				○				ユニットバス除く								
同上ダクト接続					○											
同上電源用配管, 配線及び接続			○													
ユニットバス（ユニットバス含む以下同じ）墨出し及び据付工事		○														
浴槽及び据付		○						浴槽パン共建築工事								
ユニットバス内シャワー水栓及び取付		○														
同上廻りシーリング打ち		○														
同上への配線及び配管接続			○	○				※1次側のみ								
キッチンキャビネット及び据付工事		○														
同上への配管接続				○												
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）		○														
同上への照明用電源配線及び接続			○													
洗面台及び据付				○												
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）		○														
同上配管接続				○												
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続			○													
洗濯パン				○												
設備機器用スリーブ, 給気用スリーブ及び取付				○	○											
ダクト用ペントキャップ及び取付					○											
床、壁、天井点検口（下地補強共）		○						設備盤用扉は各設備工事								
換気扇及び取付枠への取付, 配線			※		○			※配線は電気								
換気扇取付枠及び躯体への取付					○											
床暖房工事		※1	※2	※2				※1仕上げは建築 ※2電気又は空調は電気式・温水式区分による								
非常用照明及び誘導灯			○													
消火器				○												
同上表示及び収納箱		○														
各種配管, ダクトの雨掛り躯体貫通部のシーリング打ち			○	○	○											
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック		○														
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板						○										
三方枠廻りのノロ詰め						○										
エレベーター機械室床, 穴開け復旧工事		○														
資材搬入口の仮設並びに復旧工事		○														
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事		○														
竖樋・ドレン・受け樋		○														
竖樋から第一樹までの接続		○														
同上第一樹以降の排水設備（樹・側溝等）							○									
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ		※1	○	○				※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）								
TVアンテナ、アンカーボルト取付工事			○													
屋上点検口、各種タラップ工事		○	※	※	※			※図面特記により電気、衛生又は空調								
ゴミ集積所工事（屋外）			※				○	※照明器具の設置及び配線								
自転車置場（屋外）							○									
同上照明器具及び接続			○													
プロパンボンベ庫		○	※	※												
同上配管工事				○												
便所の目皿・手摺り		○						便器一体の手摺り除く								
便所のペーパーホルダー				○												
手洗い乾燥機				○												
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体		※		○				※特殊基礎は建築工事								
屋外駐車場, 歩道工事							○									
雨水排水側溝設置工事							○									
同上排水管接続				○												
	工 事 項 目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構		別途	備 考						
1	・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金,	○	○	○	○	○	○									
2	・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○	○	○	○									
3	1, 2以外の工事及び調整等に要する上下水 電気等に要する費用	○	○	○	○	○	○									
4	上下水道・ガス・電気等の加入金, 負担金								○							
株式会社 池下建築設計										設計年月日	調査	設計 池下 久幸 一級建築士 第280837号	工事名称 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事		全業	図面 No A-6
事務所登録 宮城県 第21610219号										図面名称 各工事の区分表		Scale				

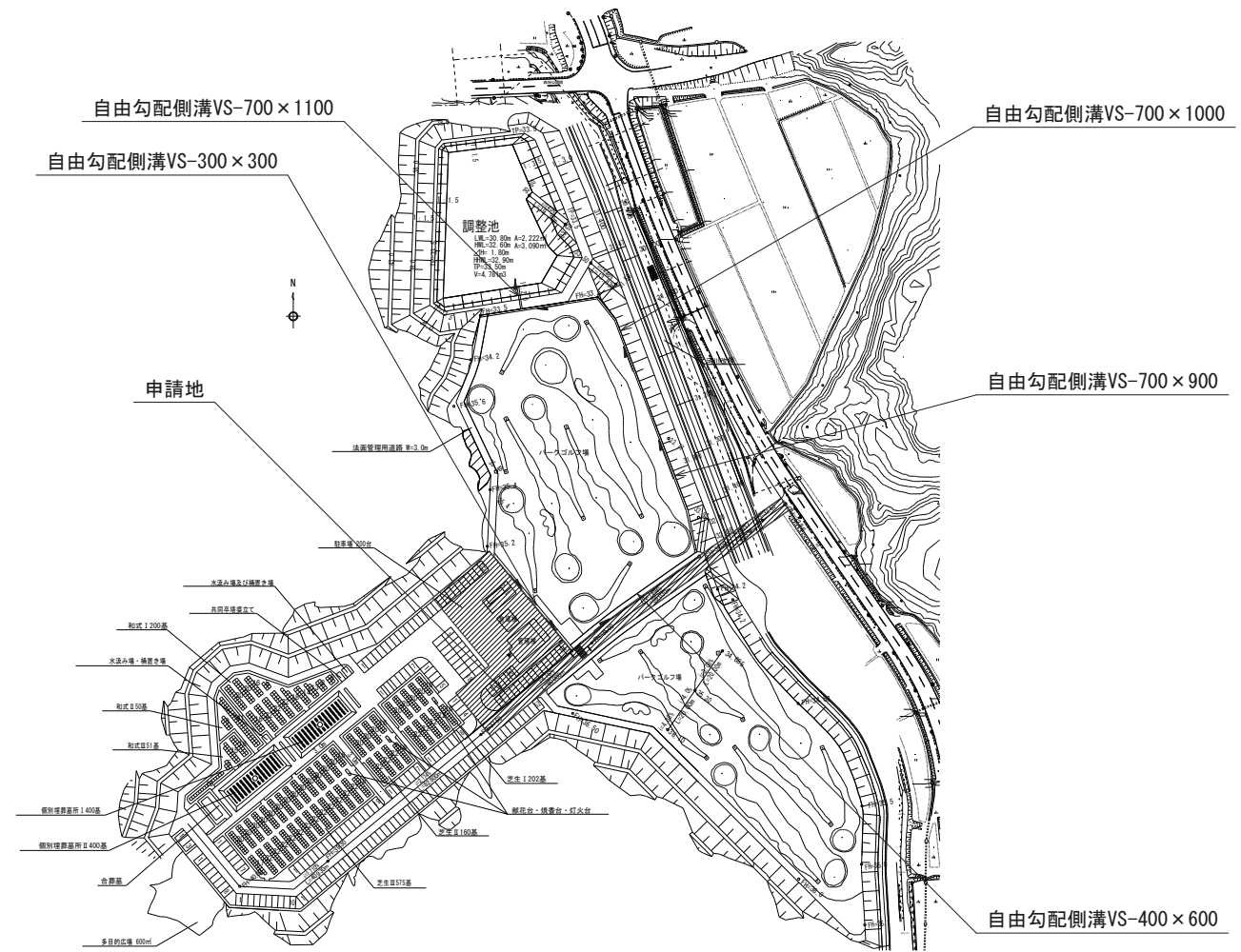
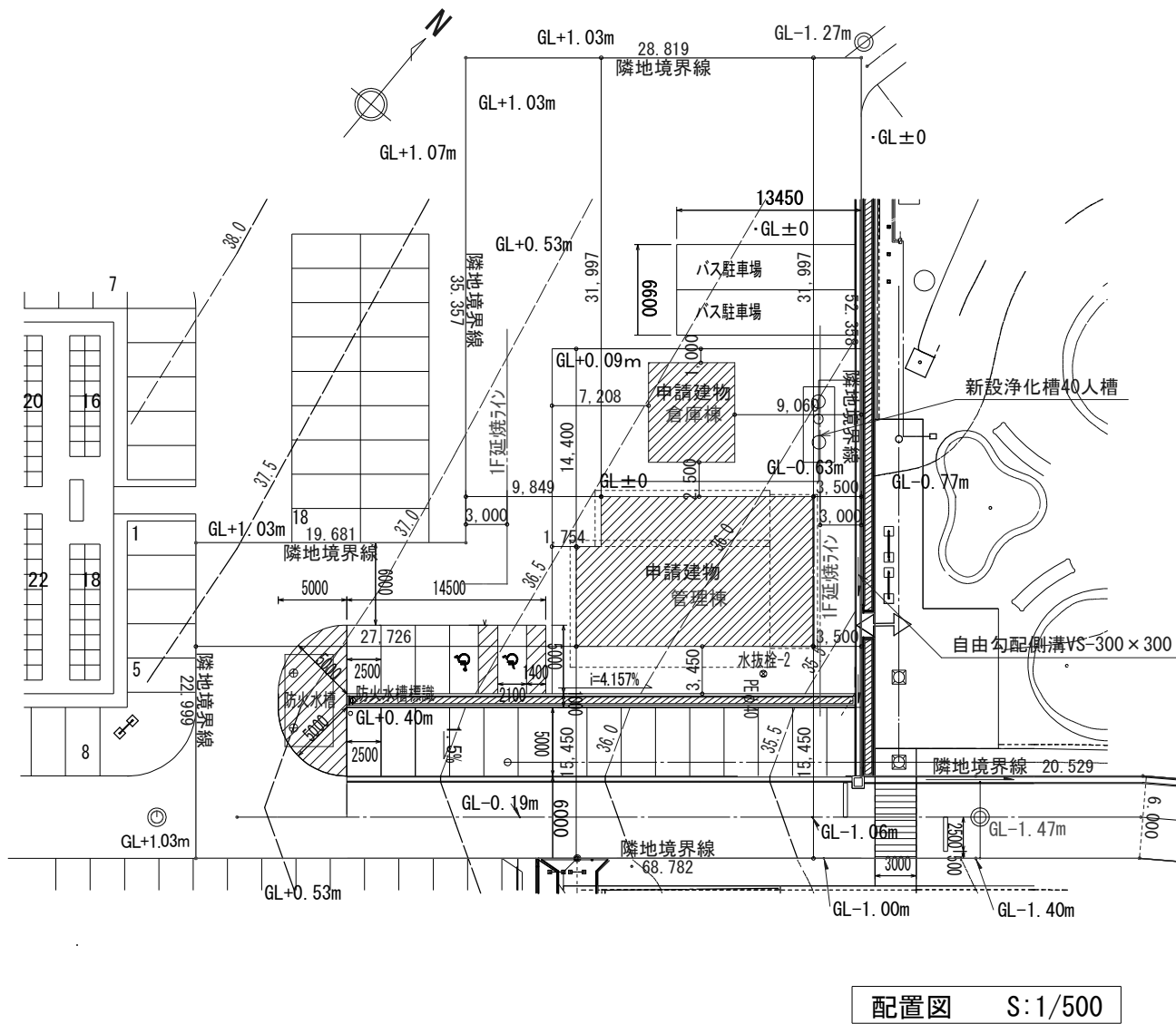


申請地：宮城県富谷市大亀漆穂一番1-1、1-5の各一部、漆穂二番9、11、12-1、12-2、12-3、15、21-2の各一部、水路

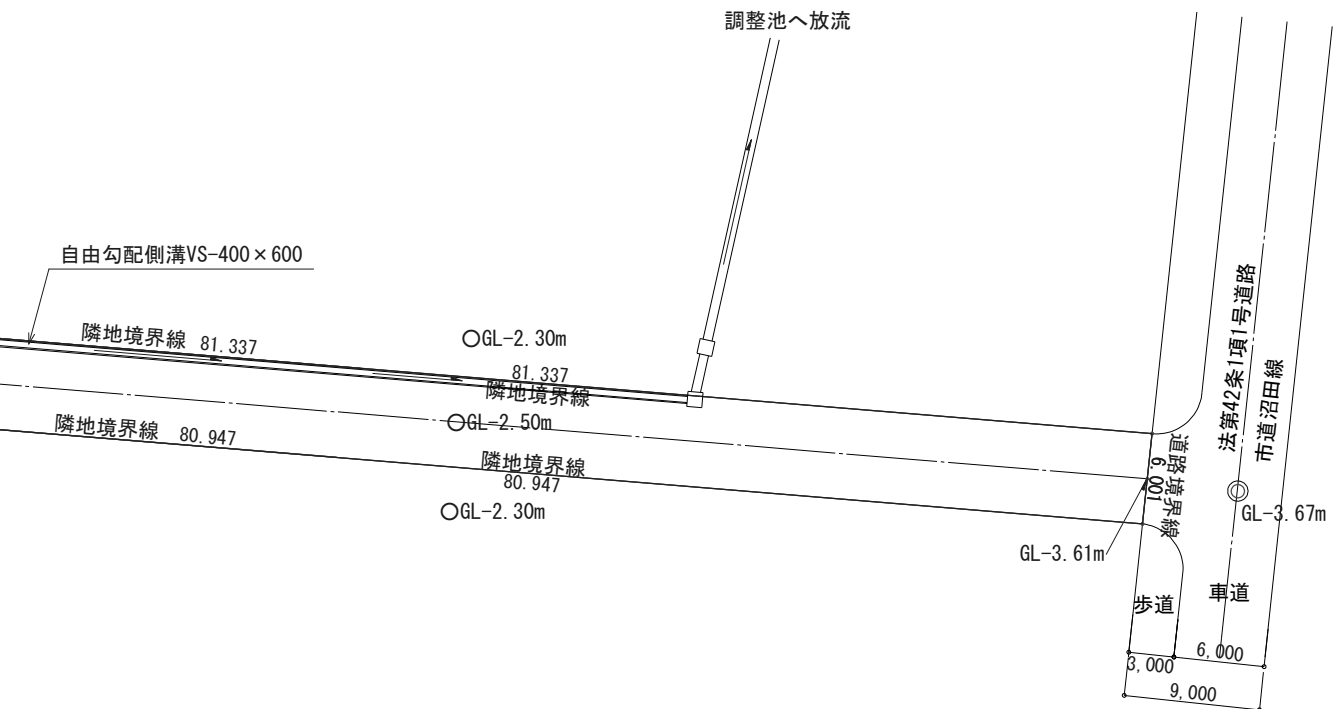
工 事 名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 付 近 見 取 図	図 面 No. A-7
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/1000	



工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟	(株) 池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 開発計画図	図面 No. A-8
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/1500	

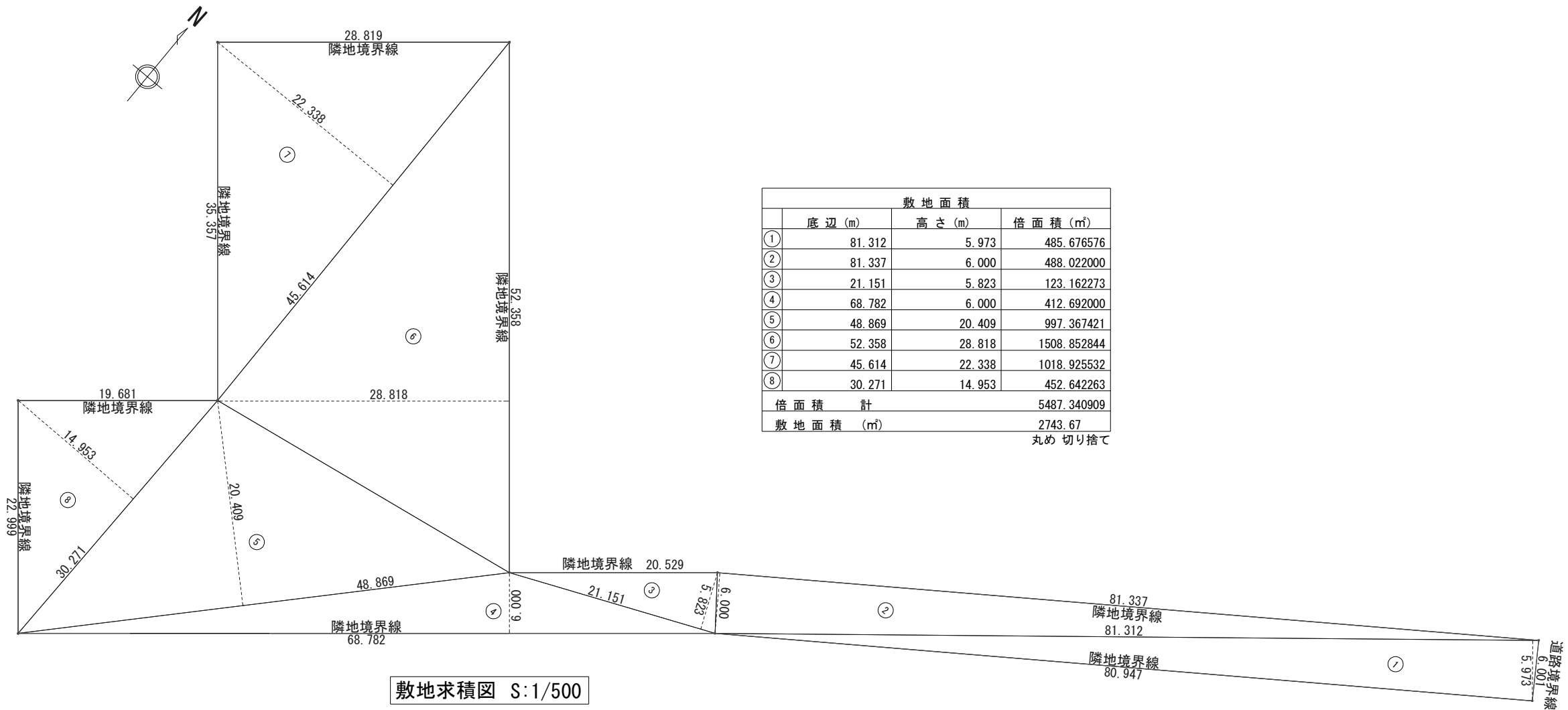


開発計画全域図 S=1/3,000

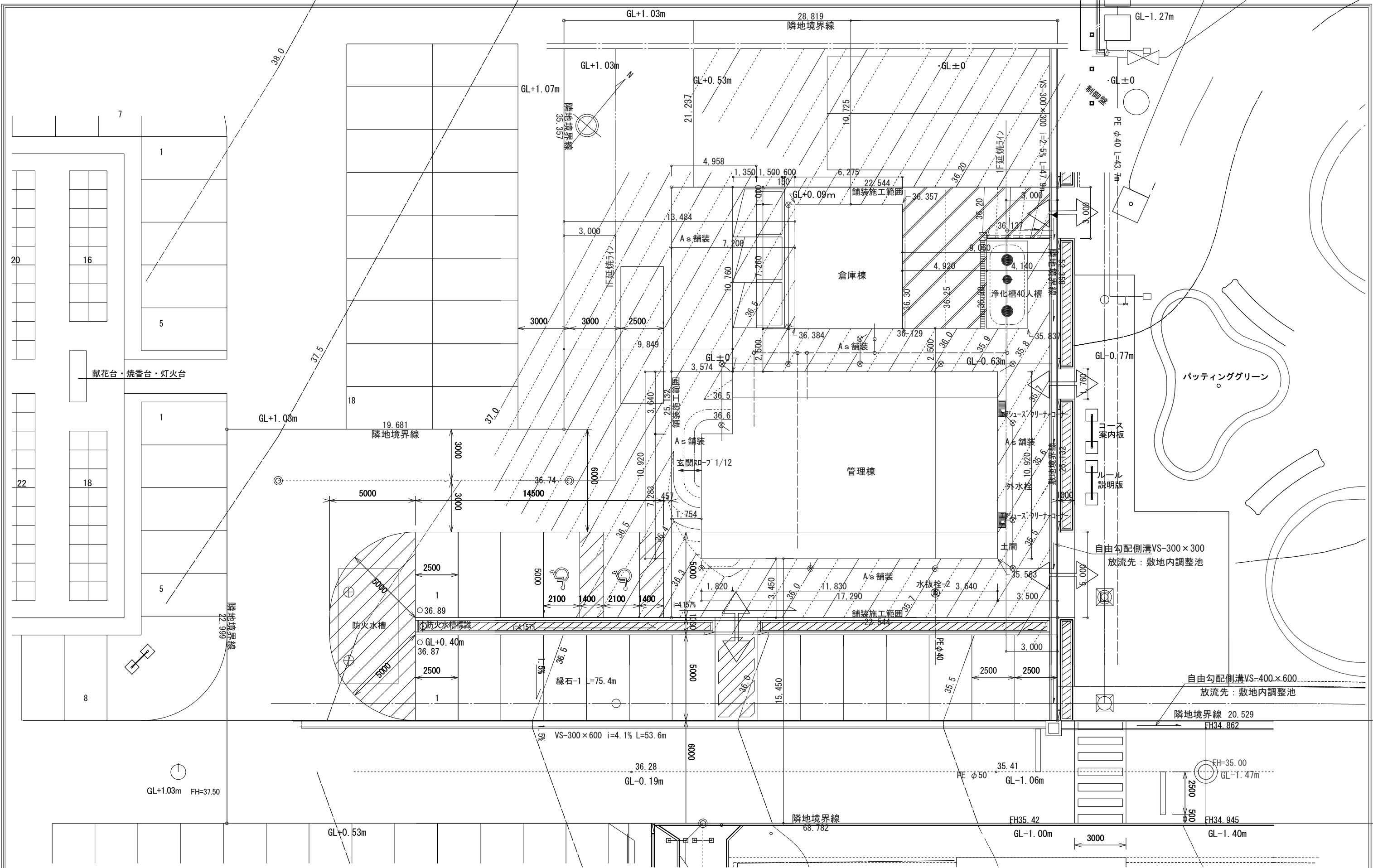


配置図 S:1/500

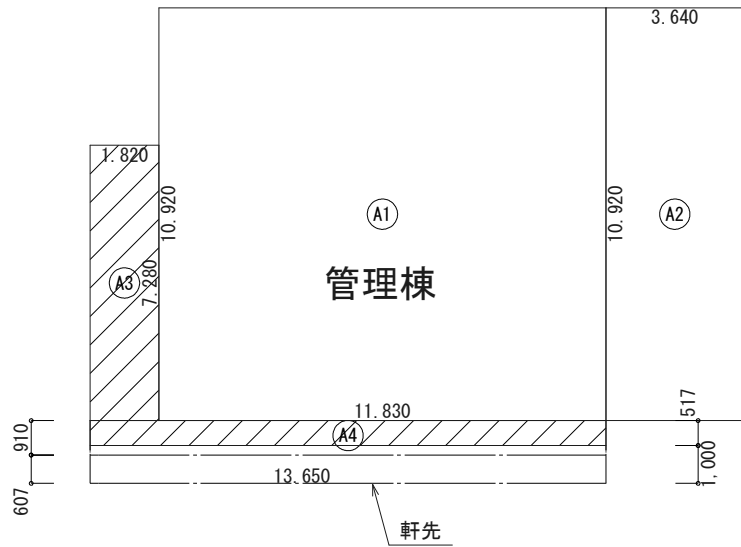
工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 配置図、開発計画全域図	図面No. A-9
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/500	



工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 敷地求積図	図面No. A-9-1
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺 1/500	



工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株) 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 配置詳細図	図面No. A-9-2
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺 1/200	



建築面積求積図 S:1/200

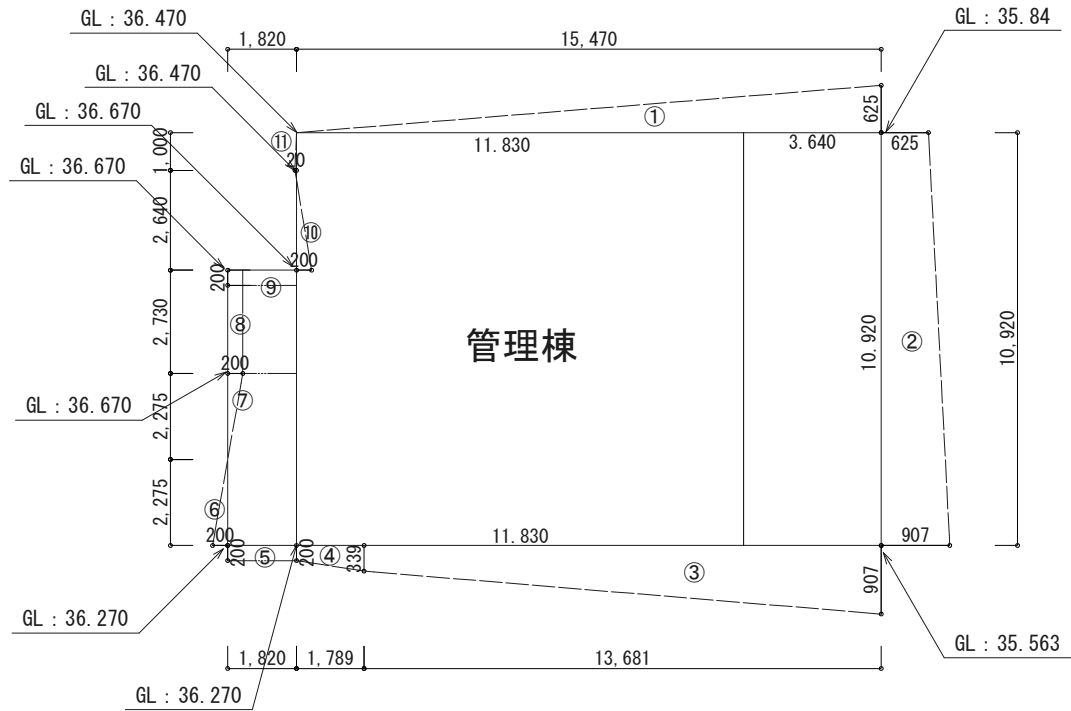
1階 床面積求積図 S:1/200

建 築 面 積 表			
	形 状	計 算 式	面 積
㊶	矩形	11.830×10.920	129.183600
㊷	矩形	3.640×10.920	39.748800
㊸	矩形	1.820×7.280	13.249600
㊹	矩形	13.650×0.517	7.057050
面 積	計 (㎡)		189.23

丸め 切り捨て

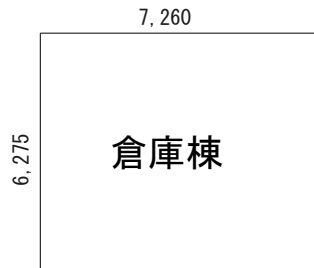
床 面 積 表<1階>			
	形 状	計 算 式	面 積
㊶	矩形	11.830×10.920	129.183600
㊷	矩形	3.640×10.920	39.748800
面 積	計 (㎡)		168.93
	(坪)		51.00

丸め 切り捨て



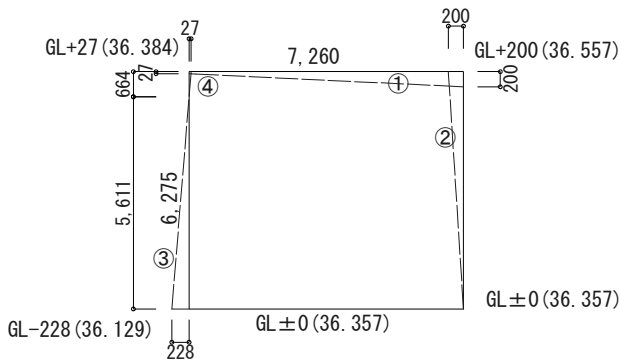
管理棟平均地盤面算定表

①	0.625	×	15.47	×	1/2	=	4.8343
②	(0.625+0.907)	×	10.92	×	1/2	=	8.3647
③	(0.339+0.907)	×	13.681	×	1/2	=	8.5232
④	(0.2+0.339)	×	1.789	×	1/2	=	0.4821
⑤	0.2	×	1.82			=	0.364
⑥	0.2	×	2.275	×	1/2	=	0.2275
⑦	0.2	×	2.275	×	1/2	=	-0.2275
⑧	0.2	×	2.73			=	-0.546
⑨	0.2	×	1.82			=	-0.364
⑩	0.2	×	2.64	×	1/2	=	-0.264
⑪	0.02	×	1.0	×	1/2	=	0.01
							= 21.4043 ㎡
建物全長 (1.82+15.47) × 2 + 10.92 × 2 = 56.42m							
平均地盤面算定							
21.4043㎡ ÷ 56.42m = 0.379m							



建物面積表 7.26*6.275=45.5565

床面積・建築面積 =45.55㎡



倉庫棟平均地盤面算定表

①	(0.027+0.200) * 7.260 * 1/2=0.8240
②	0.2 * 6.275 * 1/2=0.6275
③	0.228 * 5.611 * 1/2=-0.6396
④	0.027 * 0.664 * 1/2=0.0089
	=0.8208
	=0.820 m ²
建物外周= (7.26+6.275) × 2=27.07m	
平均地盤面算定	
0.820÷27.07=0.030m (車庫入り口土間外天端より30mm上がり)	
よって36.357+0.030=36.387 (=平均地盤面)	

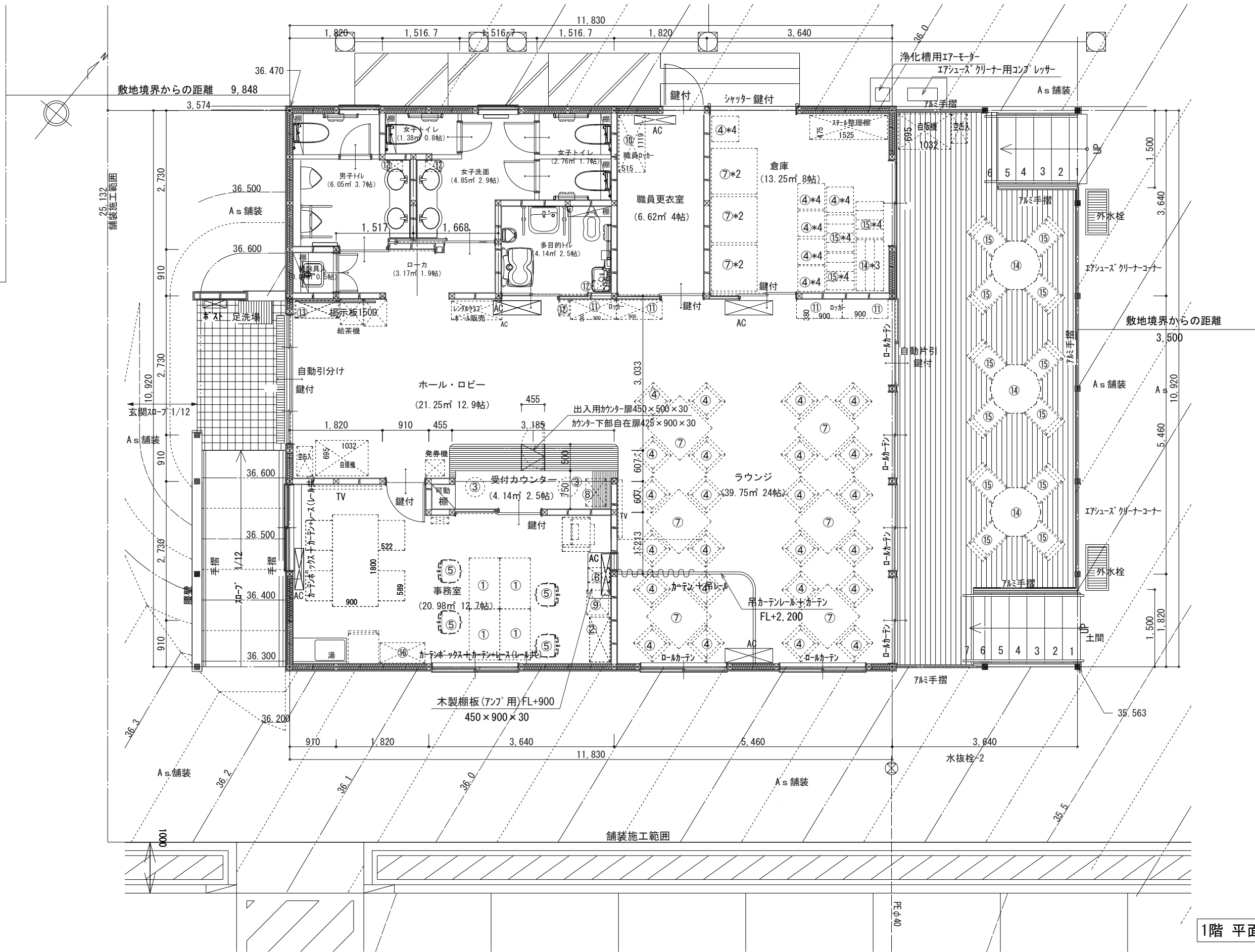
工 事 名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 建物面積表、平均地盤面算定表	図 面 No. A-10
		日 付	日 付	日 付		
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		縮 尺 1/200			

外部仕上表	屋根	ガルバリウム鋼板 70.35 立平葺き 鼻隠し・破風：ガルバリウム鋼板 t=0.35包み 雪止め金物@455			シ ツ ク ハ ウ ス 対 策	①内装仕上制限：すべて制限を受けない材料（F☆☆☆☆又は規制対象外の材料とする。 （断熱材・調理台・食器棚・建具・その他造作家具を含む。）		
	鼻隠し・破風	ガルバリウム鋼板 t=0.35包み				②換気設備関係：別図参照		
	軒裏	繊維混入ケイ酸カルシウム板（一部有孔、ノンアスベスト品）貼り 76 EP(色A15-40D 5YR4/2)				③天井裏等の制限：すべて制限を受けない材料（同上）とする。（下地材、断熱材等）		
	外壁	窯業系防火サイディング（NICHIIHA：モエンケセラート16 ELS152P、ELS163F同等品）				④クロルピリホスは使用しない。		
	外部建具	カラーアルミ樹脂複合サッシ						
	雨樋	軒樋（パナソニック電工 シェルスカ7 PC77 同等） 壁樋（パナソニック電工 PC30同等）						
	屋外土間	コンクリート金鍍仕上げ			断 熱 材 そ の 他	（断熱材） ・土間コンクリート部：外気に接する部分硬質ウレタンフォーム2種 t=20		
	玄関ポーチ	磁器質100角タイル（段鼻部色違いタイル使用） 手摺（7mm樹脂 同等）				・外気に接する壁：高性能グラスウール 16K(表面加工品：内部気密シート付) t=100		
	基礎	鉄筋コンクリート べた基礎				・外気に接する天井：高性能グラスウール 16K t=100＊二重		
	足洗い場	モルタル金ゴテ仕上げ、鋼製グレーチング						
	スロープ	コンクリート刷毛引き仕上げ 手摺（両側7mm樹脂 同等）				土台・軸組外壁面のGL+1000迄は防腐・防蟻処理を行う。（ただし、クロルピリホス剤は使用しない事）		
	その他							
内部仕上表	室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考	
	玄関ポーチ	屋外：磁器質100角タイル	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,700 ～ 5,000	ポスト、床排水溝（ステンレス製グレーチング付SA-15）、自動2枚引分け戸	
	ホール・ロビー	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	4,000 ～ 5,000	消火器(粉末ABC10型)ボックス付、掲示板900*1200	
	事務室	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,700	室名札(平)・防災遮光カーテン(タルバ同等)・レース・レール・カーテンボックス共 天井点検口(気密断熱口600タイプ) 吊棚 流し台	
	屋内ラウンジ 受付カウンター	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,700 ～ 5,000	受付用突出室名札・防災遮光カーテン(タルバ同等) 消火器(粉末ABC10型)ボックス付、自動片引き戸	
	職員更衣室	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,500	室名札(平)・壁付コート掛用フック、棚板 天井点検口(気密断熱口600タイプ)	
	倉庫	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	構造用合板 79 SOP塗装 (印字消去処理)	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,500	室名札(平)	
	男・洗面トイレ	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	耐水石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,500	室名札(平)、各手摺、各便器、各洗面化粧台、ペーパーホルダー トイレ用パネルヒーター	
	女・洗面トイレ	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	耐水石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,500	室名札(平)、各手摺、各便器、各洗面化粧台、ペーパーホルダー 男女トイレ突出室名札 トイレ用パネルヒーター	
	多目的トイレ	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	耐水石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,500	室名札(平)、各手摺、各便器、各洗面化粧台 トイレ用パネルヒーター ペーパーホルダー、ベビーチェア、ベビシート、オストメイト	
	掃除具(SK)入	土間コンクリート＋長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80	耐水石膏ボード 712.5 ビニールクロス	石膏ボード 79.5 ビニールクロス	2,500	室名札(平)、フック金物取付、掃除用流し	

特記事項

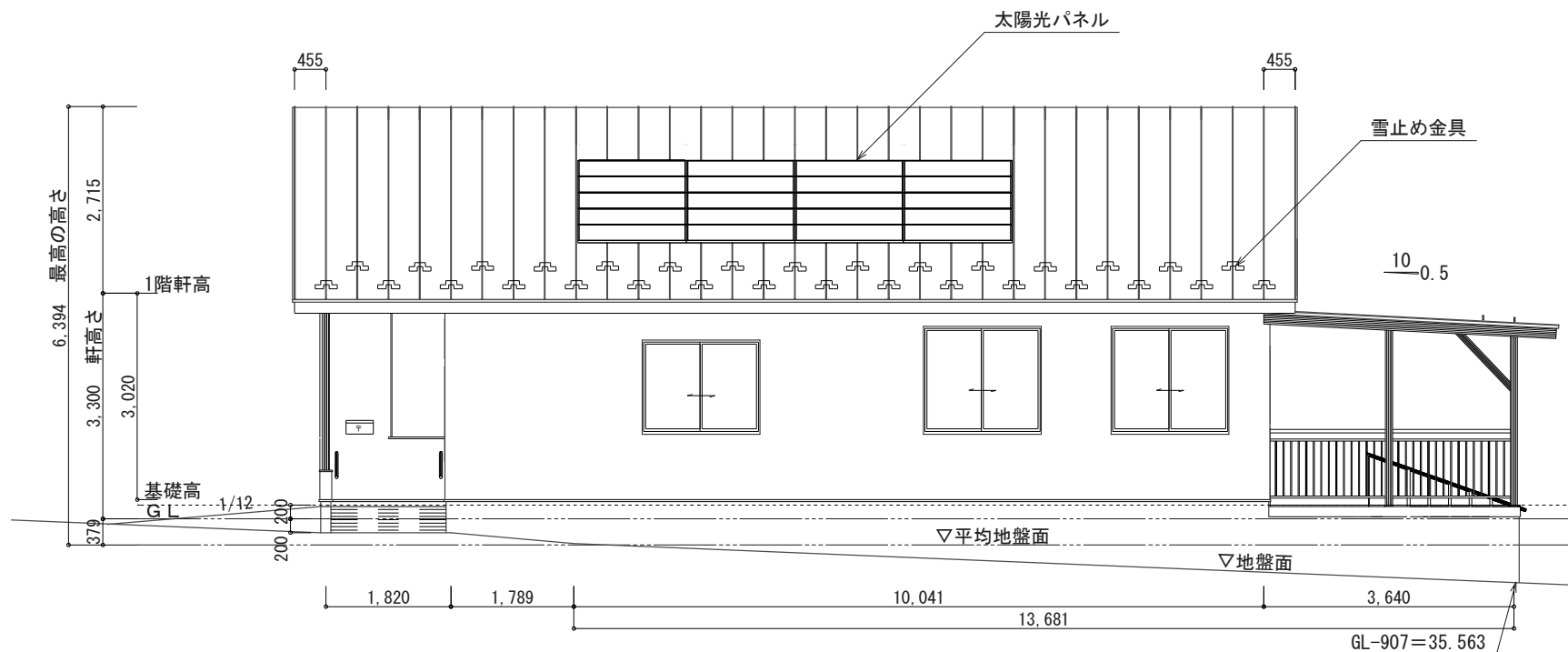
（防火材料認定番号）			
窯業系防火サイディング 716 （不燃材料）NM-9331 （防火構造）PC030BE-9201		石膏ボード 712.5 NM-8619 石膏ボード 79.5 QM-9828 耐水石膏ボード 712.5 QM-9826	ビニールクロス 不燃 NM-1077 ビニールクロス 準不燃 QM-0395
ケイ酸カルシウム板 76 NM-8578			

工 事 名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 管理棟 仕 上 げ 表	図 面 No. A-11
		日 付	日 付	日 付	縮 尺	
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ					

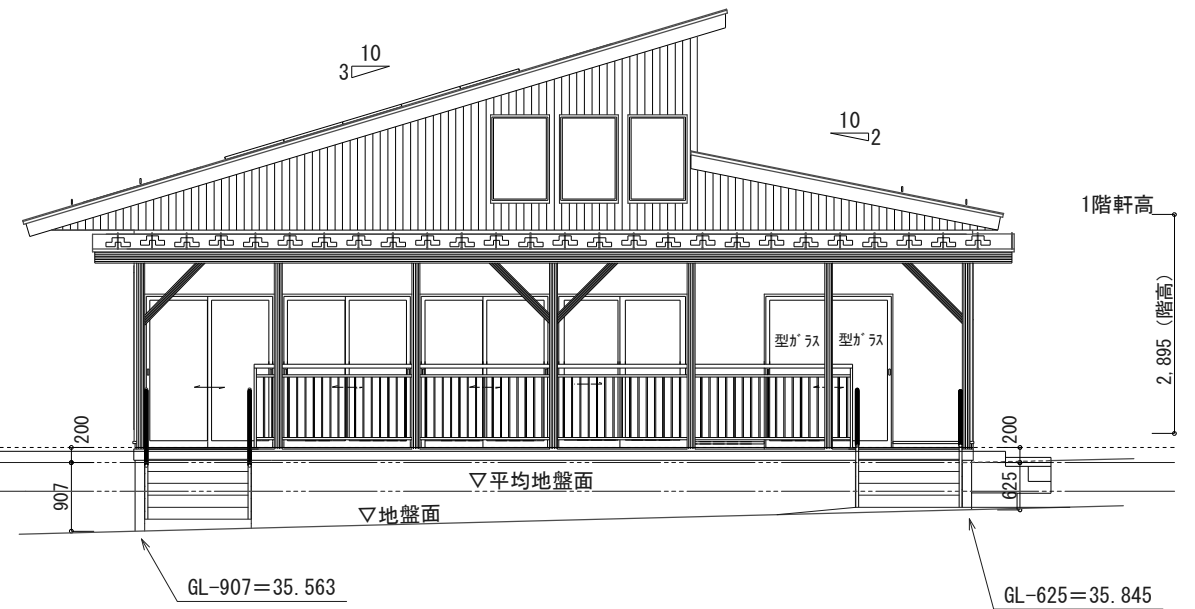


1階 平面詳細図 S:1/75

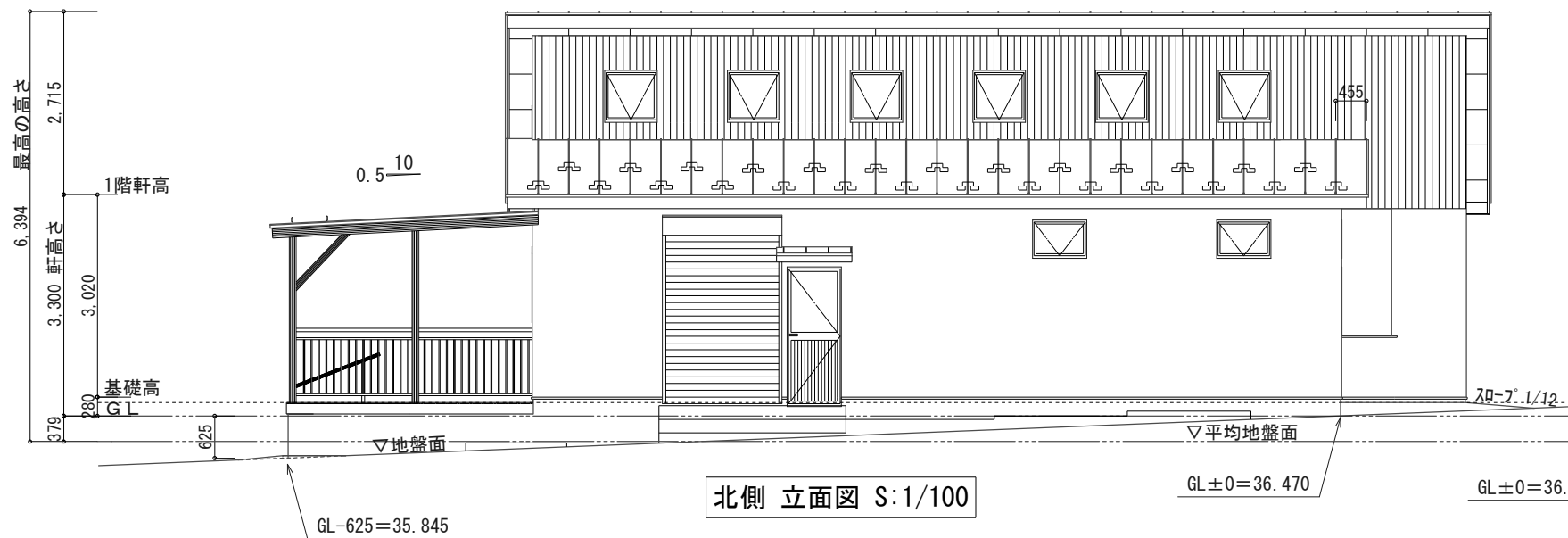
工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 管理棟：平面詳細図（備品有り）	図面No. A-12-2
		日付	日付	日付	縮尺 1/75	



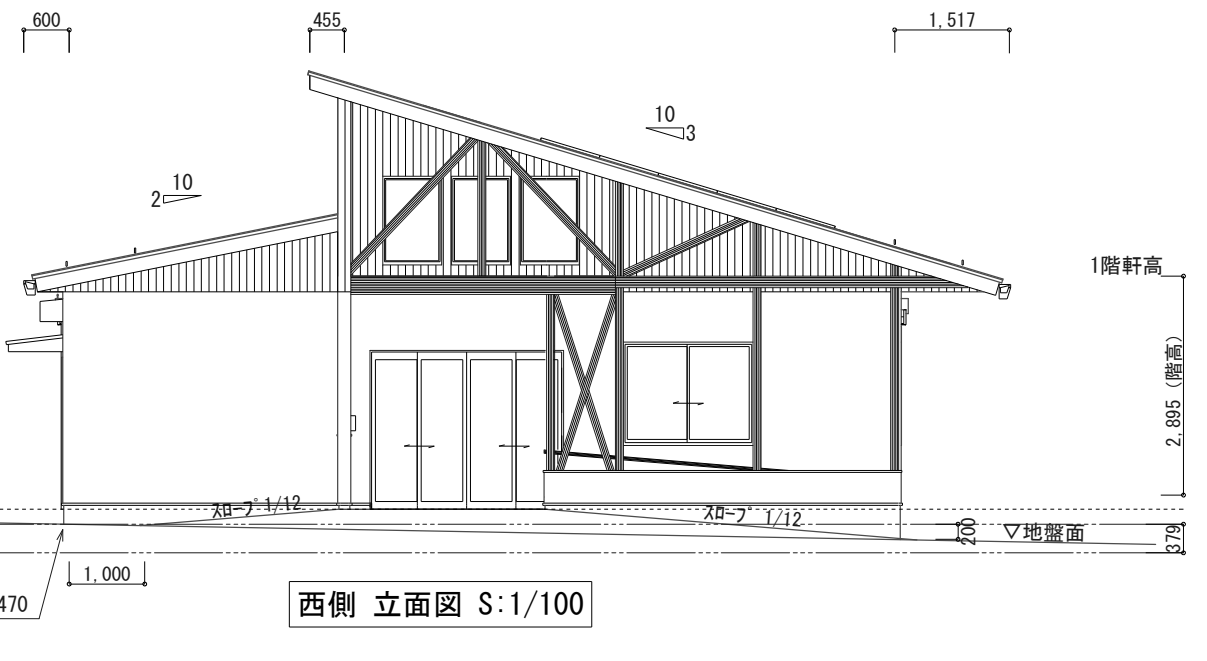
南側 立面図 S:1/100



東側 立面図 S:1/100

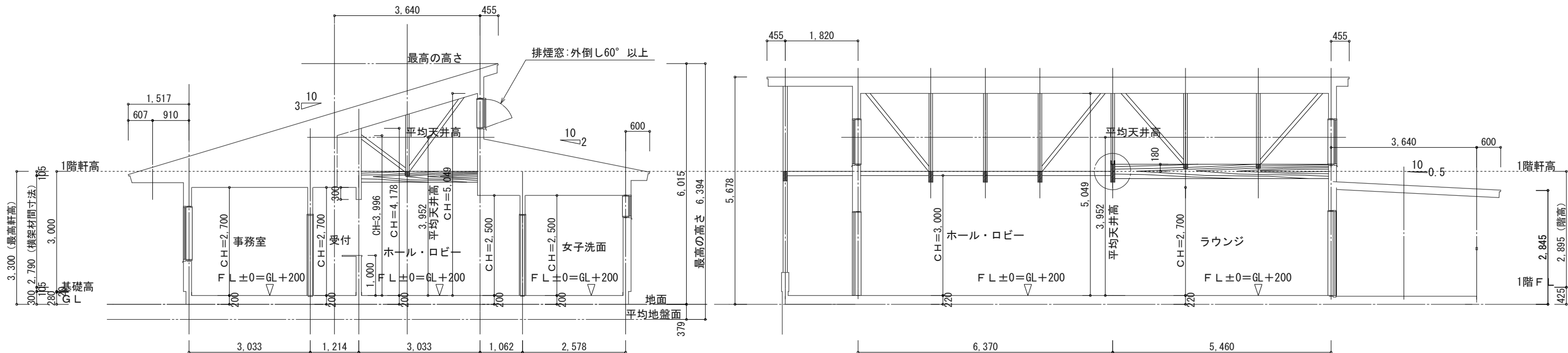


北側 立面図 S:1/100



西側 立面図 S:1/100

工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 管理棟：各立面図	図面 No. A-13
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

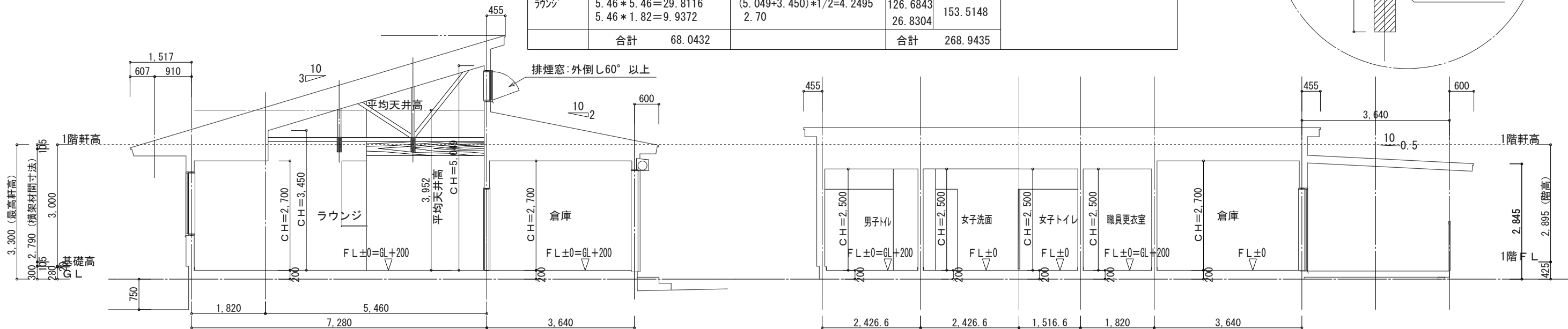
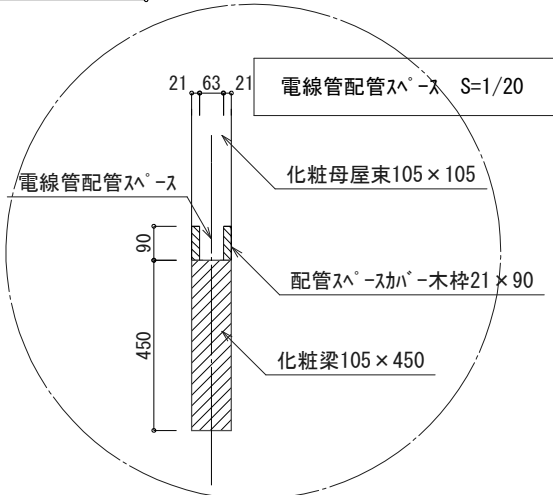


1面 断面図 S:1/100

3面 断面図 S:1/100

室体積算定

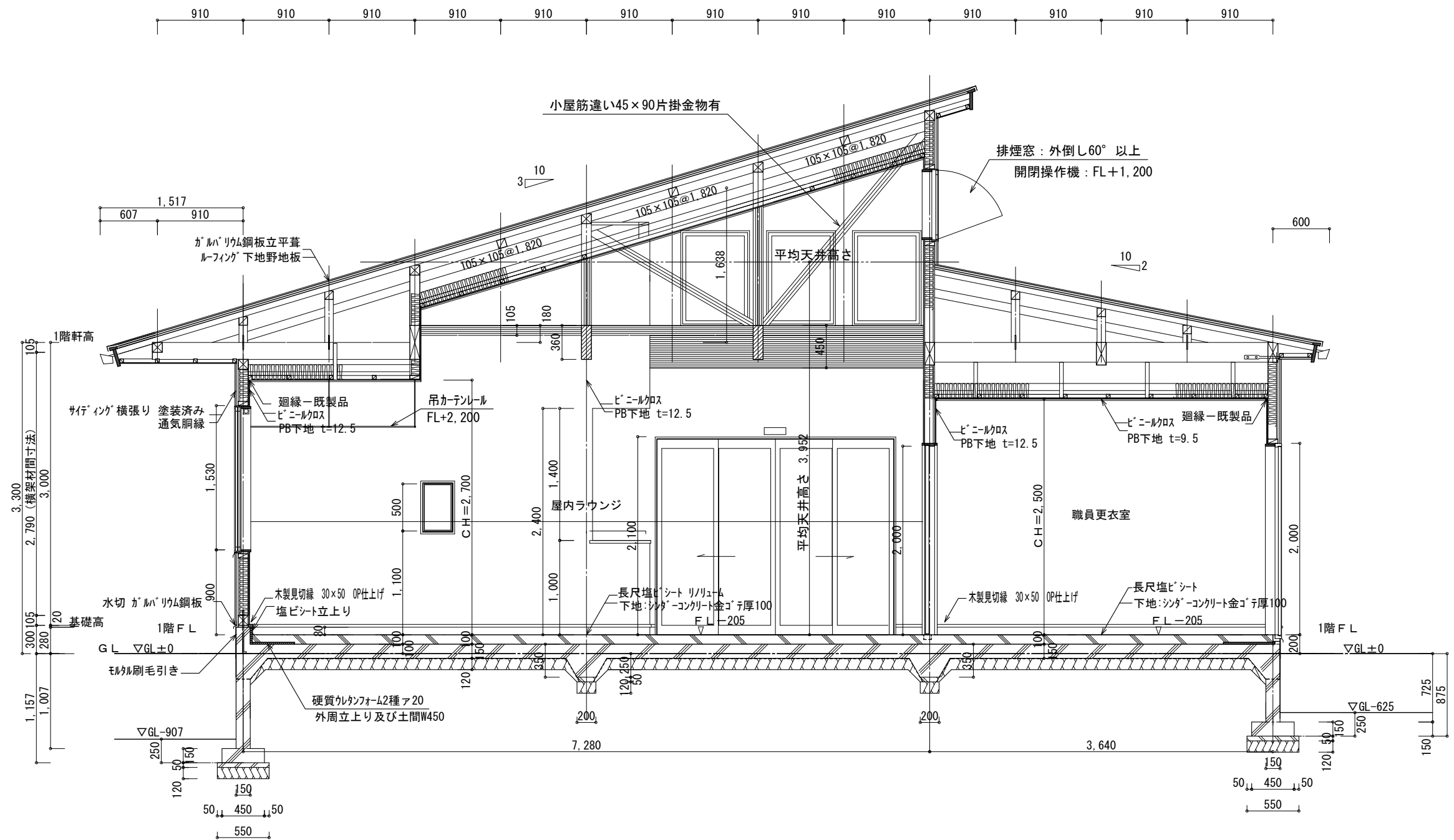
	床面積	平均天井高さ		体積	全体平均天井算定
ホールロビー	3.64 * 3.185 = 11.5934	(5.049 + 3.996) * 1/2 = 4.5225		52.4311	268.9435 / 68.0432 = 3.952m
受付内	3.185 * 1.214 = 3.8665 0.455 * 0.607 = 0.2761	2.70 2.70		11.1850	
受付ホール	3.185 * 3.033 = 9.6601	(5.049 + 4.178) * 1/2 = 4.6135		44.5668	
ロカ	0.91 * 3.185 = 2.8983	2.50		7.2458	
ラウンジ	5.46 * 5.46 = 29.8116 5.46 * 1.82 = 9.9372	(5.049 + 3.450) * 1/2 = 4.2495 2.70	126.6843 26.8304	153.5148	
	合計 68.0432		合計 268.9435		



2面 断面図 S:1/100

4面 断面図 S:1/100

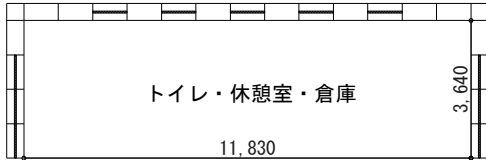
工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 管理棟：各断面図	図面 No. A-14
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100	



矩計図 S:1/50

工事名 令和4年度(仮称)やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号 日付	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号 日付	担当者 日付	図面名 管理棟：矩形図	図面No. A-15
					縮尺 1/50	

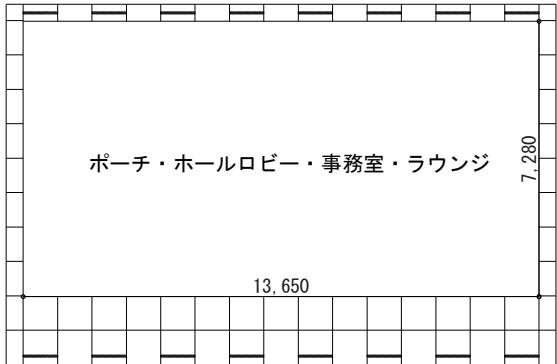
小屋裏換気計算



軒裏必要吸排氣面積 (1/250以上)

$$11.83 \times 3.64 \times 1/250 = 0.1722\text{m}^2$$

有効換氣面積

$$0.01654 \times 11 \text{ 方所} = 0.1819\text{m}^2$$
$$0.1819\text{m}^2 > 0.1722\text{m}^2 \quad \text{---OK}$$


軒裏必要吸気面積 (1/900以上)

$$13.65 \times 7.28 \times 1/900 = 0.1104 \text{ m}^2$$

有効吸気面積

$$0.01654 \times 8 \text{ 力所} = 0.1323 \text{ m}^2$$
$$0.1323 \text{ m}^2 > 0.1104 \text{ m}^2 \quad \text{---OK}$$

軒裏必要排氣面積 (1/1600以上)

$$13.65 \times 7.28 \times 1/1600 = 0.621\text{m}$$

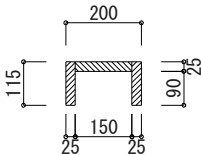
有効排氣面積

$$0.01654 \times 8\text{力所} = 0.1323\text{m}^2$$
$$0.1323\text{m}^2 > 0.0621\text{m}^2 \text{ ---OK}$$


天井点検口 600×600

番号	下地名	仕上名
①		繊維混入ケイ酸カルシウム板 目地入張り EP塗装
②		野地合板 t=9 SOP塗装 (印字消去処理)
③	PB下地 t=9.5	ビニールクロス

1階 天井伏図 S:1/100



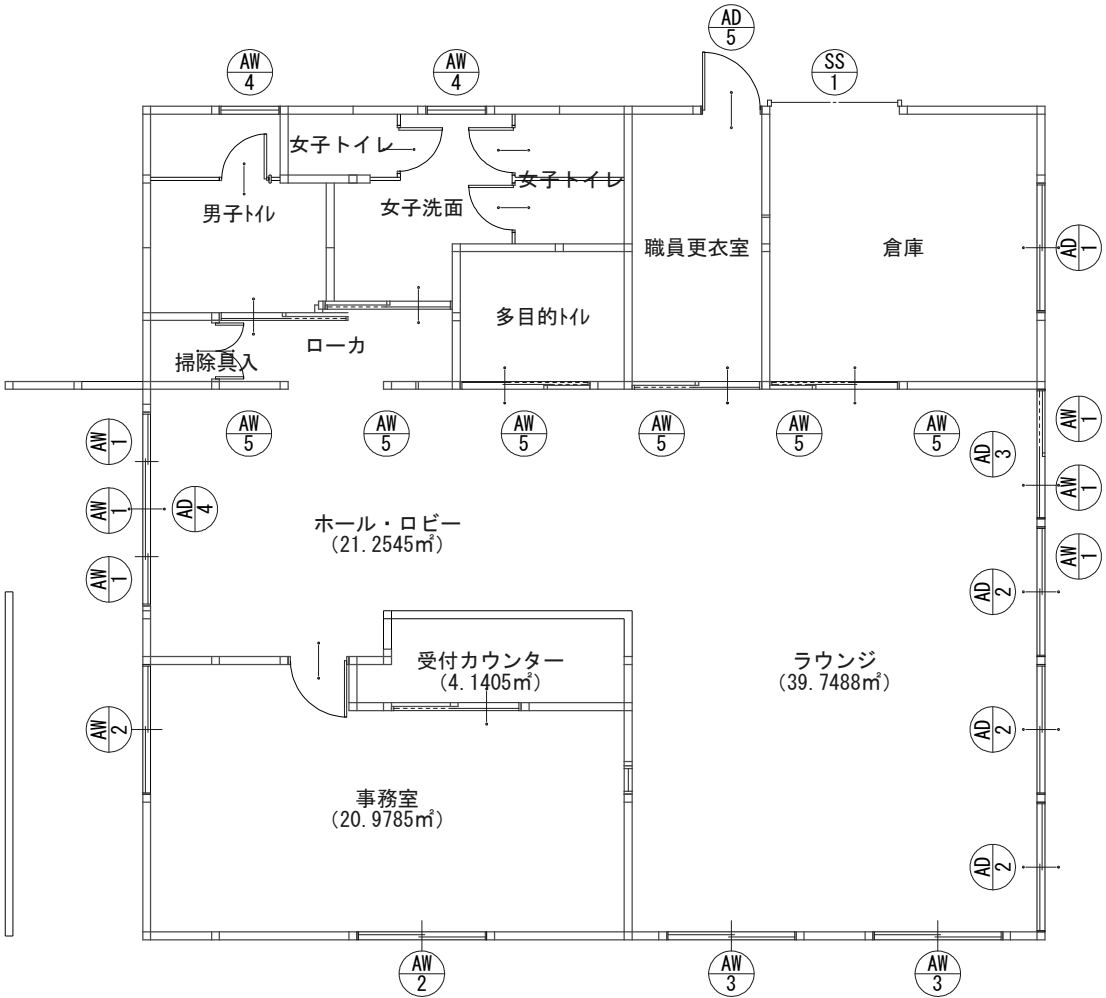
カーテンボックス 詳細図 S: 1/20

木製 SOP塗装仕上
カーテンたたみ込み寸法=120~150、片側のみ

工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 管理棟 天井・軒天伏せ図	図 面 No. A-16
備 考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/100	

記 号	AD 1	1ヶ所	AD 2	3ヶ所	AD 3	1ヶ所	AD 4	1ヶ所	AD 5	1ヶ所	SS 1	1ヶ所
姿 図												
部 屋 名	1階倉庫		1階ラウンジ		1階ラウンジ		1階ホール・ロビー		1階職員更衣室		1階倉庫	
型 式	2枚引違い(半外)		2枚引違い(半外)		自動片引き		自動2枚引分け		片開(半外)		シャッター(縦)	
材 質	アルミ+樹脂製		アルミ+樹脂製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		スチール製	
見 込	70		70		70		70		70		80	
仕 上	ホワイト		ホワイト		ホワイト		ホワイト		ホワイト		グレー	
ガ ラ ス	FL5+A12+FL5強化ガラス (型ガラス)		FL5+A12+FL5強化ガラス		FL5+A12+FL5強化ガラス		FL5+A12+FL5強化ガラス		FL4+A12+FL5強化ガラス(型)、腰アルミハ 枠			
金 物	附属金物一式 網戸		附属金物一式 網戸		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式	
備 考	衝突防止シール		衝突防止シール		衝突防止シール		衝突防止シール					

記 号	AW 1	6ヶ所	AW 2	2ヶ所	AW 3	2ヶ所
姿 図						
部 屋 名	1階ラウンジ		1階事務室		1階ラウンジ	
型 式	Fix(半外)		2枚引違い(半外)		2枚引違い(半外)	
材 質	アルミ+樹脂製		アルミ+樹脂製		アルミ+樹脂製	
見 込	70		70		70	
仕 上	ホワイト		ホワイト		ホワイト	
ガ ラ ス	FL3+A12+FL3 強化ガラス		FL3+A12+FL3 強化ガラス		FL3+A12+FL3 強化ガラス	
金 物	附属金物一式		附属金物一式、網戸		附属金物一式、網戸	
備 考						
記 号	AW 4	2ヶ所	AW 5	6ヶ所		
姿 図						
部 屋 名	1階男子トイレ、女子トイレ		1階屋内ラウンジ			
型 式	倒し(半外)		倒し(半外) 解放角度60° 以上			
材 質	アルミ+樹脂製		アルミ+樹脂製			
見 込	70		70			
仕 上	ホワイト		ホワイト			
ガ ラ ス	FL3+A12+FL4 強化ガラス (型ガラス)		FL3+A12+FL3 強化ガラス			
金 物	附属金物一式、網戸		附属金物一式、網戸			
備 考						

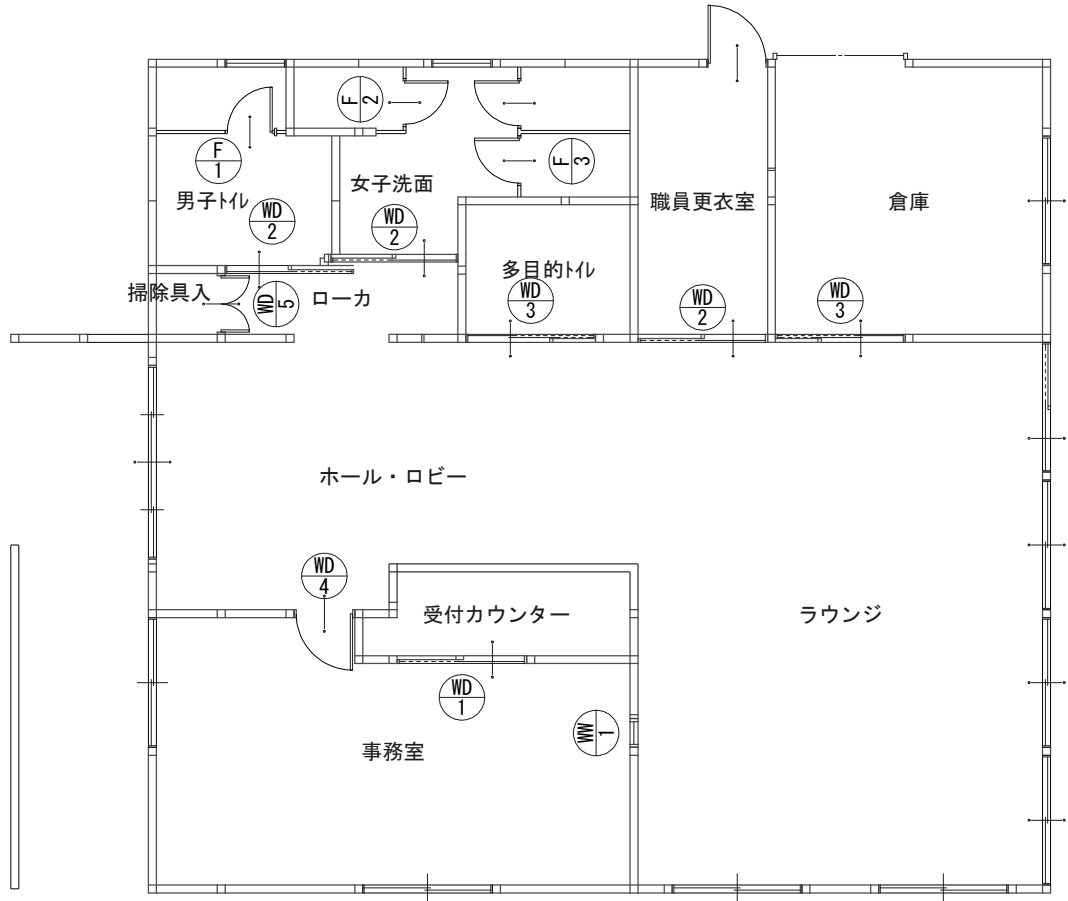


1階 建具配置図 S:1/100

工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株) 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 管理棟：鋼製建具表、鋼製建具配置図	図 面 No. A-18
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/75, 1/100	

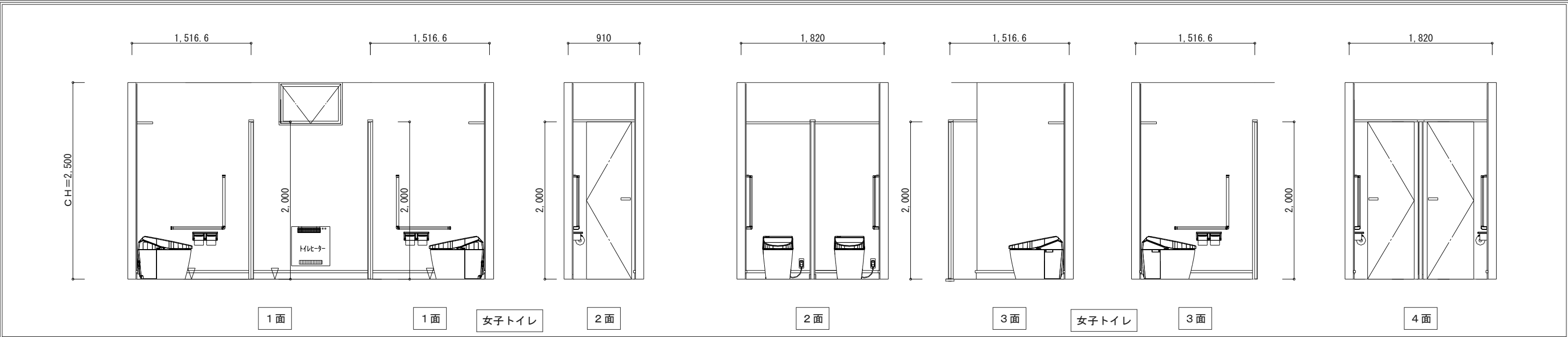
記 号	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4	WD 5	WW 1
	1ヶ所	3ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿 図						
部 屋 名	1階受付カウンター	1階職員更衣室、各トイレ	1階倉庫、多目的トイレ	1階事務室	1階掃除具入	1階事務室
型 式	片引き	片引き	片引き	片開(内芯)	両開(内芯)	Fix(内芯)
材 質	木製 フラッシュ	木製 フラッシュ	木製 フラッシュ	木製 フラッシュ	木製 フラッシュ	木製
見 込						
仕 上	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板	
ガ ラ ス						FL3
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	
備 考						

記 号	F 1	F 2	F 3
	男子トイレブース	女子トイレブース	女子トイレブース
姿 図			
部 屋 名	1階男子トイレ	1階女子トイレ	1階女子トイレ
型 式	片開(内芯)	片開(内芯)	片開(内芯)
材 質	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ
見 込	40	40	40
仕 上	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板
ガ ラ ス			
金 物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備 考			

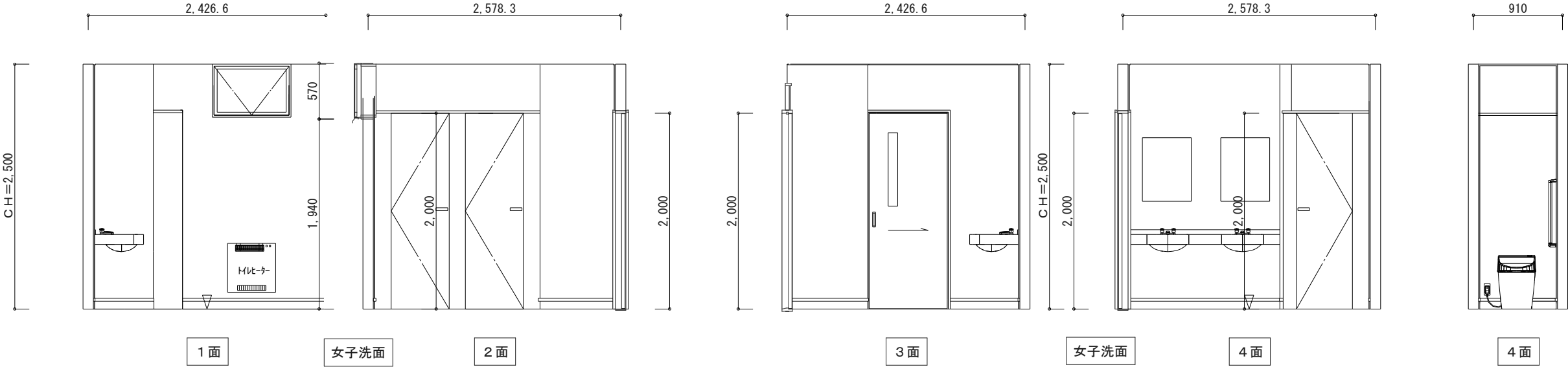


1階 建具配置図 S:1/100

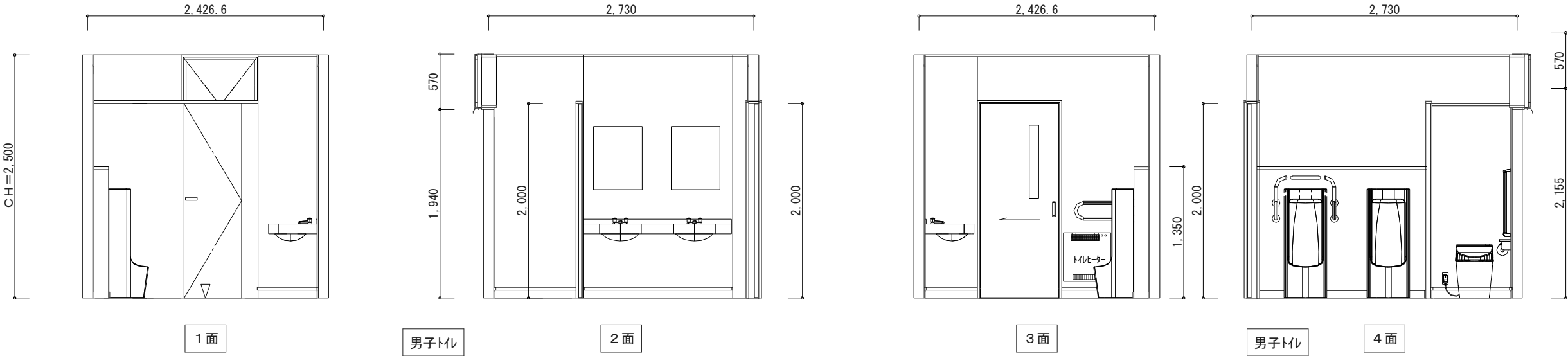
工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株) 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 管理棟：木製建具表、木製建具配置図	図 面 No. A-19
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/75, 1/100	



部屋名	女子洗面 女子トイレ
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	各室名札(平)、各手摺、各便器 各洗面化粧台、ペーパーホルダー トイレ用パネルヒーター

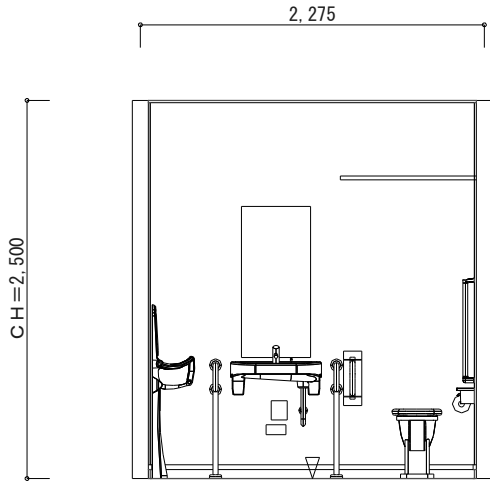


部屋名	男子洗面 男子トイレ
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	各室名札(平)、各手摺、各便器 各洗面化粧台、ペーパーホルダー トイレ用パネルヒーター

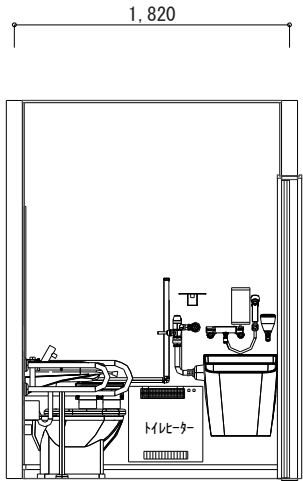


工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 展開図①	図面No. A-20
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺 1/50	

部屋名	多目的トイレ
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地：シタ-コンクリート金ゴテ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	各室名札(平)、各手摺、各便器 各洗面化粧台、ペーパーホルダー ペーパーアイ、ペーパーシート オストマト、パネルヒーター

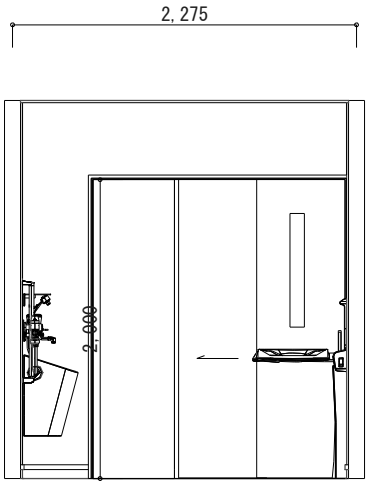


1 面

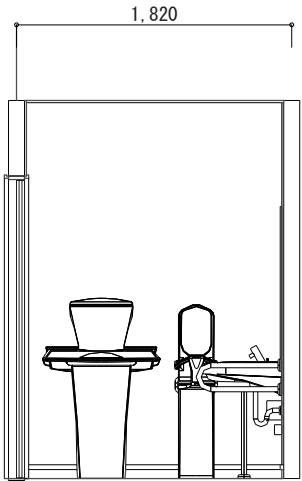


2 面

多目的トイレ

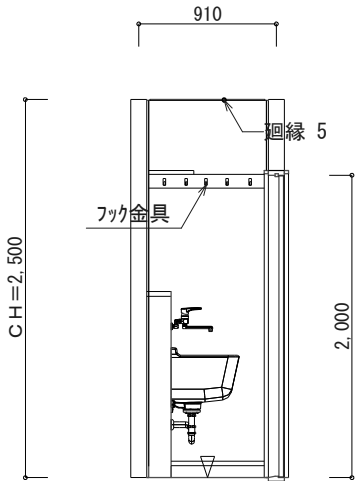


3 面

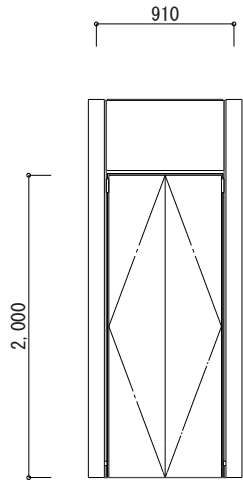


4 面

部屋名	掃除具入
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地：シタ-コンクリート金ゴテ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	各室名札(平)、掃除道具掛け用フック 掃除用流し、棚板

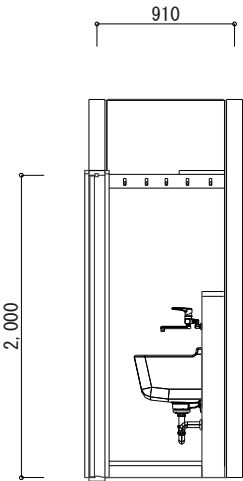


1 面

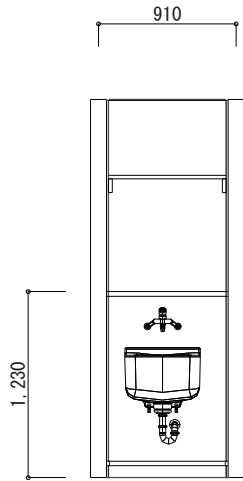


2 面

掃除具入

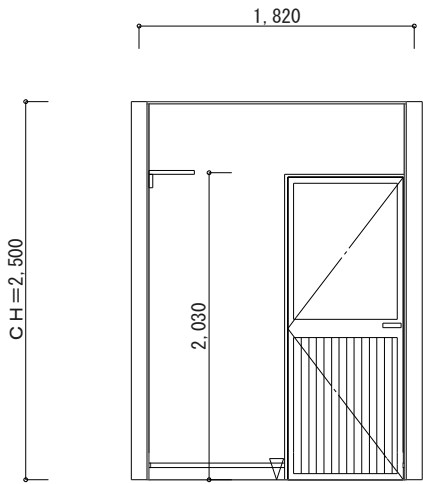


3 面

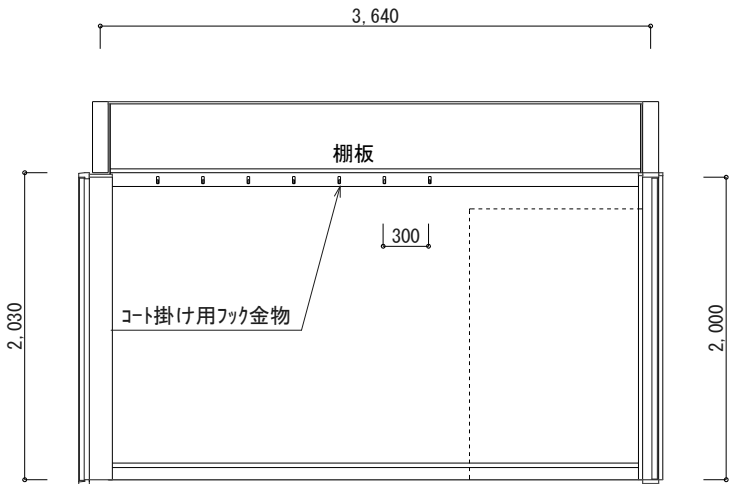


4 面

部屋名	職員更衣室
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地：シタ-コンクリート金ゴテ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	各室名札(平)、壁付コート掛け用フック 棚板、天井点検口(気密断熱600タイプ)

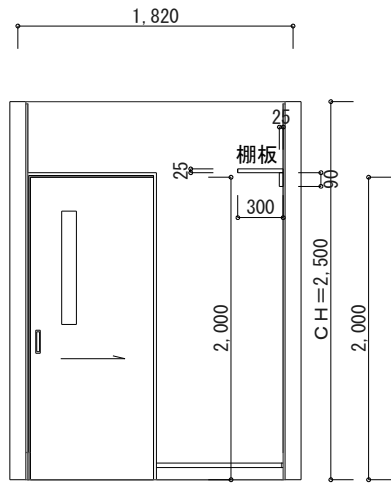


1 面

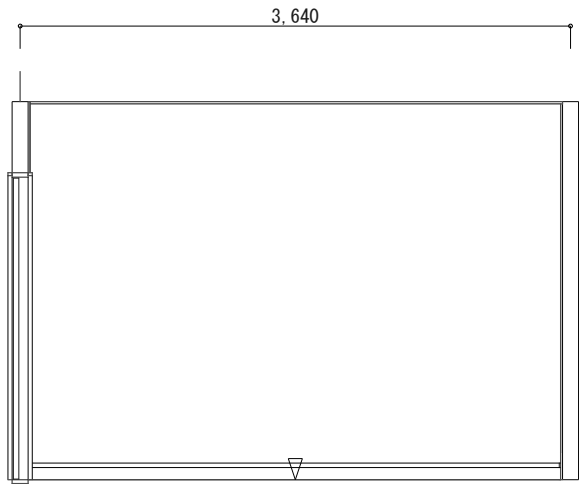


2 面

職員更衣室



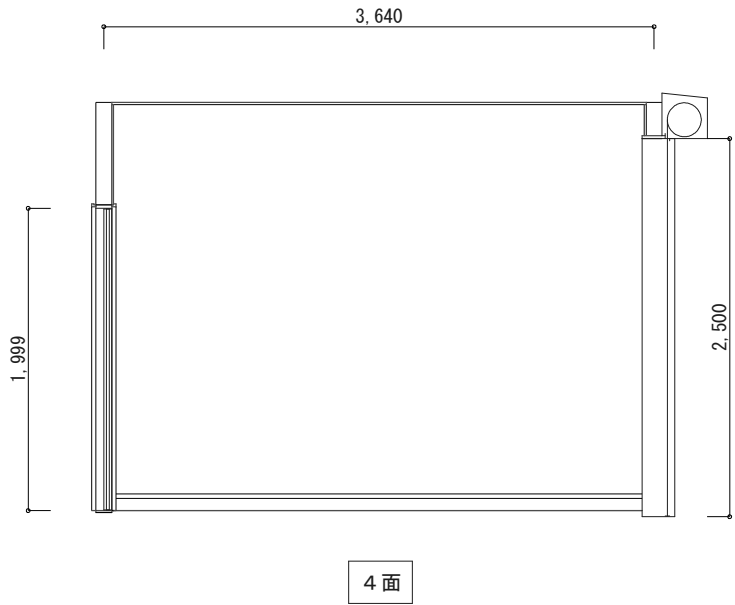
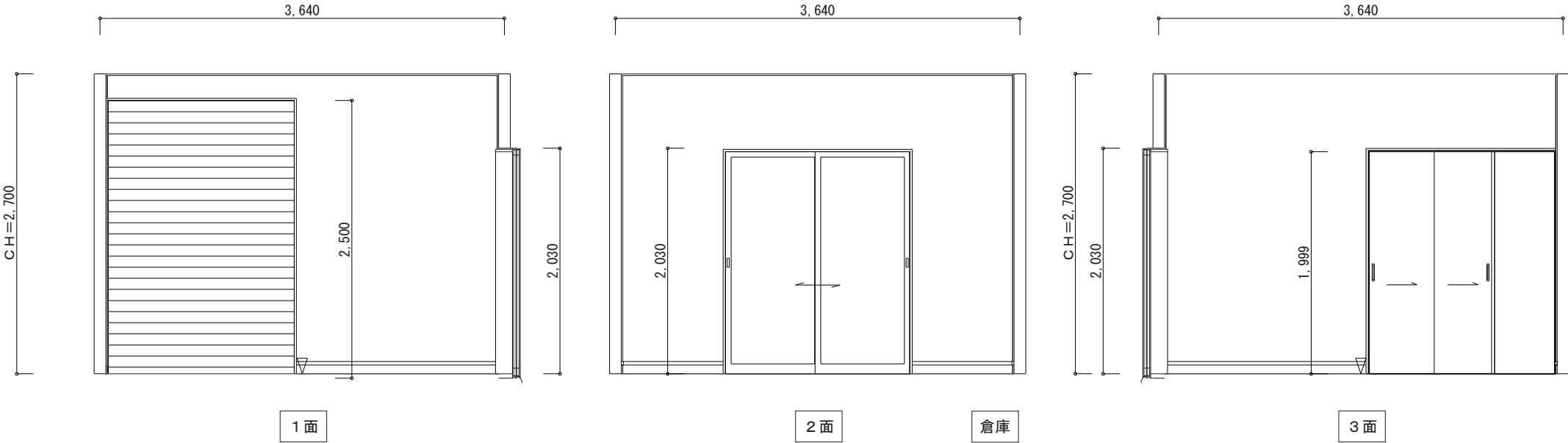
3 面



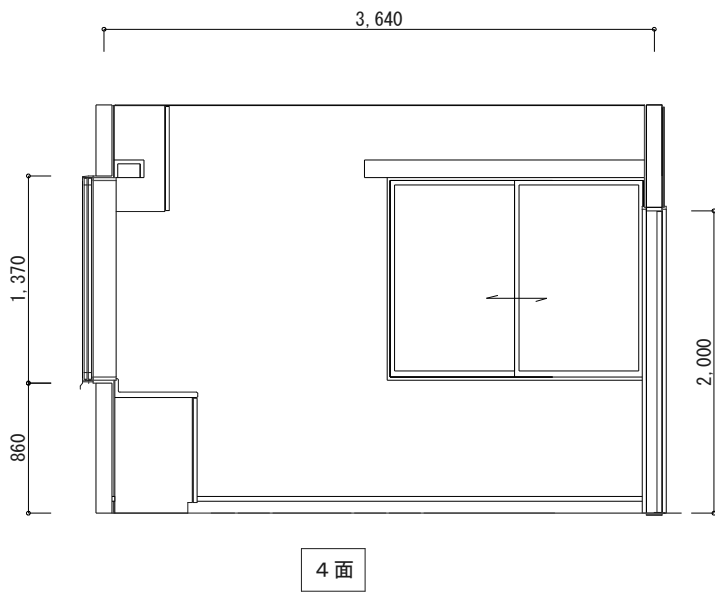
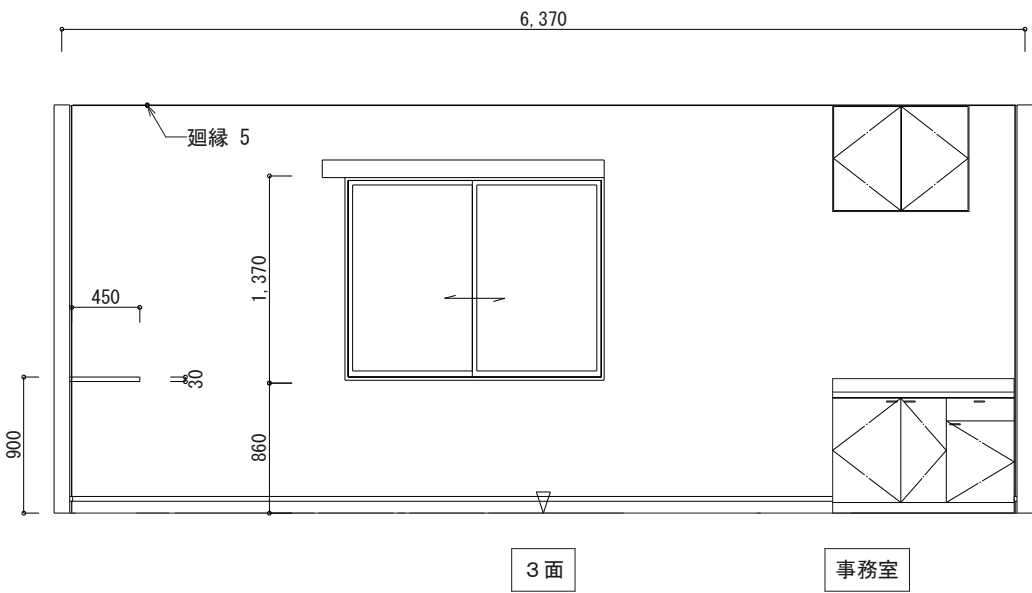
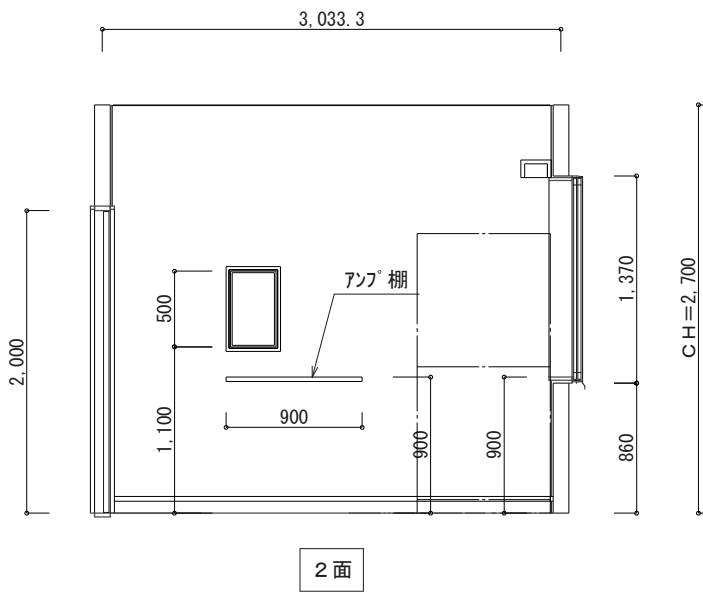
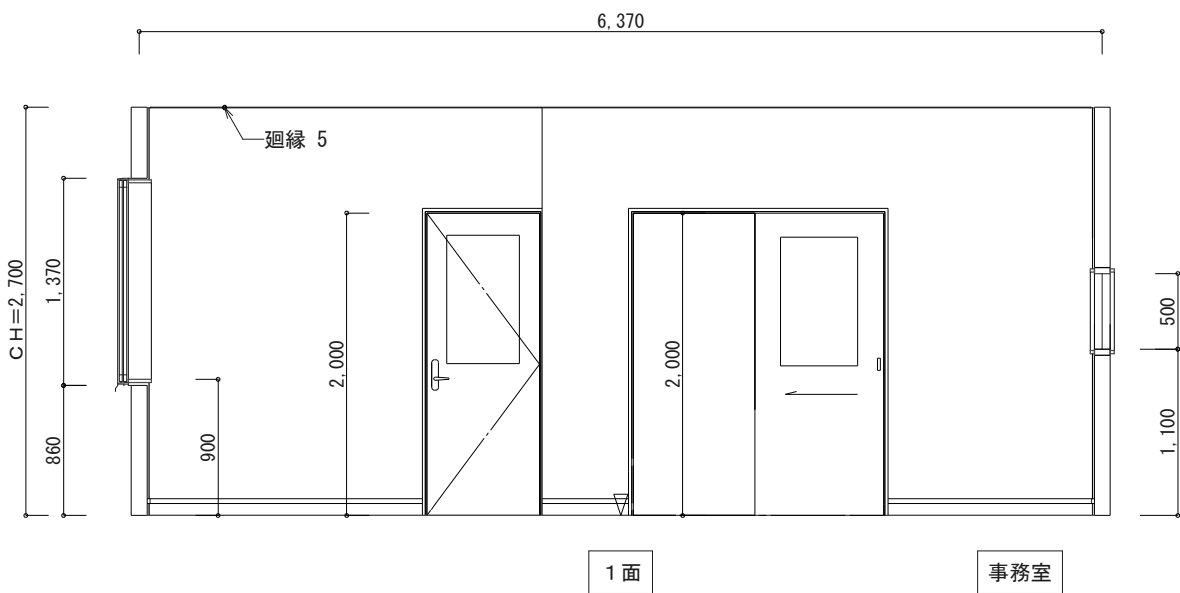
4 面

工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名	展開図②	図 面 No. A-21
備 考			宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	日 付	縮 尺		

部屋名	倉庫
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地：シタ-コンクリート金ゴ-テ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニールクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニールクロス
廻縁	木製既製品
備考	各室名札(平)



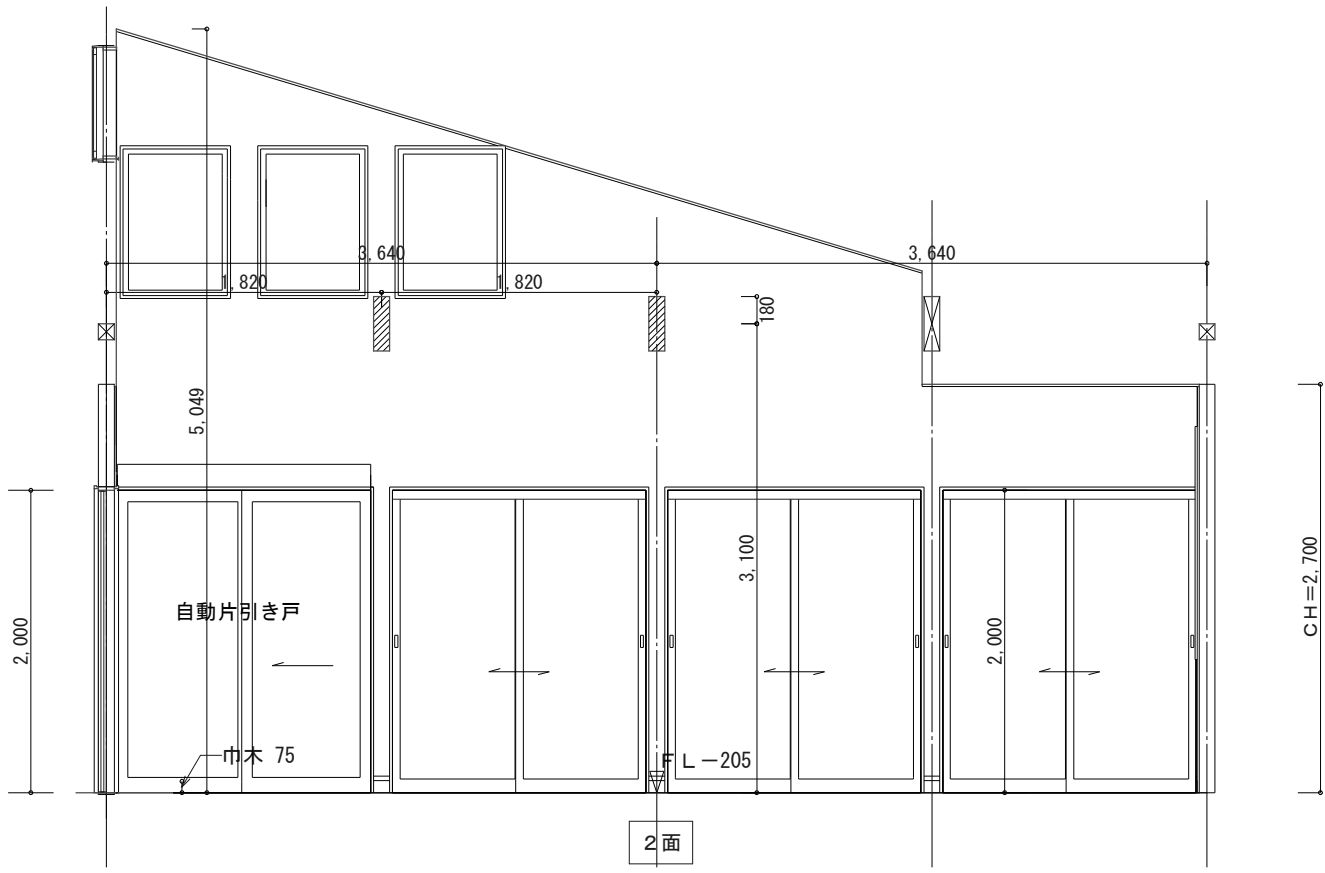
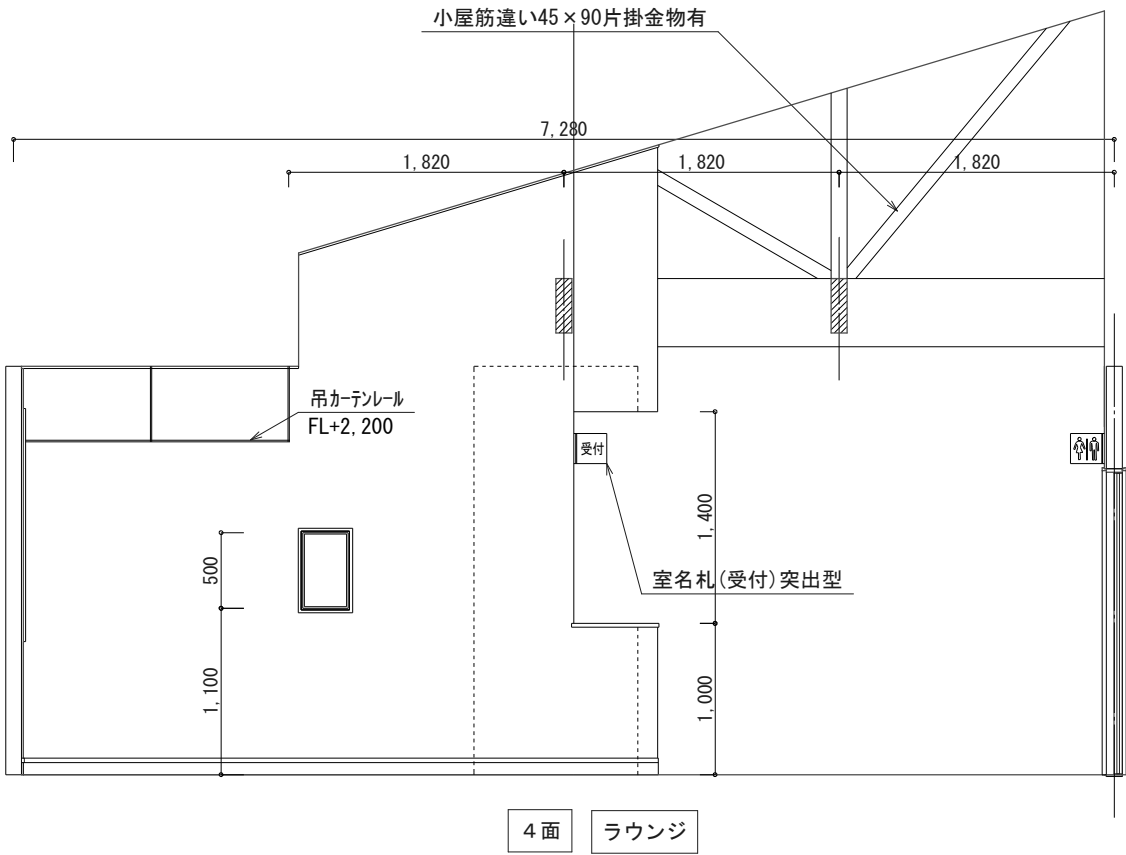
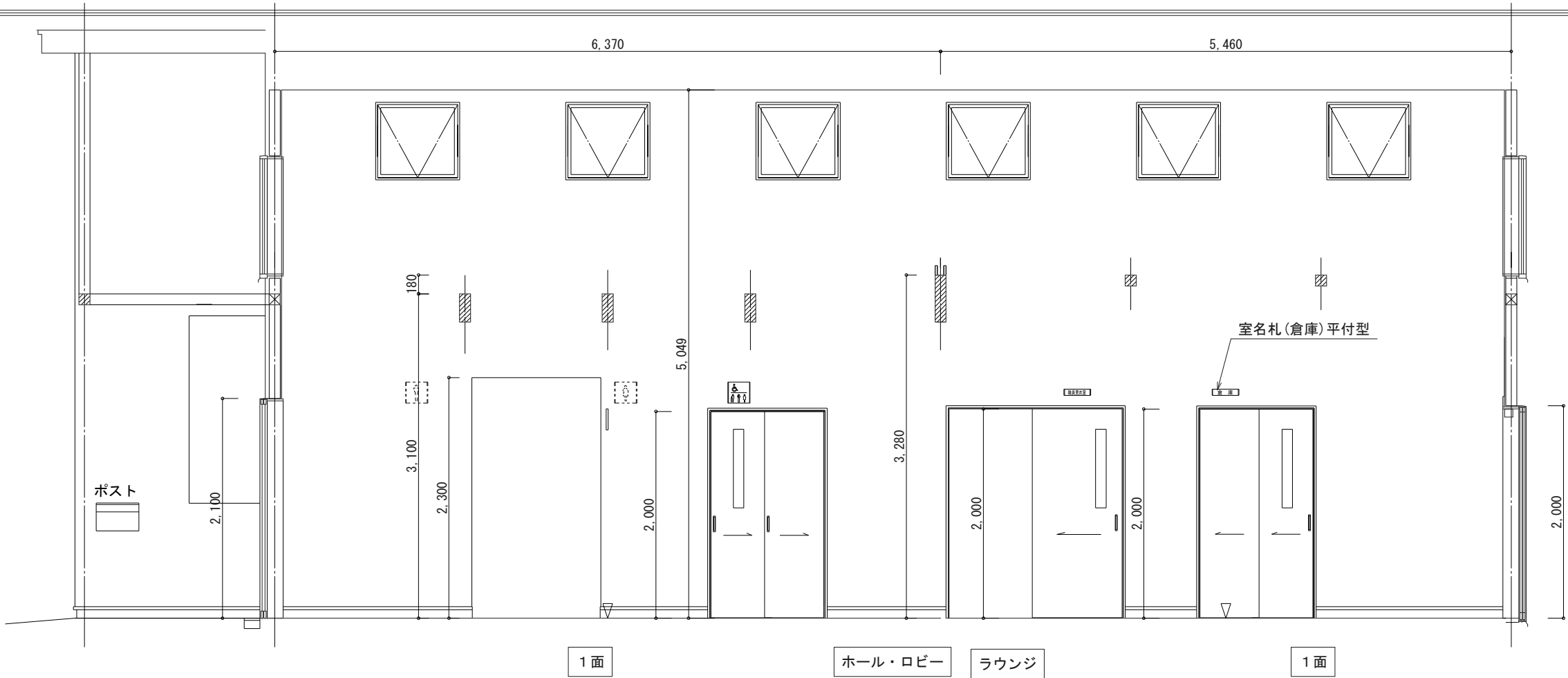
部屋名	事務室
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地：シタ-コンクリート金ゴ-テ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニールクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニールクロス
廻縁	木製既製品
備考	各室名札(平)、流し台、吊戸棚 流し元灯、電気湯沸器、天井点検口 放送用アンプ台棚板、カーテンボックス 防災遮光カーテン+レースカーテン+カーテンレール



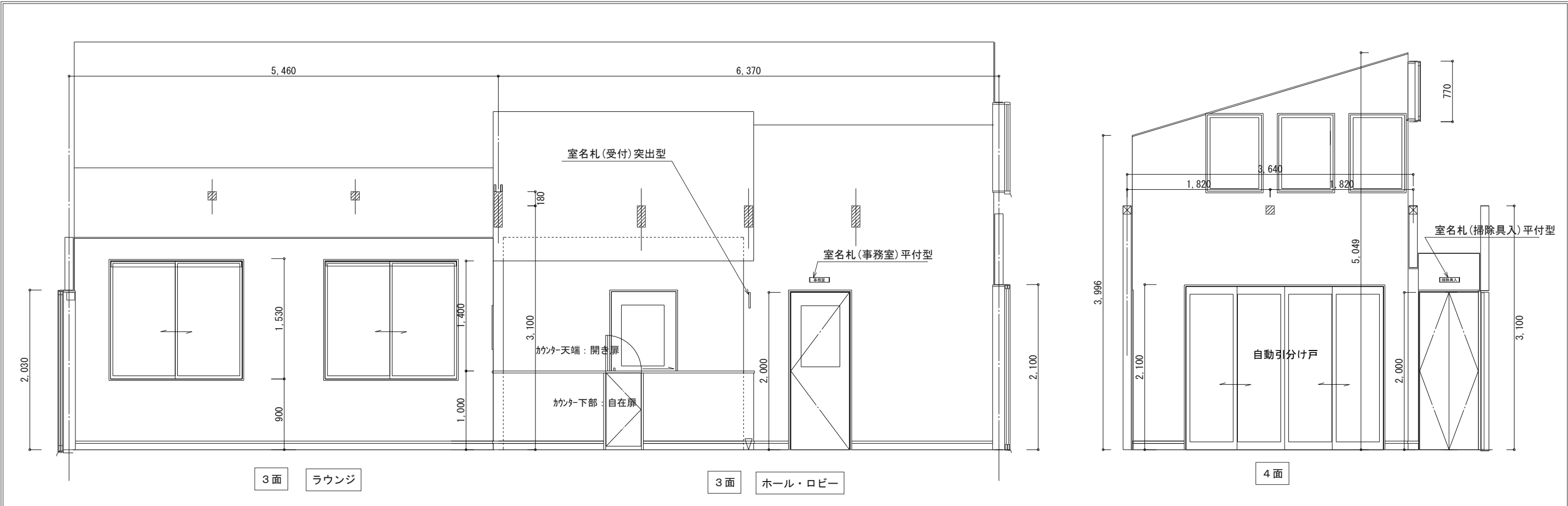
工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 展開図③	図面No. A-22
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺 1/50	

部屋名	屋内ラウンジ
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地：シタ-コンクリート金ゴ-テ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	防災カーテン・レール 防災ロールカーテン 消火器ABC10型ホ-ックス付 室名札、自動片引き戸

部屋名	ホール・ロビー
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地：シタ-コンクリート金ゴ-テ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	室名札、自動引分け戸

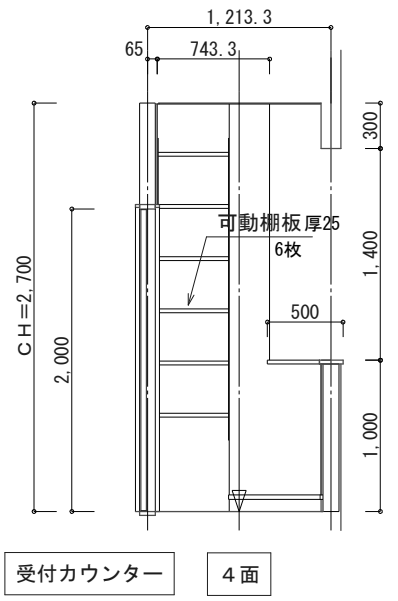
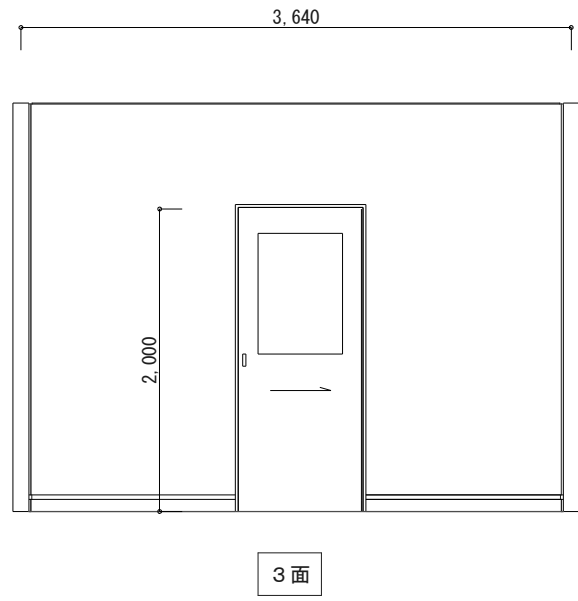
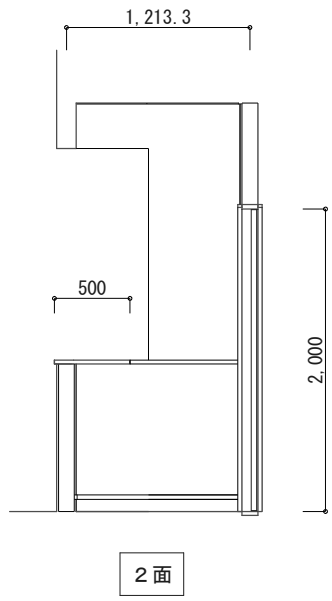
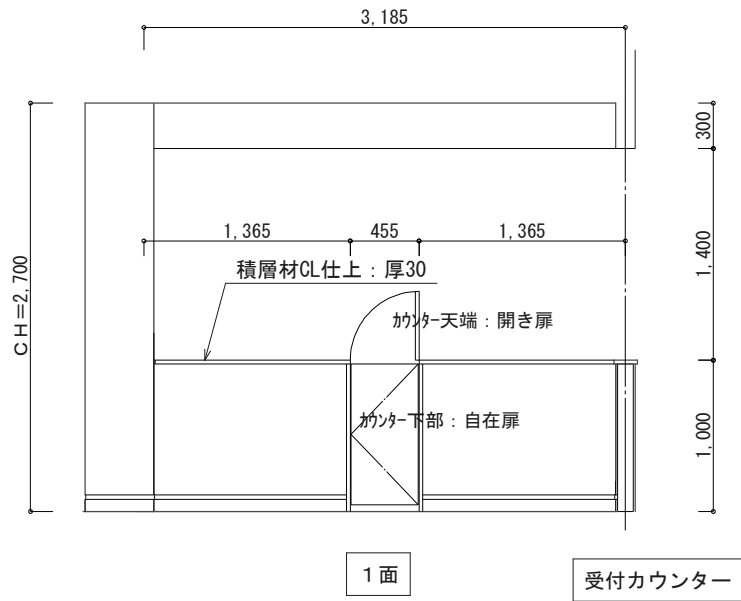


工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名	展開図④	図 面 No. A-23-1
備 考			宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	日 付	縮 尺		

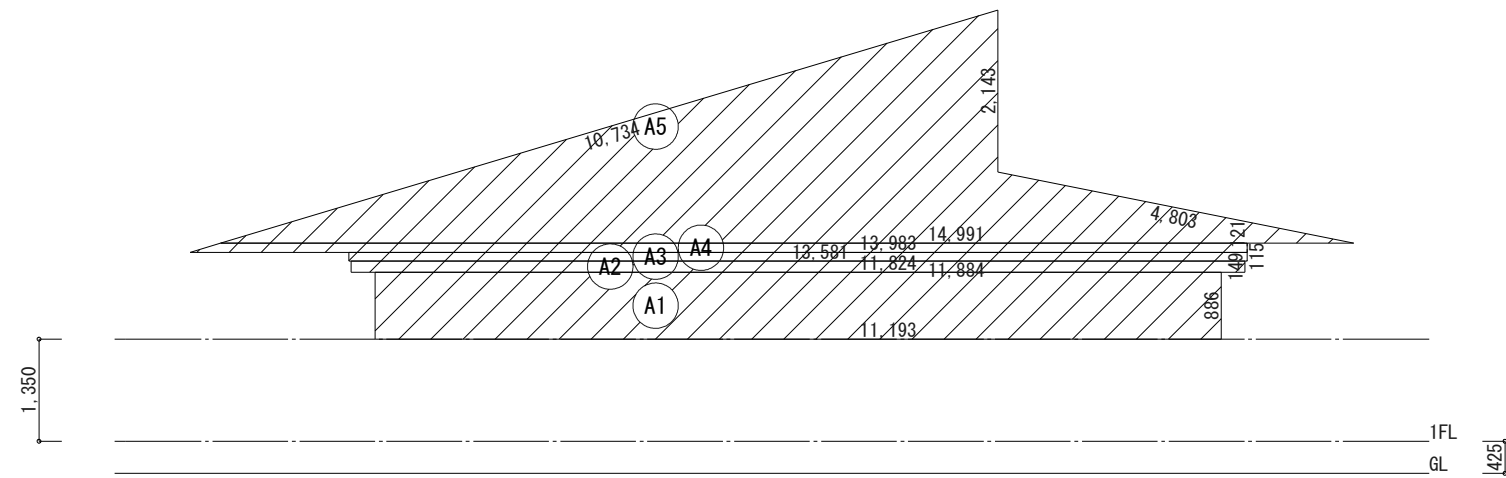


部屋名	ホール・ロビー・屋内ラウンジ
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地: シタールコンクリート金ゴリ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	防災カーテン・レール 防災遮光ロールカーテン 粉末ABC10型消火器 室名札、自動引分け戸

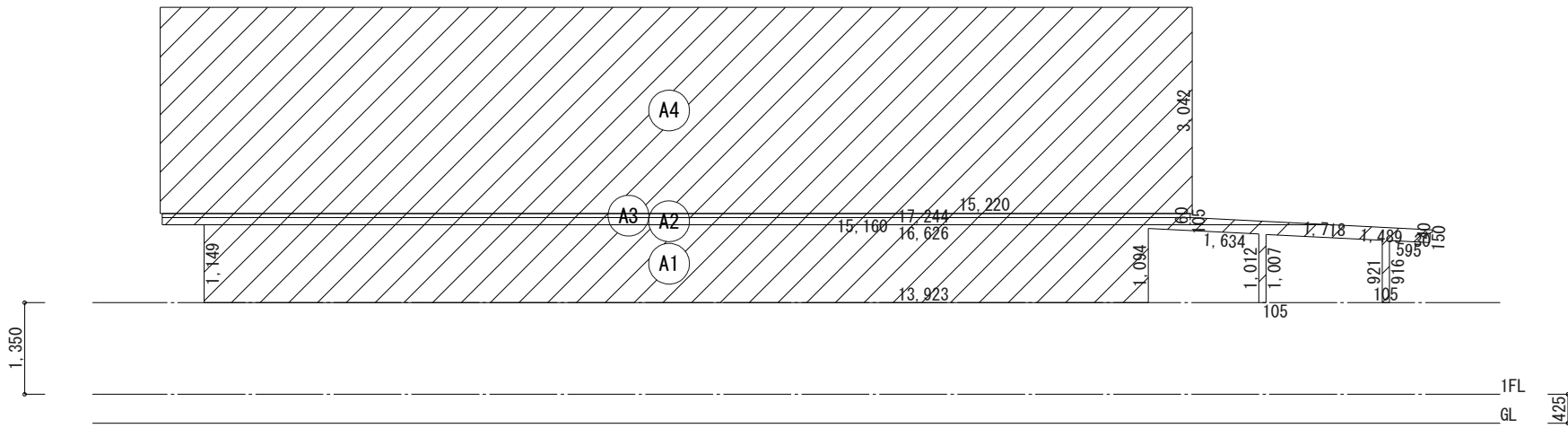
部屋名	受付カウンター
床	長尺塩ビシート貼ア2.0多湿用 下地: シタールコンクリート金ゴリ厚100
巾木	木製見切縁SOP塗装同等品 床材立上げ H=80
壁	耐水石膏ボード 712.5 ビニルクロス
腰壁	
天井	石膏ボード 79.5 ビニルクロス
廻縁	木製既製品
備考	可動棚、カウンター開閉扉 カウンター下部: 自在扉、室名札



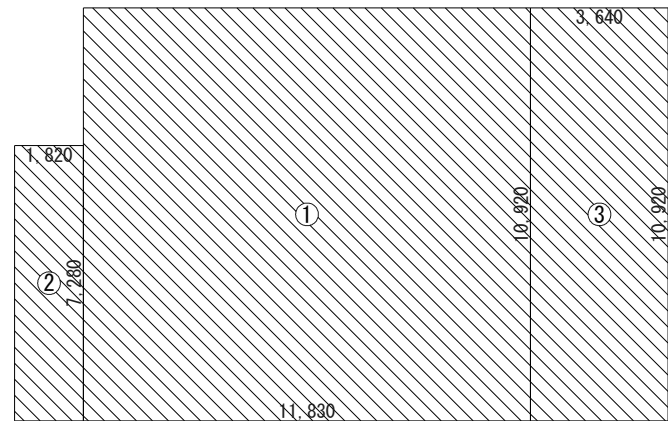
工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 展開図⑤	図面No. A-23-2
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺	



X方向(東面)見付面積算定図



Y方向(南面)見付面積算定図



1階床面積算定図(基準法)

床面積表(基準法)				単位	m ²
階		面積		計	
1	①	11.830×10.920	129.183600	182.19	
	②	1.820×7.280	13.249600		
	③	3.640×10.920	39.748800		

見付面積表						単位	m ²
方向	階		面積		計	累計	
X	1	A1	11.193×0.886	9.916998	32.79	32.79	
		A2	11.824×0.149	1.761776			
		A3	11.884×0.115	1.366660			
		A4	(13.983+13.581)×0.121÷2.0	1.667622			
		A5		18.073483			
Y	1	A1	(17.244+15.160)×0.105÷2.0	16.798053	65.71	65.71	
		A2		1.701210			
		A3	15.160×0.060	0.909600			
		A4	15.220×3.042	46.299240			

工事名 やすらぎパークとみや管理棟⑭

(株)池下建築設計

管理者

設計者

担当者

図面名

軸組計算1-1

図面No.

A-24

備考

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

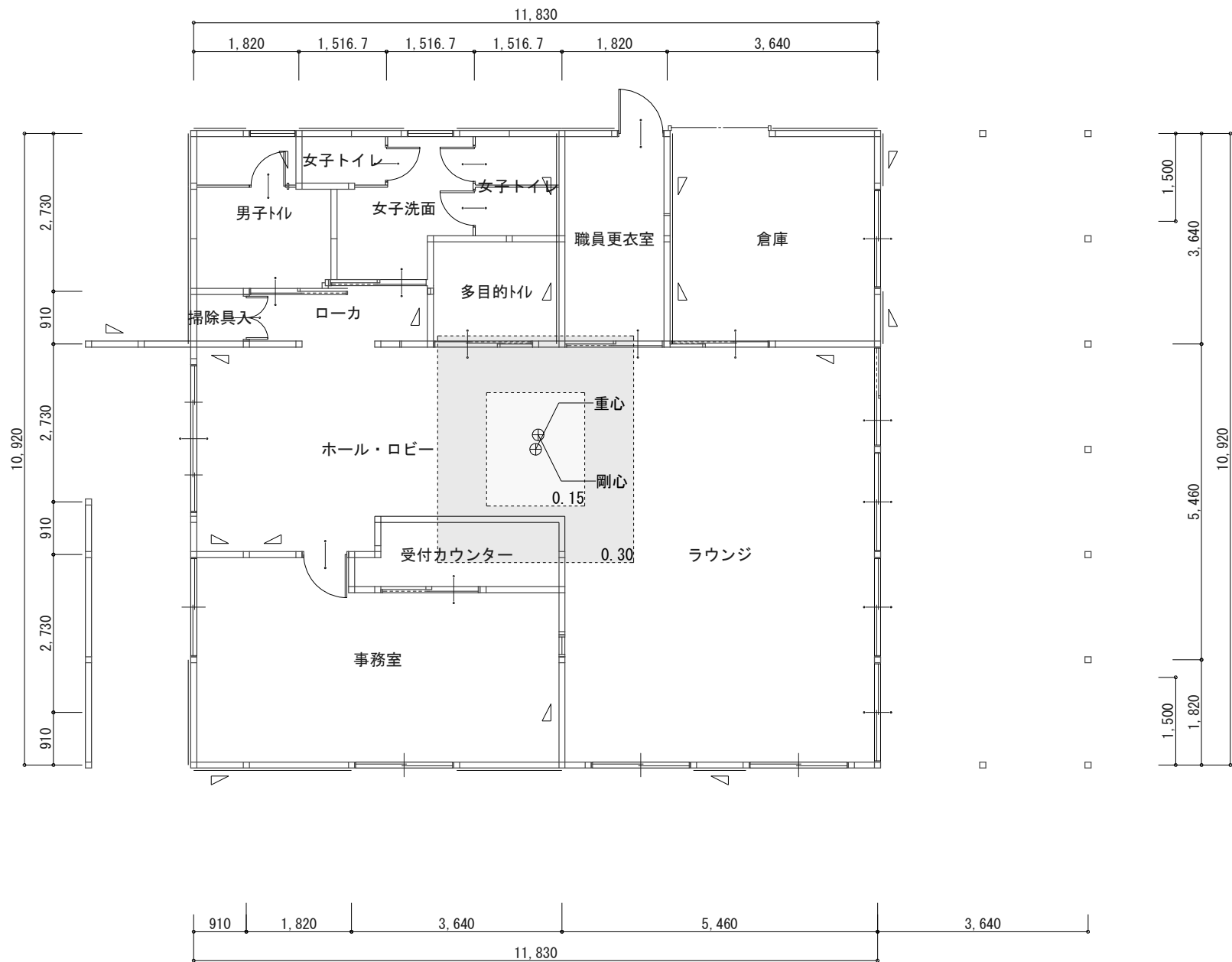
日付

日付

日付

縮尺

1/100



1 階平面図

凡例					
記号	壁の構造 (1) 壁の構造 (2)		筋かいの構造		倍率
W3			木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W7	構造用合板	2.50			2.50
W8	構造用合板	2.50	木材 45×90以上 シングル	2.00	4.50

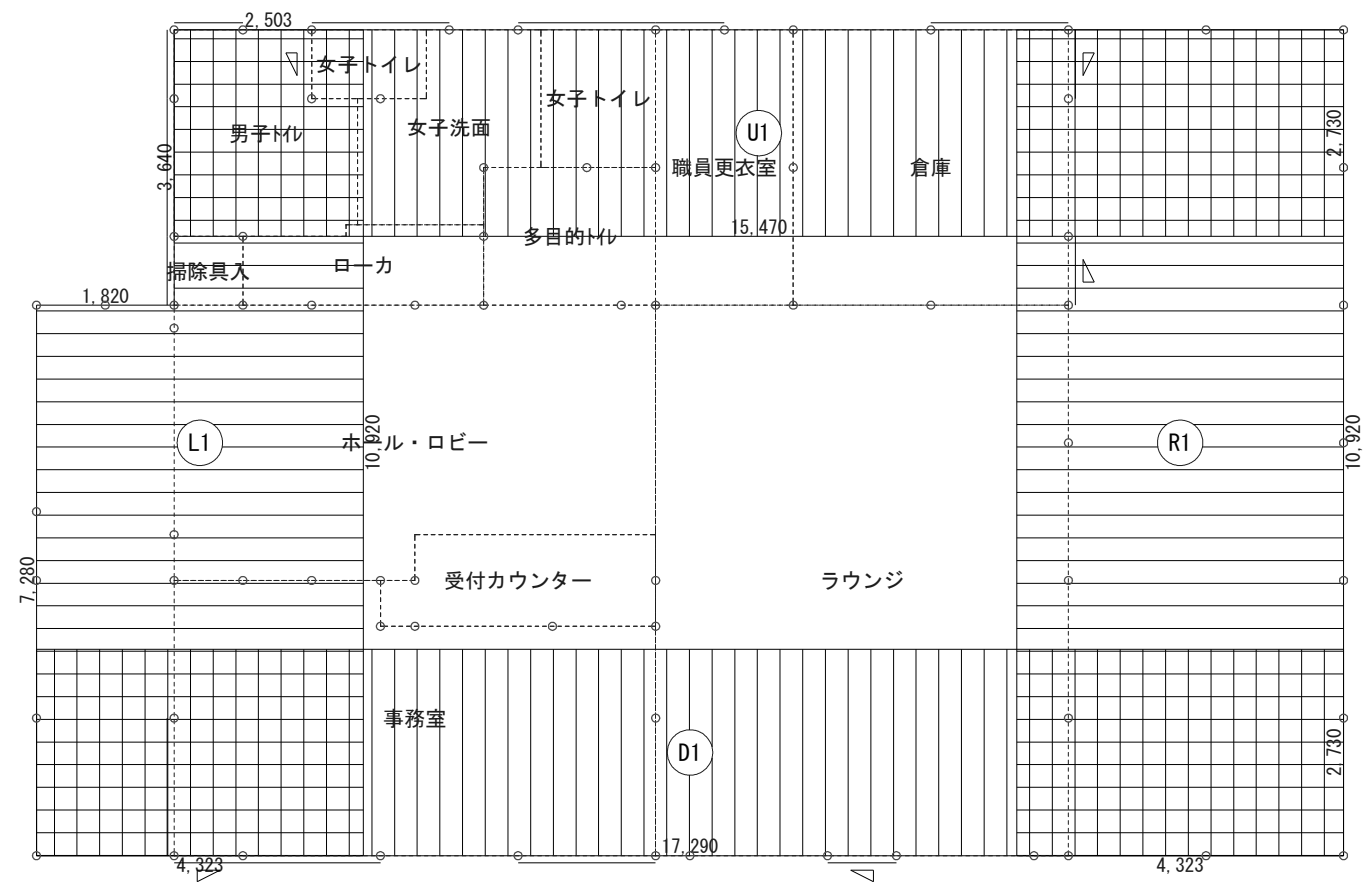
必要壁量算定表 (基準法) 単位 m				
床面積 (地震力) に対する必要壁量				
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	182.19	0.110	20.041
	Y			
見付面積 (風圧力) に対する必要壁量				
階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	32.79	0.500	16.395
	Y	65.71		32.855

床面積 (地震力) に係る条件	
■ 一般区域	
□ 特定行政庁が指定する軟弱地盤区域 (一般区域の1.5倍)	
□ 特定行政庁が指定するその他の区域	
□ 壁・屋根の重量が重い建築物 (土蔵造、瓦葺等)	
■ 屋根の軽い建築物 (金属板、スレート葺等)	
□ 準耐火構造の耐火性能確保 (1.25倍)	
□ 割り増し倍率考慮	
見付面積 (風圧力) に係る条件	
□ 特定行政庁が認める強風区域	
■ 上記以外の区域	

存在壁量算定表 単位 m							
階	方向	記号	倍率 x	長さ x	個所 =	壁量	合計
1	X	W8	4.50	0.910	2	8.190	46.410
		W7	2.50	1.820	5	22.750	
		W7	2.50	0.910	2	4.550	
		W3	2.00	0.910	4	7.280	
		W3	2.00	1.820	1	3.640	
	Y	W8	4.50	1.820	4	32.760	61.880
		W8	4.50	0.910	2	8.190	
		W7	2.50	1.820	2	9.100	
		W7	2.50	0.910	2	4.550	
		W3	2.00	0.910	2	3.640	
		W3	2.00	1.820	1	3.640	

壁量判定表 (基準法) 単位 m						
階	方向	存在壁量	判定	必要壁量		壁余裕度
				床面積 (地震力)	見付面積 (風圧力)	
1	X	46.410	> OK	20.041	16.395	2.31
	Y	61.880	> OK	20.041	32.855	1.88

工 事 名	やすらぎパークとみや管理棟⑭	(株)池下建築設計	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名	軸組計算2-1	図 面 No.	A-25
備 考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付		縮 尺 1/100		



凡例					
記号	壁の構造 (1) 壁の構造 (2)		筋かいの構造		倍率
W3 			木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W7 	構造用合板	2.50			2.50
W8 	構造用合板	2.50	木材 45×90以上 シングル	2.00	4.50

側端部分床面積表 (基準法)					單位	m
階	方向		面積		計	
1	X	上	(U) 15.470 × 2.730	42.233100	42.24	
		下	(D) 17.290 × 2.730	47.201700	47.21	
	Y	左	(L) 4.323 × 7.280 + 2.503 × 3.640	40.582360	40.59	
		右	(R) 4.323 × 10.920	47.207160	47.21	

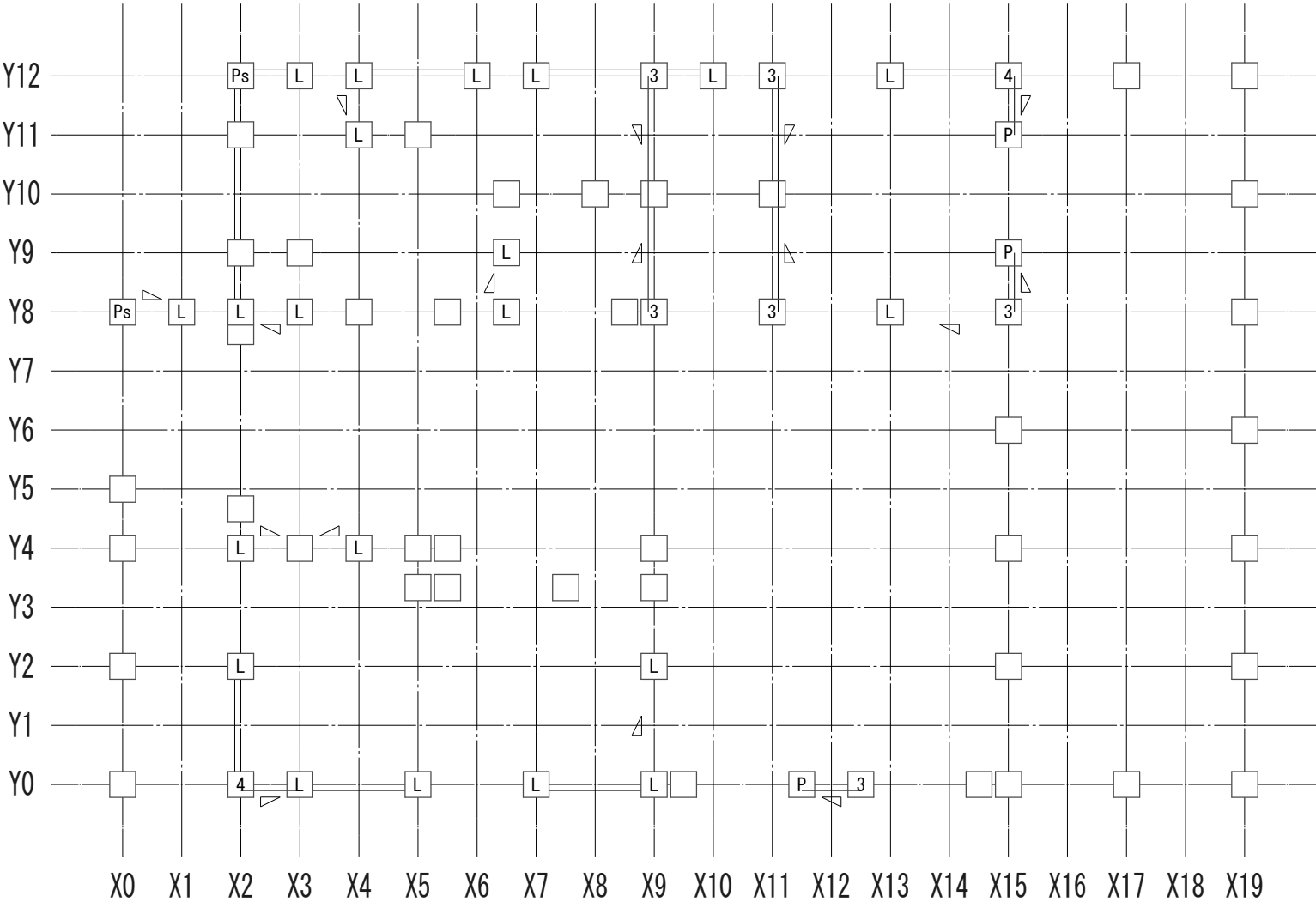
側端部分必要壁量算定表 (基準法)					単位 m		
階	方向	床面積 m ²	物置等 m ²	合計床面積 m ²	乗ずる数値	必要壁量	
1	X	上	42.24	0.00	42.24	0.110	4.647
		下	47.21	0.00	47.21	0.110	5.194
	Y	左	40.59	0.00	40.59	0.110	4.465
		右	47.21	0.00	47.21	0.110	5.194

側端部分存在壁量算定表(基準法)						単位 m			
階	方向	記号	倍率 ×	長さ ×	個所 =	壁量	合計		
1	X	上	W7	2.50	1.820	3	13.650	18.200	
			W7	2.50	0.910	2	4.550		
		下	W8	4.50	0.910	2	8.190		17.290
			W7	2.50	1.820	2	9.100		
	Y	左		2.50	1.820	2	9.100	15.470	
				2.50	0.910	2	4.550		
		右	W3	2.00	0.910	1	1.820		
			W8	4.50	0.910	2	8.190		8.190

壁釣り合い判定表(基準法)				単位 m			
階	方向	必要壁量	存在壁量	壁量充足率	壁率比	判定	
1	X	上	4.647	18.200	3.916	0.849	OK
		下	5.194	17.290	3.328		
	Y	左	4.465	15.470	3.464	0.454	
		右	5.194	8.190	1.576		

全ての壁量充足率が1を超えているためOK

工 事 名 やすらぎパークとみや管理棟⑭	(株)池下建築設計	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名 軸組計算3-1	図 面 No. A-26
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/100	



1 階柱壁伏図

凡例				
記号	壁の構造（１） 壁の構造（２）	筋かいの構造		倍率
W3		木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W7	構造用合板	2.50		2.50
W8	構造用合板	2.50	木材 45×90以上 シングル	2.00 4.50

接合部凡例				*接合部凡例はユーザ設定されたものです。	
記号	仕様			N	倍率
(い)		短ぼぞ差し、かすがい打ち			0.00
(ろ)	N	長ぼぞ差し込み栓打ち			0.70
(ろ)	L	L字型金物			0.65 0.70
(は)	V	V字型金物			1.00 1.00
(は)	T	T字型金物			1.00
(に)	P	羽子板ボルト			1.40 1.40
(に)	I	短冊金物			1.40
(ほ)	Ps	羽子板ボルト+スクリュー釘50			1.60 1.60
(ほ)	Is	短冊金物+スクリュー釘50			1.60
(へ)	2	10KN用引き寄せ金物			1.80 1.80
(と)	3	15KN用引き寄せ金物			2.80 2.80
(ち)	4	20KN用引き寄せ金物			3.70 3.70
(り)	5	25KN用引き寄せ金物			4.70 4.70
(ぬ)	32	15KN用引き寄せ金物×2			5.60 5.60
(る)	J1	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物			1.90
(を)	J2	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物×2			3.00

梁継手・仕口用
梁継手・仕口用

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様			
	筋かいの種類	接合部の仕様（構造方法）	
イ	鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90, 8本平打ち	
ロ	筋かい:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65, 5本平打ち	
ハ	筋かい:30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65, 3本平打ち、柱に対してCN65, 3本平打ち、横架材に対してCN65, 4本平打ち。筋かいプレートBP同等品	
ニ	筋かい:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー釘φ4.5L50, 7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50, 5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品	
ホ	筋かい:90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合	

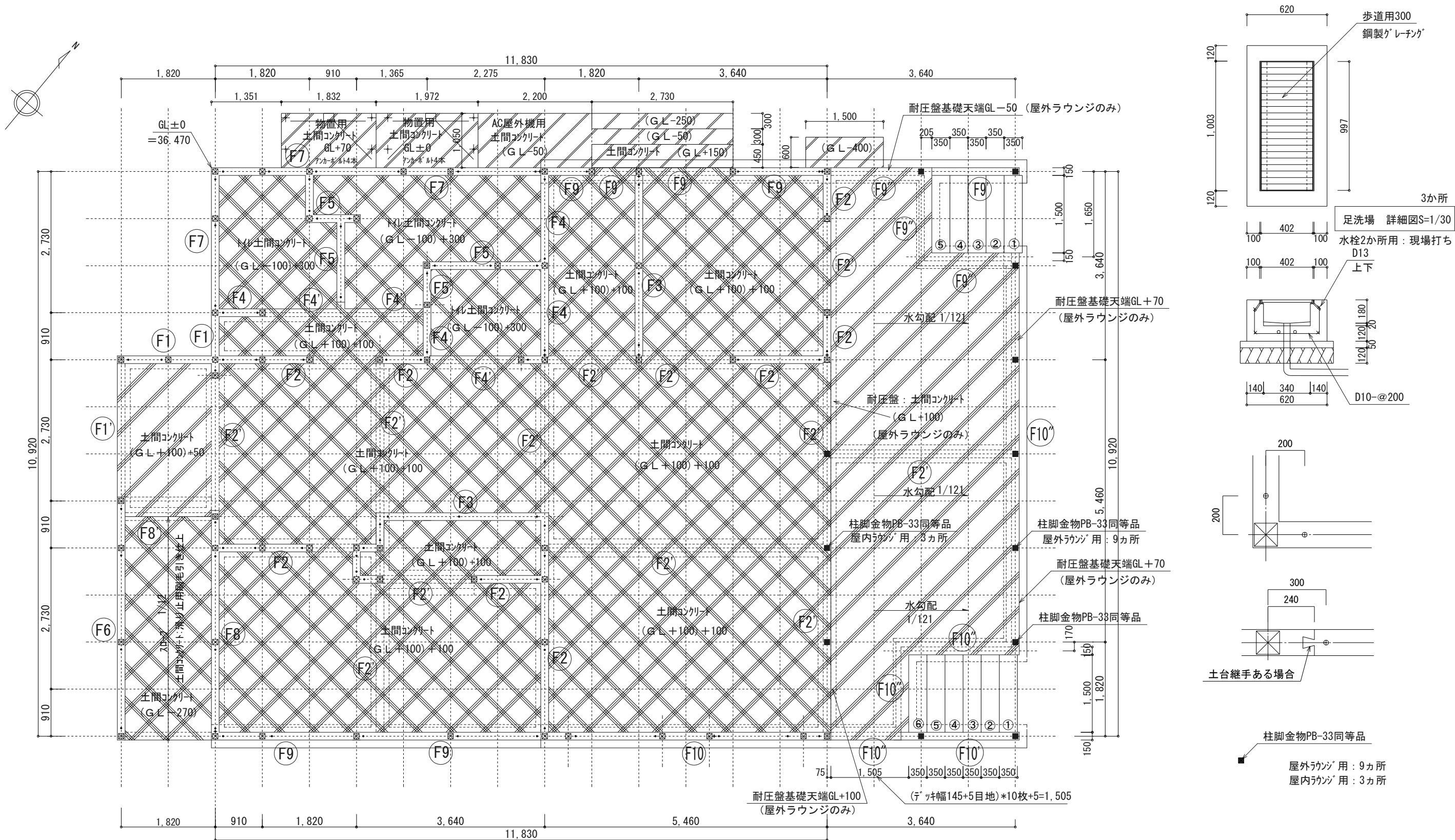
胴差と通し柱の接合部の仕様		
	胴差と通し柱の条件	仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ぼぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ぼぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

工事名	やすらぎパークとみや管理棟⑭	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名	図面No.
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	軸組計算4-1	A-27
						縮尺 1/100	

柱接合部判定表																
階	通し柱	柱位置		出隅柱		計算式				N	柱頭		柱脚		胴差と通し柱	
		X	Y	階数1又は階数2の2階	階数2の1階	X方向		Y方向			仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定
1		0	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2	0	○	—	(4.50+0.50)×0.8-0.4	3.60	2.50×0.8-0.4	1.60	3.60	4(ち)	OK	4(ち)	OK		
		3	0	×	—	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		5	0	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		7	0	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		9	0	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		9.5	0	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		11.5	0	×	—	(4.50-0.50)×0.5-0.6	1.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		12.5	0	×	—	(4.50+0.50)×0.5-0.6	1.90	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK		
		14.5	0	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		15	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		17	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		19	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	2	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2	2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		9	2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		15	2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		19	2	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		5	3.3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		5.5	3.3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		7.5	3.3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	3.3	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	4	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2	4	×	—	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		3	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		4	4	×	—	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		5.5	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		15	4	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		19	4	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2	4.7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	5	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		15	6	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		19	6	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2	7.7	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	8	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		1	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2	8	×	—	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		3	8	×	—	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		4	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		5.5	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		6.5	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		8.5	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		9	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50+0.50)×0.5-0.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK		
		11	8	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50+0.50)×0.5-0.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK		
		13	8	×	—	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK		
		15	8	×	—	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	(4.50+0.50)×0.5-0.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK		
		19	8	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2	9	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
	3	9	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK			
	15	9	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50-0.50)×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
	6.5	9.2	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	6.5	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK			
	8	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK			
	9	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK			
	11	10	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK			
	19	10	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK			
	2	11	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK			
	4	11	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	5	11	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK			
	15	11	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50-0.50)×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
	2	12	○	—	2.50×0.8-0.4	1.60	2.50×0.8-0.4	1.60	1.60	Ps(ほ)	OK	Ps(ほ)	OK			
	3	12	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	4	12	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	6	12	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	7	12	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	9	12	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50+0.50)×0.5-0.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK			
	10	12	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	11	12	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	(4.50+0.50)×0.5-0.6	1.90	1.90	3(と)	OK	3(と)	OK			
	13	12	×	—	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
	15	12	○	—	2.50×0.8-0.4	1.60	(4.50+0.50)×0.8-0.4	3.60	3.60	4(ち)	OK	4(ち)	OK			
	17	12	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK			
	19	12	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK			

接合部凡例				*接合部凡例はユーザ設定されたものです。	
記号		仕様		N	倍率
(い)		短ほぞ差し、かすがい打ち		0.00	
(ろ)	N	長ほぞ差し込み栓打ち			0.70
(ろ)	L	L字型金物		0.65	0.70
(は)	V	V字型金物		1.00	1.00
(は)	T	T字型金物			1.00
(に)	P	羽子板ﾎﾞﾙﾄ		1.40	1.40
(に)	I	短冊金物			1.40
(ほ)	Ps	羽子板ﾎﾞﾙﾄ+ｽｸﾘｭｰ釘50		1.60	1.60
(ほ)	Is	短冊金物+ｽｸﾘｭｰ釘50			1.60
(へ)	2	10KN用引き寄せ金物		1.80	1.80
(と)	3	15KN用引き寄せ金物		2.80	2.80
(ち)	4	20KN用引き寄せ金物		3.70	3.70
(り)	5	25KN用引き寄せ金物		4.70	4.70
(ぬ)	32	15KN用引き寄せ金物×2		5.60	5.60
(る)	J1	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ﾎﾞﾙﾄ、短冊金物		1.90	梁継手・仕口用
(を)	J2	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ﾎﾞﾙﾄ、短冊金物×2		3.00	梁継手・仕口用

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
	筋かいの種類	接合部の仕様（構造方法）
イ	鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90, 8本平打ち
ロ	筋かい: 15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65, 5本平打ち
ハ	筋かい: 30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65, 3本平打ち、柱に対してCN65, 3本平打ち、横架材に対してCN65, 4本平打ち。筋かいプレートBP同等品
ニ	筋かい: 45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー釘φ4.5L50, 7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50, 5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品
ホ	筋かい: 90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合



基礎伏図 S:1/75

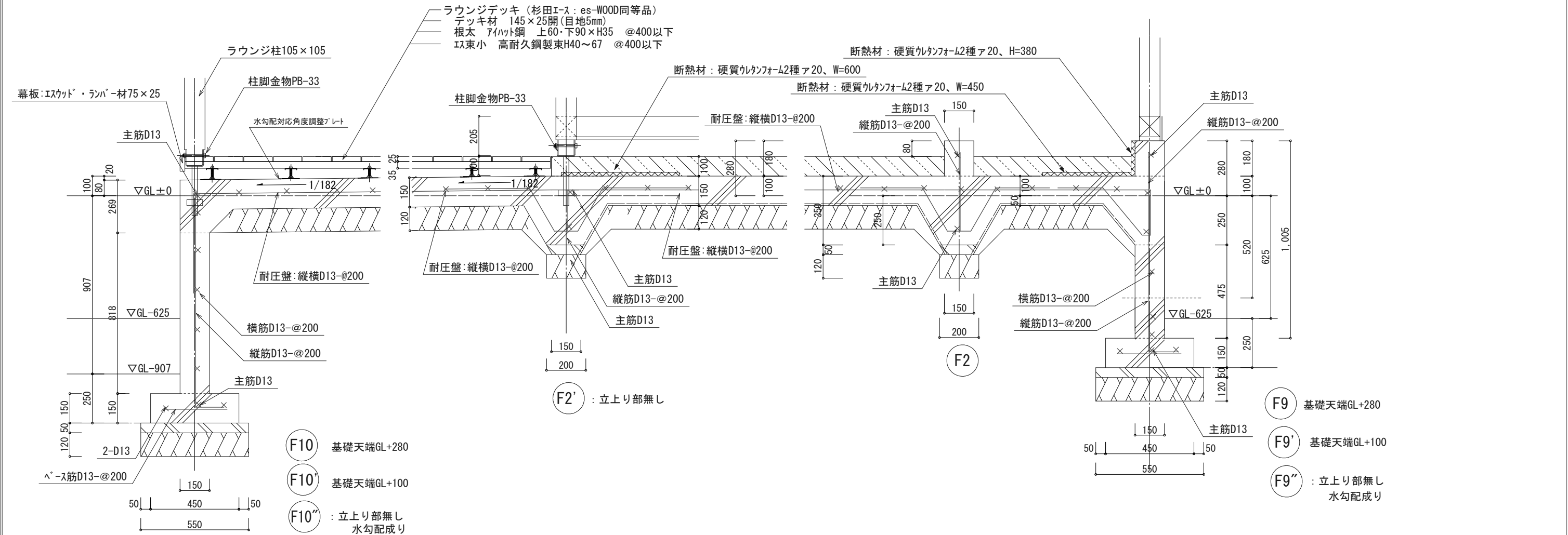
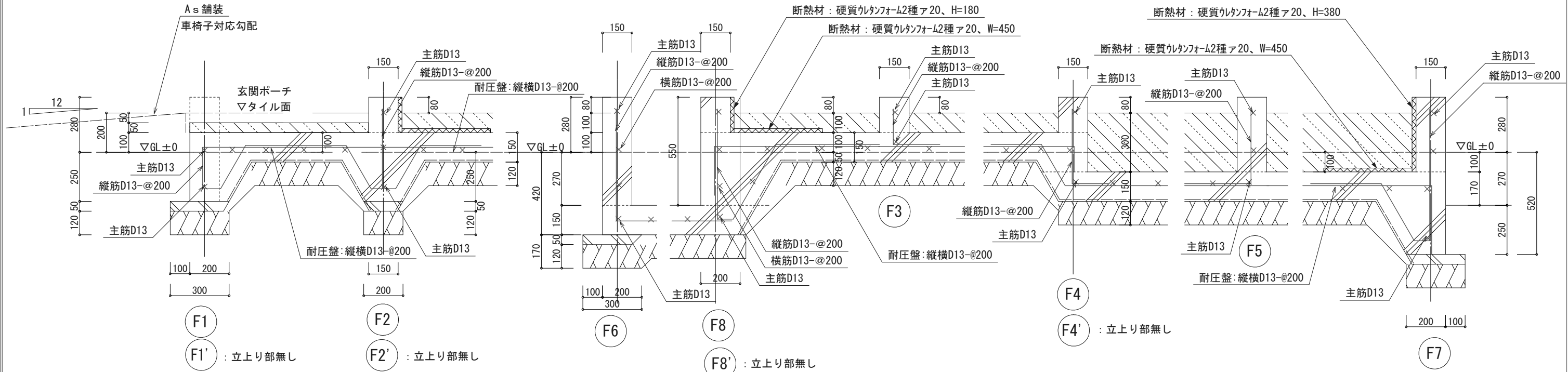
- ・ アンカーボルトM12 L=450 Zマーク 柱芯より200以内設置、埋め込み長=240以上
- ⊕ ホールダウンアンカー-M16 L=700 Zマーク 柱面より35以内設置、埋め込み長=360以上(ただし、記号5は410以上)

特記仕様

床下は、ポリシート(ア)0.1以上 重ね合せ250
床レベルは地盤面を基準とする
ボルトの出：基礎天端よりM12 (+160) とする
床下換気は基礎気密パッキン^ア20使用
コンクリート強度：F_c = 21N/mm² 鉄筋：SD295A

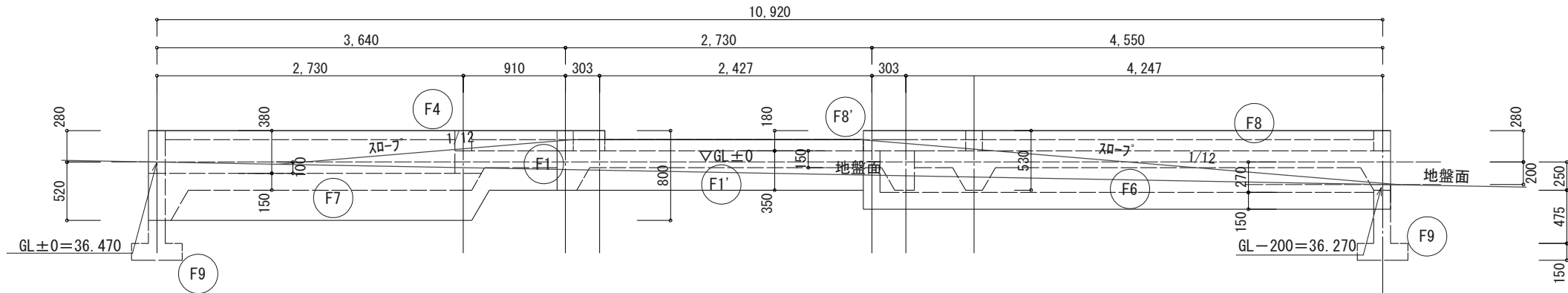
地盤改良工事：
地盤の種類 粘性土、礫混じり
許容地耐力 f_e = 30 kN/m²以上(長期)
土間床外気に接する部分：押出法^ホ リスレソフォー^ス M3種 t = 50施工
その他の部分部分：押出法^ホ リスレソフォー^ス M3種 t = 15施工

工事名	やすらぎパークとみや管理棟⑭	管理者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者		図面名	基礎伏図	図面No.	A-29
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ						縮尺	1/75, 1/30		

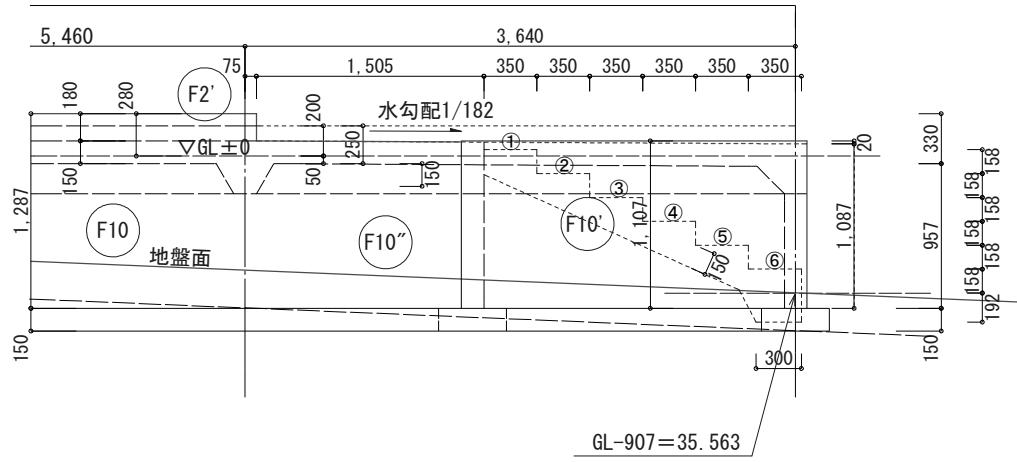
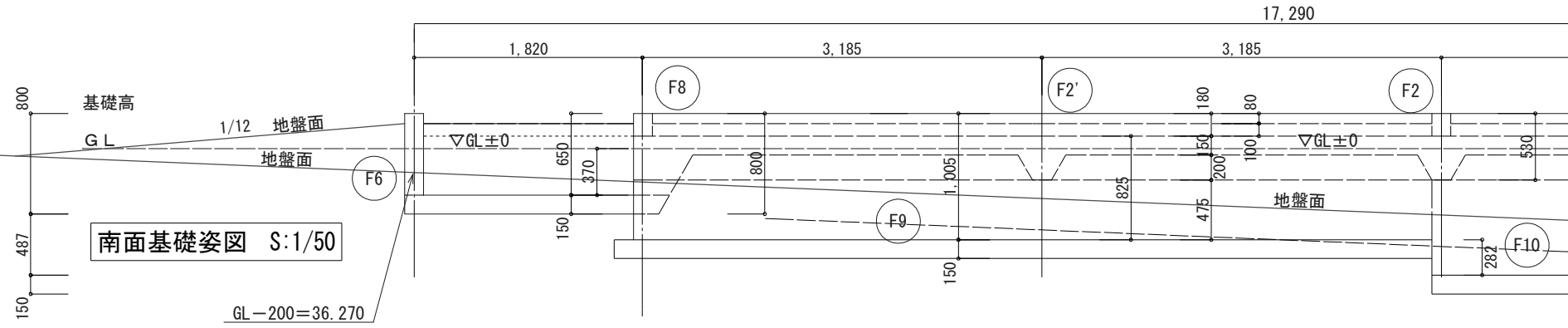


工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 基礎詳細図	図面No. A-30
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	事務所登録 宮城県 第21610219号	日付	日付	日付	縮尺 1/20	

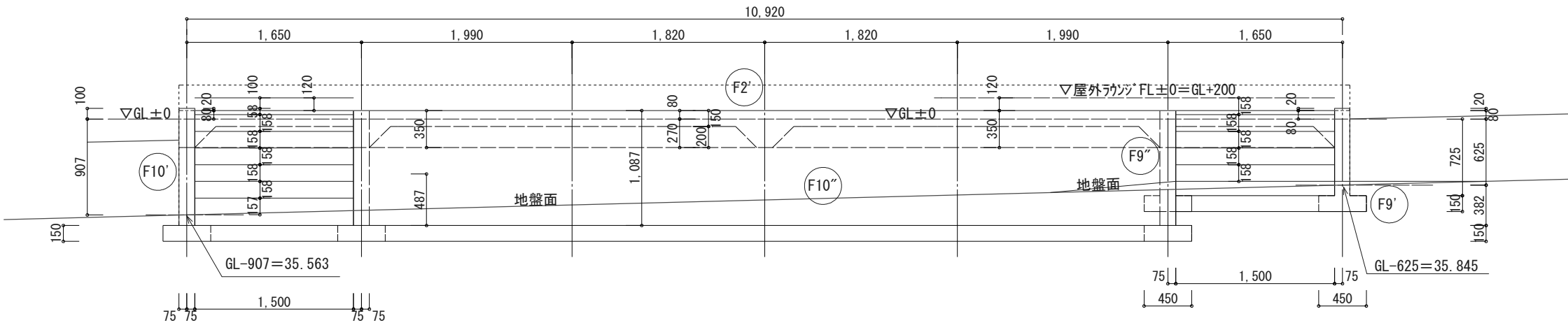
西面基礎姿図 S:1/50



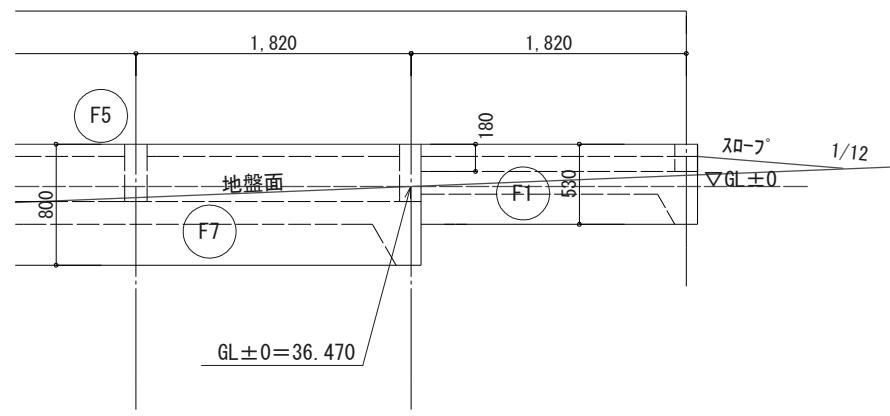
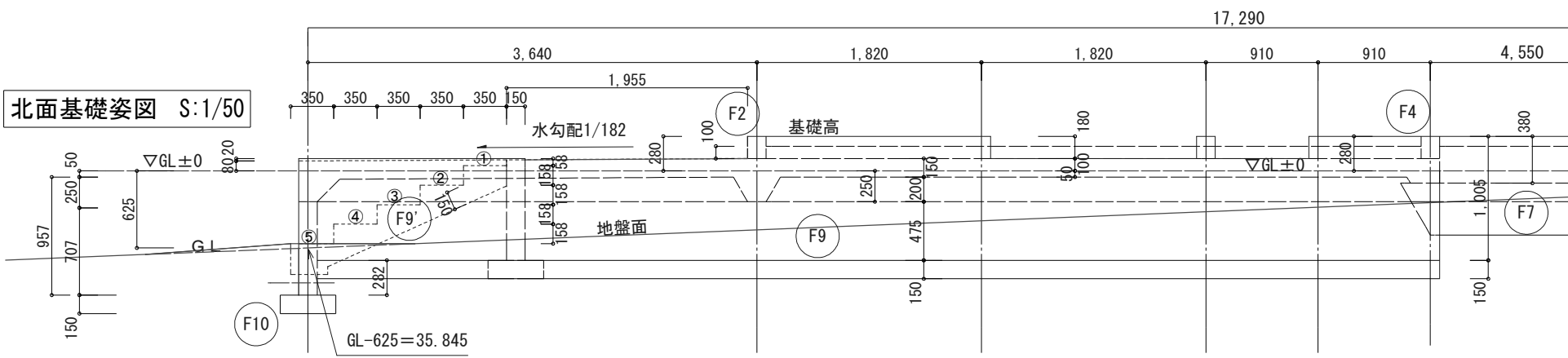
南面基礎姿図 S:1/50



東面基礎姿図 S:1/50

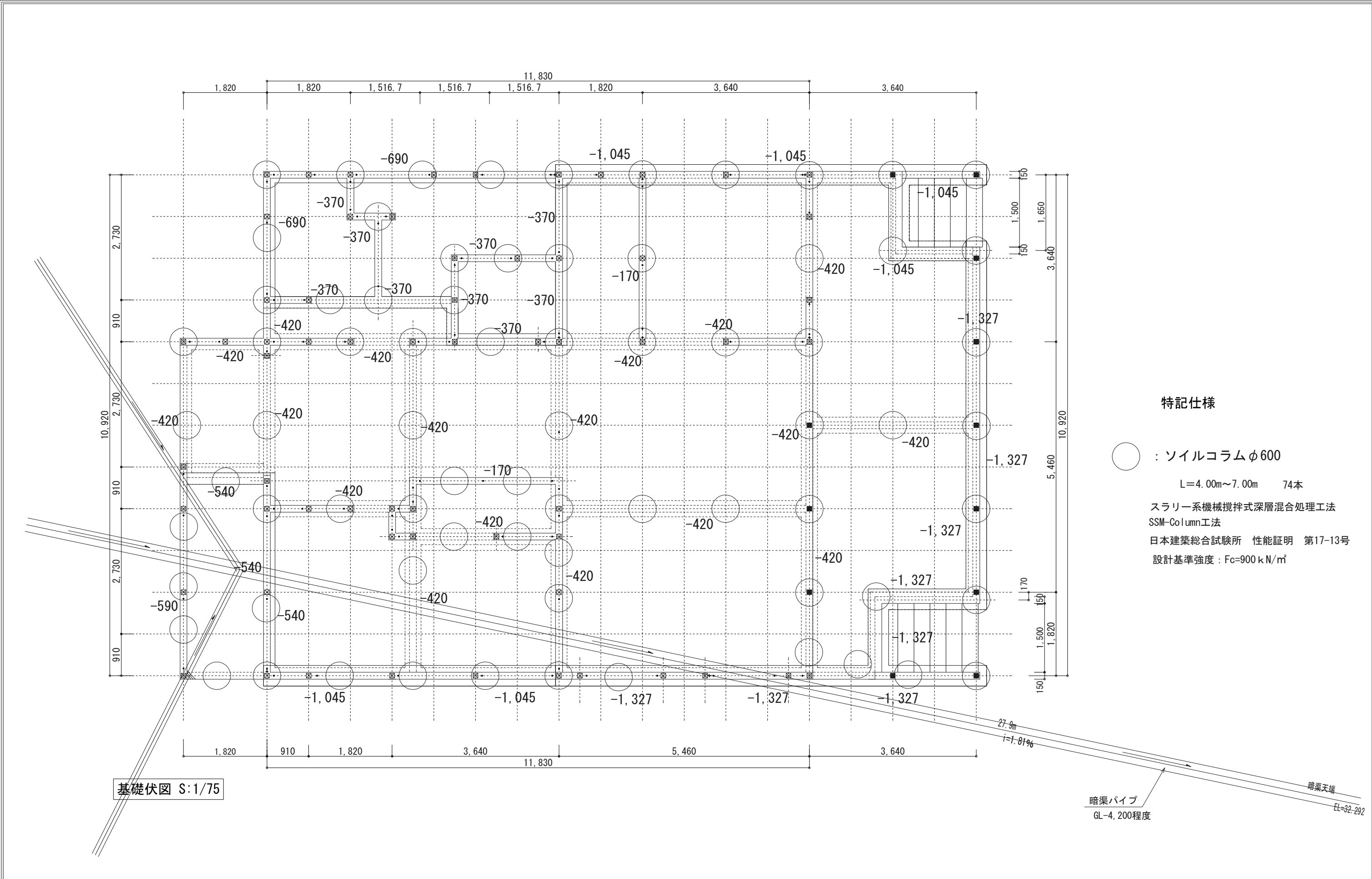


北面基礎姿図 S:1/50



工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 管理棟：基礎断面・姿図	図面No. A-31
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名	図 面 No. A-32
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		池下 久幸 一級建築士 第280837号	池下 久幸 一級建築士 第280837号		その他基礎詳細	



特記仕様

○ : ソイルコラムφ600

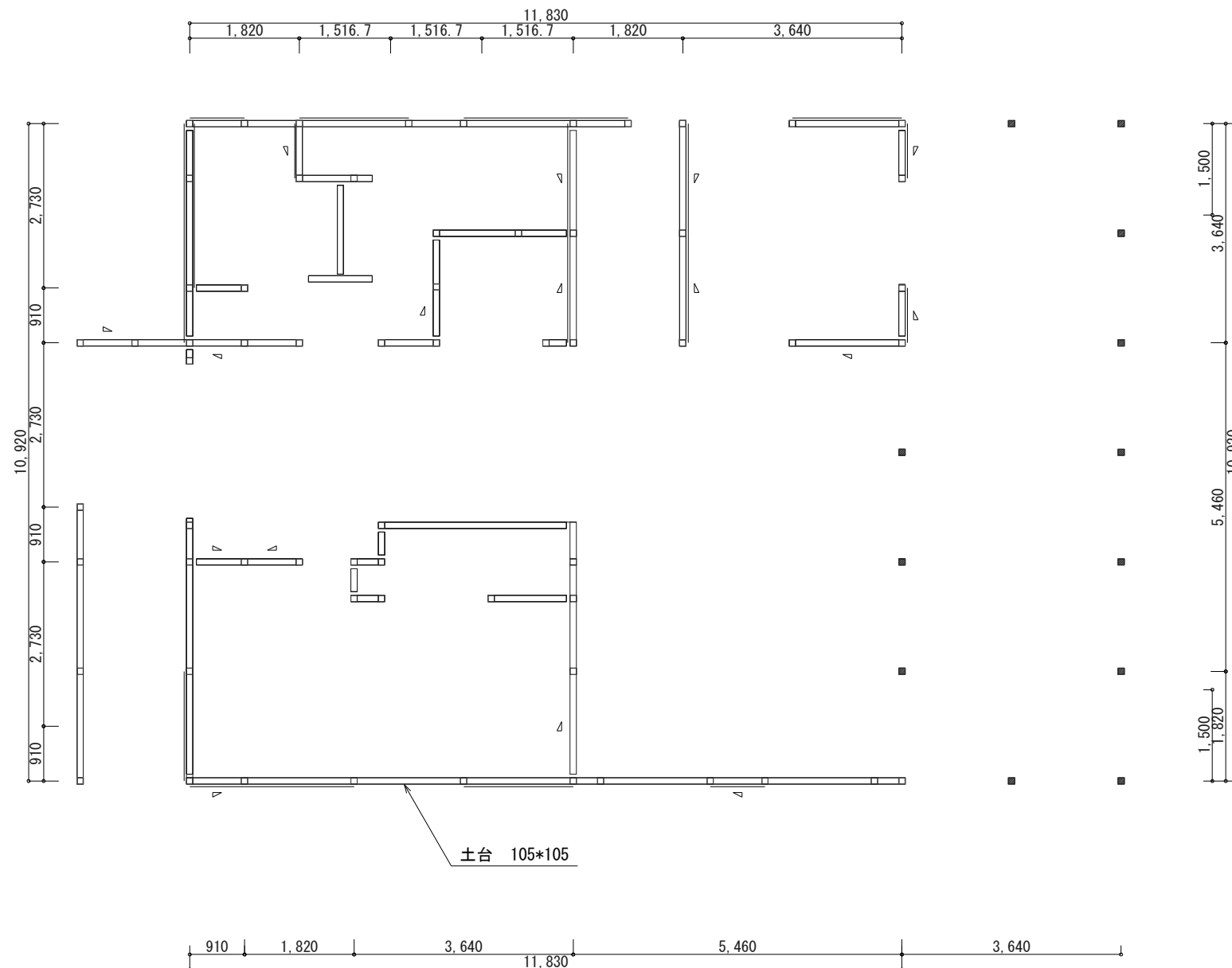
L=4.00m~7.00m 74本

スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法
SSM-Column工法

日本建築総合試験所 性能証明 第17-13号

設計基準強度: $F_c=900 \text{ kN/m}^2$

工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株) 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 地盤改良工事	図面 No. A-33
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TEL と同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/75	



1階 床伏図 S:1/50

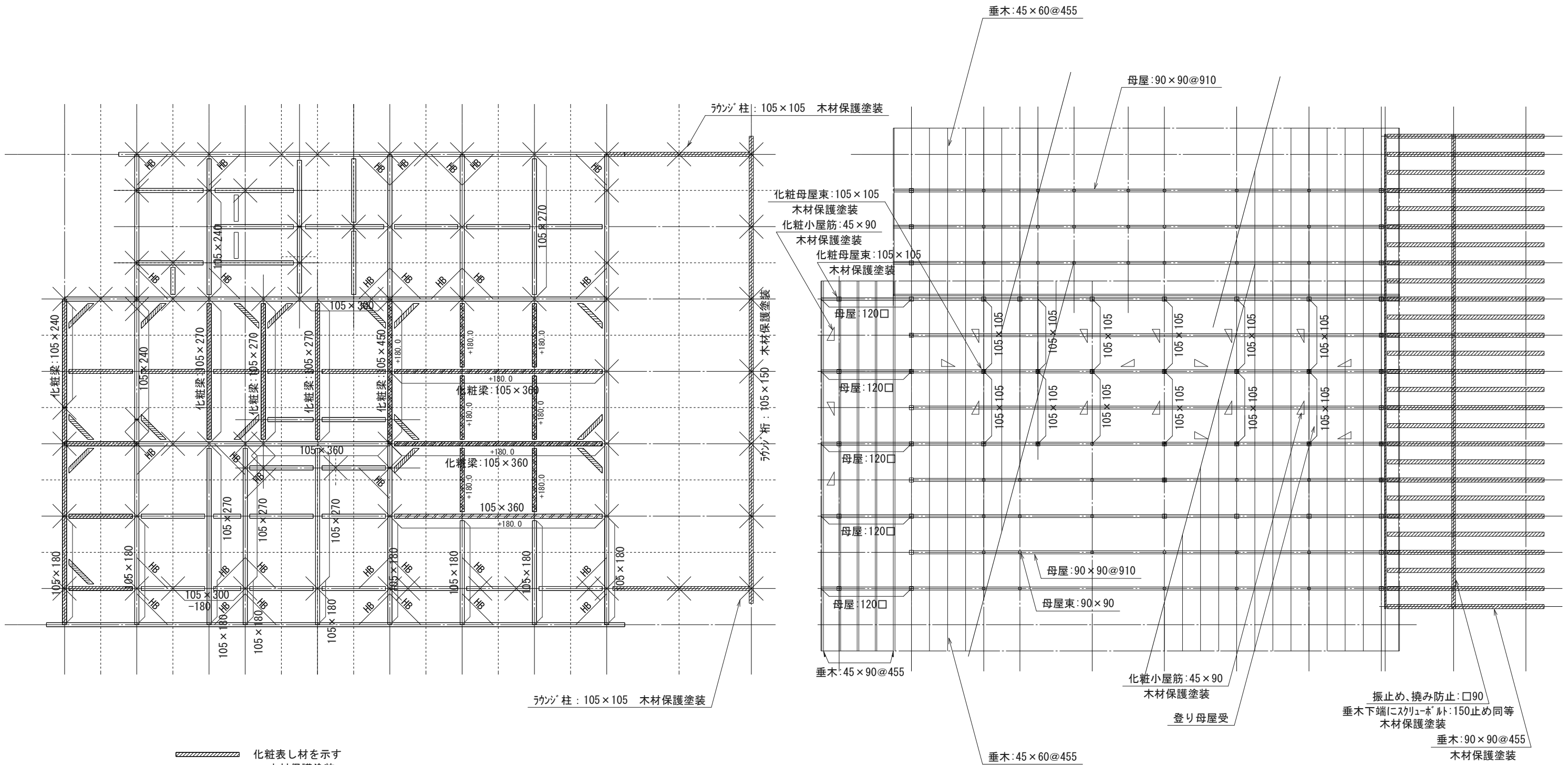
凡例

土台 105*105 PGスチール

柱 105*105

柱 105*105+柱脚金物 PB-33

工 事 名	やすらぎパークとみや管理棟⑭	(株)池下建築設計	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名	図 面 No.
備 考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3	池下 久幸 一級建築士 第280837号	池下 久幸 一級建築士 第280837号		床 伏 図	A-34
		TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/100	



化粧表し材を示す
木材保護塗装

梁伏図 S:1/100

柱の太さ検討：横架材間距離

①柱の太さ：d/h

横架材間距離＝2,910

$105/2,895=1/27.57>1/30$ -----OK

②柱の有効細長比

$\square 105 \times 105 \quad i=0.28867a=30.31035$

1F $L/i=2895/30.31035=95.51<150$ -----OK

凡 例	
特記なき部材	105×105：杉同等品
棟木・隅木	105×105：杉同等品
母屋	90×90 @910：杉同等品
○：母屋束	90×90 @1820以内：杉同等品
垂木	90×45 @455：杉同等品
雲筋・小屋筋違い	15×105
火打ち梁	90×90 又は火打金物HB同等品
×：1階管柱	105×105：杉同等品

小屋伏図 S:1/100

横架材継手の補強方法：腰掛かま継ぎ又は腰掛あり継ぎに短冊金物SD(TB-45ビス10本)取付

T字取合い部の仕口は大入れあり継ぎとし、羽子板材1/8SB締めとする。

工 事 名	やすらぎパークとみや管理棟⑭	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者	池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名	梁・小屋伏図	図 面 No. A-35
備 考			日 付		日 付		日 付	縮 尺	1/100	

使用建築材料表・機械換気設備・天井裏等の措置

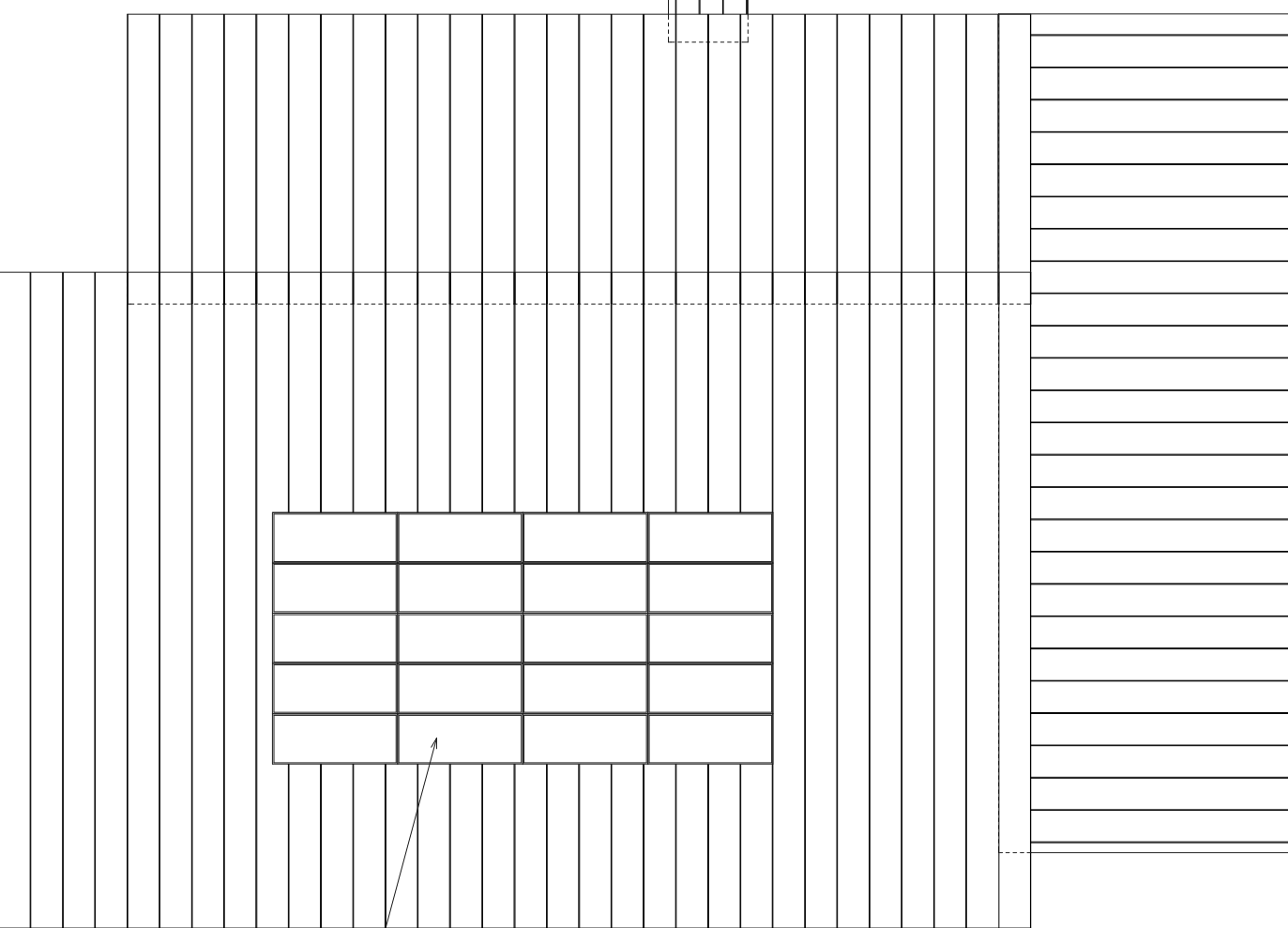
(換気計画上一体となっている部分)

居室の種別	☐ 住宅等の居室	換気の種別 換気回数	☐ 第1種	☐ 第2種	☒ 第3種	クロルピリホスの使用 ☐ 有り ☒ 無し
	☒ 住宅等の居室以外の居室		換気回数 (回/h)	☒ 0. 3	☐ 0. 5 ☐ 0. 7	

使用建築材料														機械換気設備						
階	室 名 (面積　㎡)	内装仕上の部分	使用材料 (a)	下地材料 (b) (透過性仕上の場合のみ)	接着剤 (c) (透過性仕上の場合のみ)	塗装 (d)	床材 [※] 建材種別	使用面積 (㎡)	係数	使用面積 小計 (㎡)	使用面積 合計 (㎡)	床面積 合計 (㎡)	判定	天井高 (m)	気積 (㎡³)	気積合計 (㎡³)	給気量 (㎡³)	排気量 (㎡³)	換気回数 (回/h)	判定
1	ホール・ロビー 屋内ラウンジ 61.00㎡ ローカ 2.89㎡	床	塩ビシート				F☆☆☆☆						OK	平均天井高 4.2495 ～4.6135 ローカ 2.50	平均天井高 3.952	428.56		FE-2 (V-12PED7) シックハウス用1台 140.0	215/428.56 ＝0.501 ＞0.3	OK
		壁	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		天井	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆													
	受付カウンター	床	塩ビシート				F☆☆☆☆							2.70	268.85					
		壁	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		天井	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆													
	事務室	床	塩ビシート		合板		F☆☆☆☆							2.70	56.65		給気口 P-18WQU			
		壁	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		天井	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆													
	職員更衣室	床	塩ビシート				F☆☆☆☆							2.50	16.55		給気口 P-18WQU			
		壁	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		天井	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆													
	倉庫	床	塩ビシート				F☆☆☆☆							2.70	35.78		給気口 P-18WQU			
		壁	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		天井	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆													
	女洗面・トイレ 9.25㎡ 男洗面・トイレ 6.07㎡	床	塩ビシート				F☆☆☆☆							2.50	38.30			FE-1 (V-08PEALD7) ×2ヶ所 シックハウス用2台 37.5×2 ＝75		
		壁	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
		天井	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆													
出入口戸		化粧合板				F☆☆☆☆														
誰でもトイレ 4.14㎡ 掃除用具入 0.83㎡	床	塩ビシート				F☆☆☆☆						2.50	12.43							
	壁	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆														
	天井	ビニルクロス	石膏ボード	でんぶん系		F☆☆☆☆														
	出入口戸	化粧合板				F☆☆☆☆														

天井裏等の措置	部位	措置内容	使用材料	物置等 (収納スペース)	室名及び部位	措置内容	使用材料	室名及び部位	措置内容	使用材料	天井裏等の措置内容
	外壁	イ	構造用パネル		事務室流し台	イ	特殊加工化粧合板				イ. 規制対象外建材を使用 (F☆☆☆☆)
	間仕切壁 (1)	イ	石膏ボード		洗面 化粧台	イ	特殊加工化粧合板				ロ. 第3種建材を使用 (F☆☆☆☆)
	間仕切壁 (2)	イ	防湿フィルム								ハ. 気密層又は通気止め措置
	小屋裏 (天井裏)	イ	野地合板								ニ. 換気設備等による措置 (天井裏等を機械換気又は居室より負圧とする措置)
	中間階天井裏 (床裏)										使用材料は、上記のイ～ハの場合のみ記入
	最下階床裏										

工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名	図 面 No. A-36
備 考			池下 久幸 一級建築士 第280837号	池下 久幸 一級建築士 第280837号		管理棟 シックハウス検討表	
		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	日 付	日 付	日 付	縮 尺	



1階 屋根伏図 S:1/100

太陽光パネル 250W×20枚＝5kW 程度

パナソニック MP工法
(同等品)

品名：MP250α
品番：VBM250EJ03N
フレーム色：黒
公称最大出力 (Pmax)：250W
公称最大出力動作電圧 (Vpm)：22.9V
公称最大出力動作電流 (Ipm)：10.94A
公称開放電圧 (Voc)：27.3V
公称短絡電流 (Isc)：11.61A
外形寸法 (幅×奥行×高さ)：1,765×709×35mm
質量：14.5kg

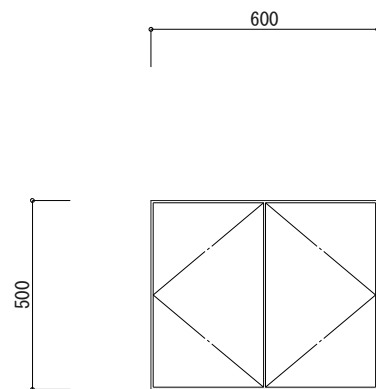
付属品：パワーステーションS (パワーコンディショナ)
品番：LJRC41

電力切替ユニット (30Aタイプ) 特定負荷ブレーカー付单相2線用
品番：LJTS2322

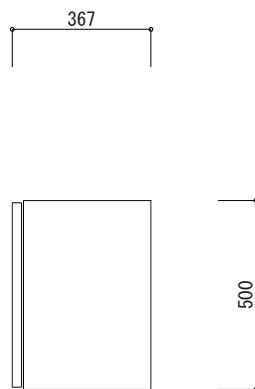
ネットリモコン
品番：LJNR01A

HEMS共通部材：AiSEG2 (7型モニター機能付)
品番：MKN713

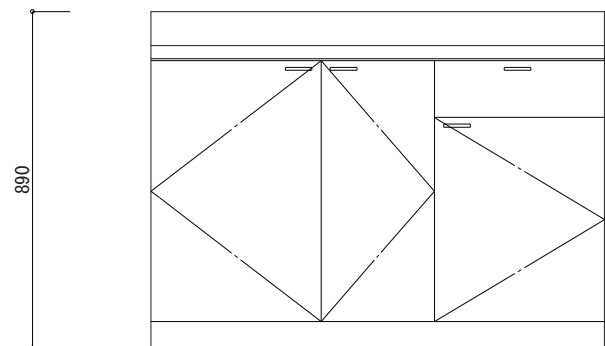
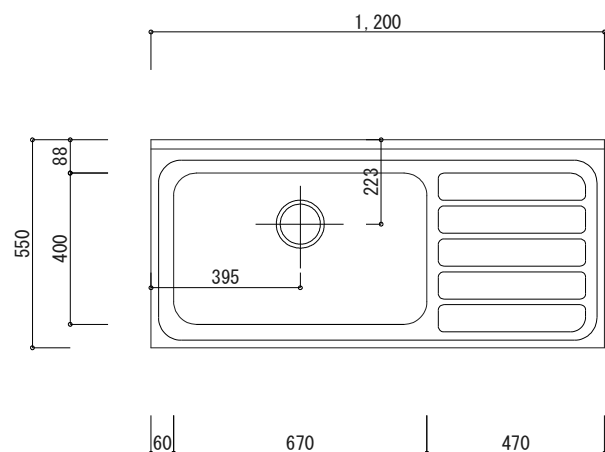
工 事 名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 太陽光パ [〃] ネル詳細図	図 面 No. A-37
		日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/100	
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ					



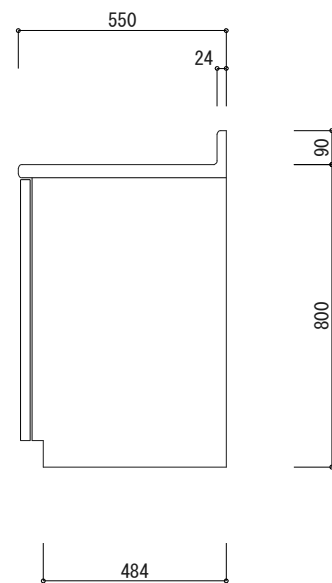
GK-BL 吊戸棚（高さ50cm）



GKF-A-60 同等品

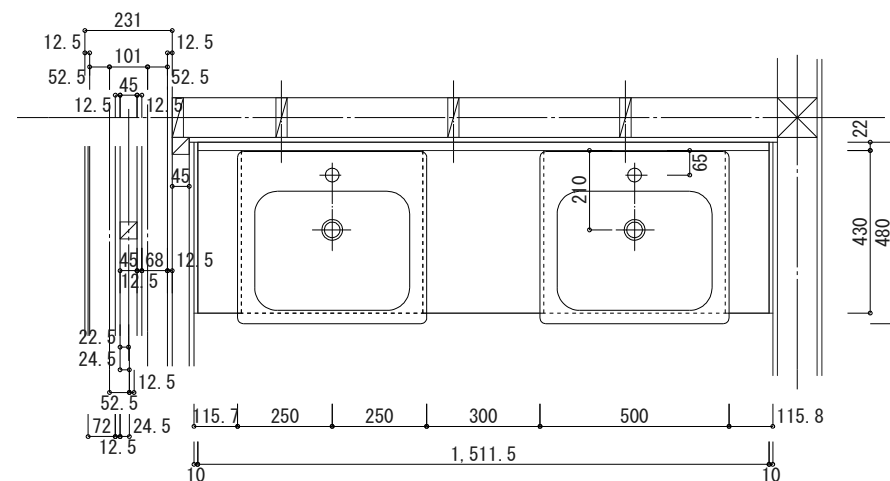
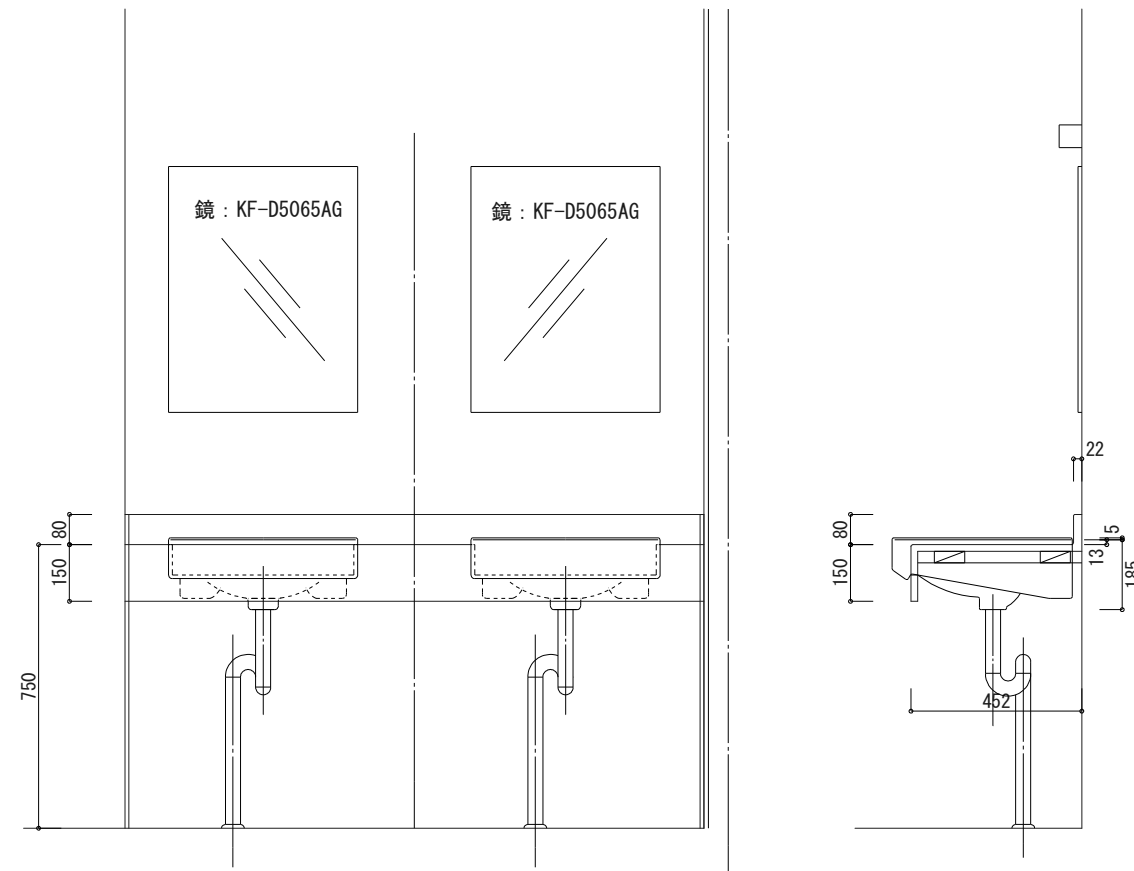


GK-BL 流し台（1段引出し）
GKF-S-120MYTBL 同等品



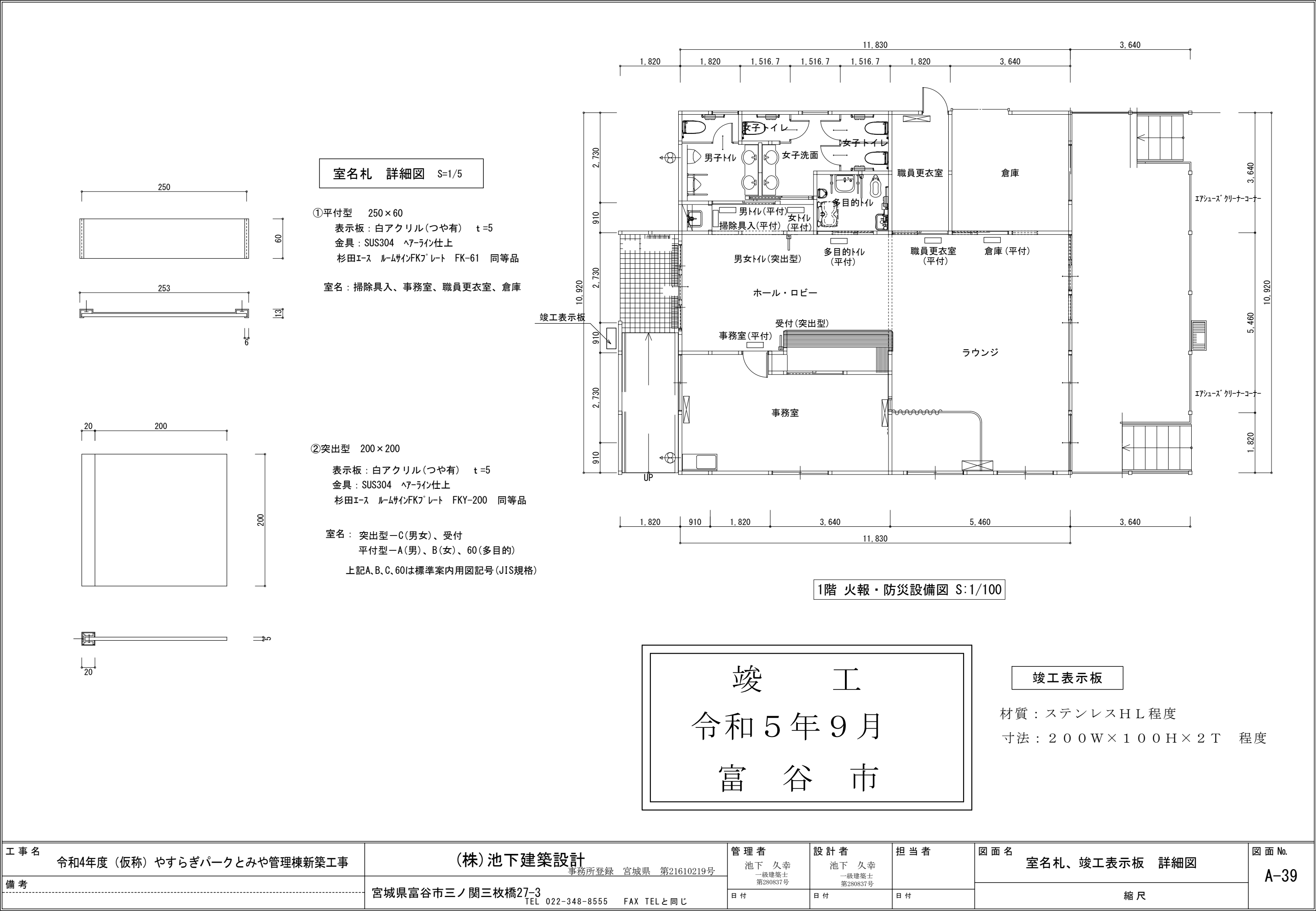
事務室 流し台セット

BL認定商品
木製キャビネットキッチン GKシリーズ 同等品
トップシンク：ステンレスSUS304
キャビネット：化粧パーティクルボード、塗装合板、化粧MDF
吊戸棚棚板：化粧パーティクルボード
扉：本体 特殊樹脂化粧パーティクルボード
取手：ABS樹脂
ホルムアルデヒド発散区分：F☆☆☆☆



カウンター：1方エプロン L=1,511.5m MB-450M マーベリイナ ベイシス 同等品
洗面器：オーバーカウンター式 GL-2150FC (L-2150FC) 同等品
床排水金具（Sトラップ） LF-WN7SFL 同等品
シングルレバー混合水栓（エコハンドル） LF-WF340SY 同等品

工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名	図面No.
						流し台、化粧台 詳細図	A-38
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	縮尺 1/20	



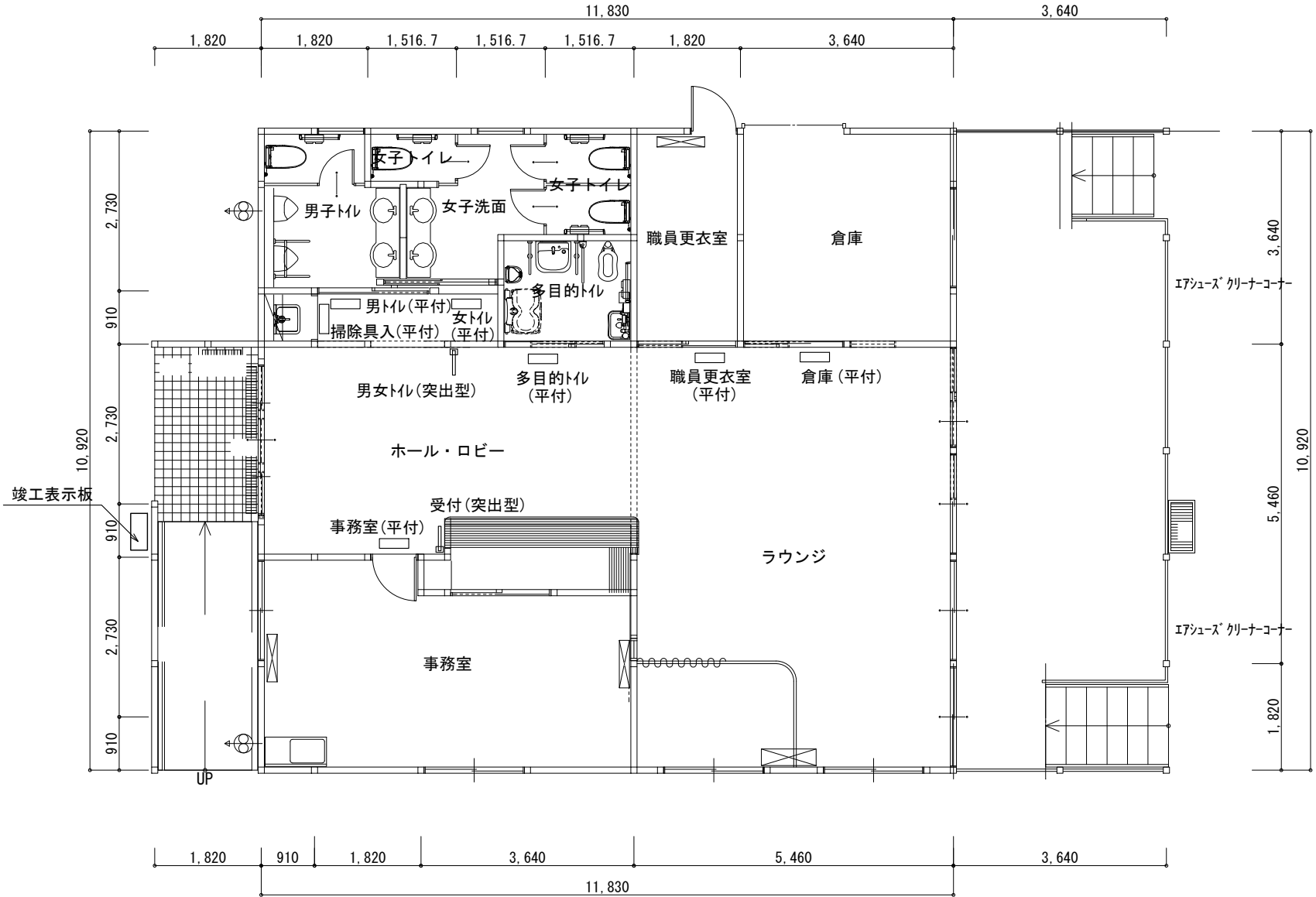
室名札 詳細図 S=1/5

①平付型 250×60
表示板：白アクリル(つや有) t=5
金具：SUS304 ヘアライン仕上
杉田エース ルームサインFKプレート FK-61 同等品

室名：掃除具入、事務室、職員更衣室、倉庫

②突出型 200×200
表示板：白アクリル(つや有) t=5
金具：SUS304 ヘアライン仕上
杉田エース ルームサインFKプレート FKY-200 同等品

室名：突出型-C(男女)、受付
平付型-A(男)、B(女)、60(多目的)
上記A、B、C、60は標準案内用図記号(JIS規格)



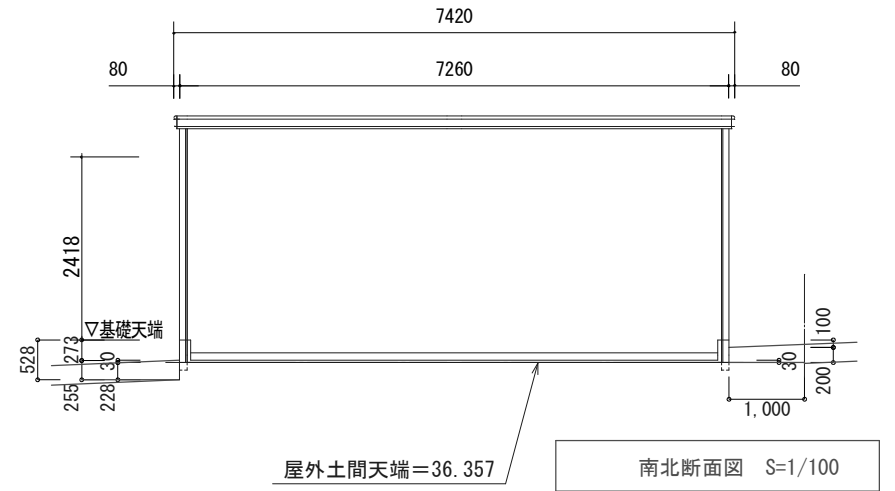
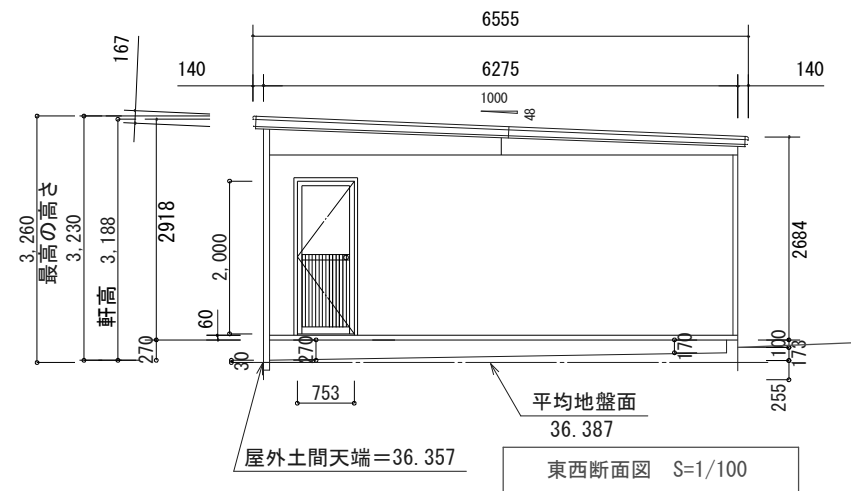
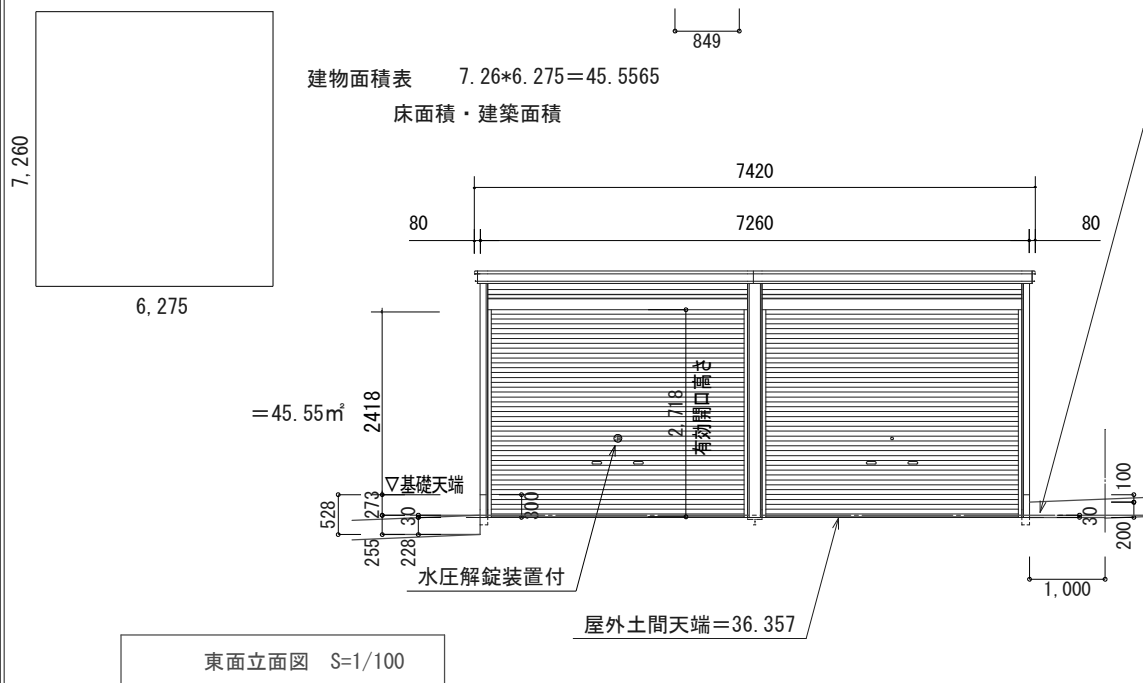
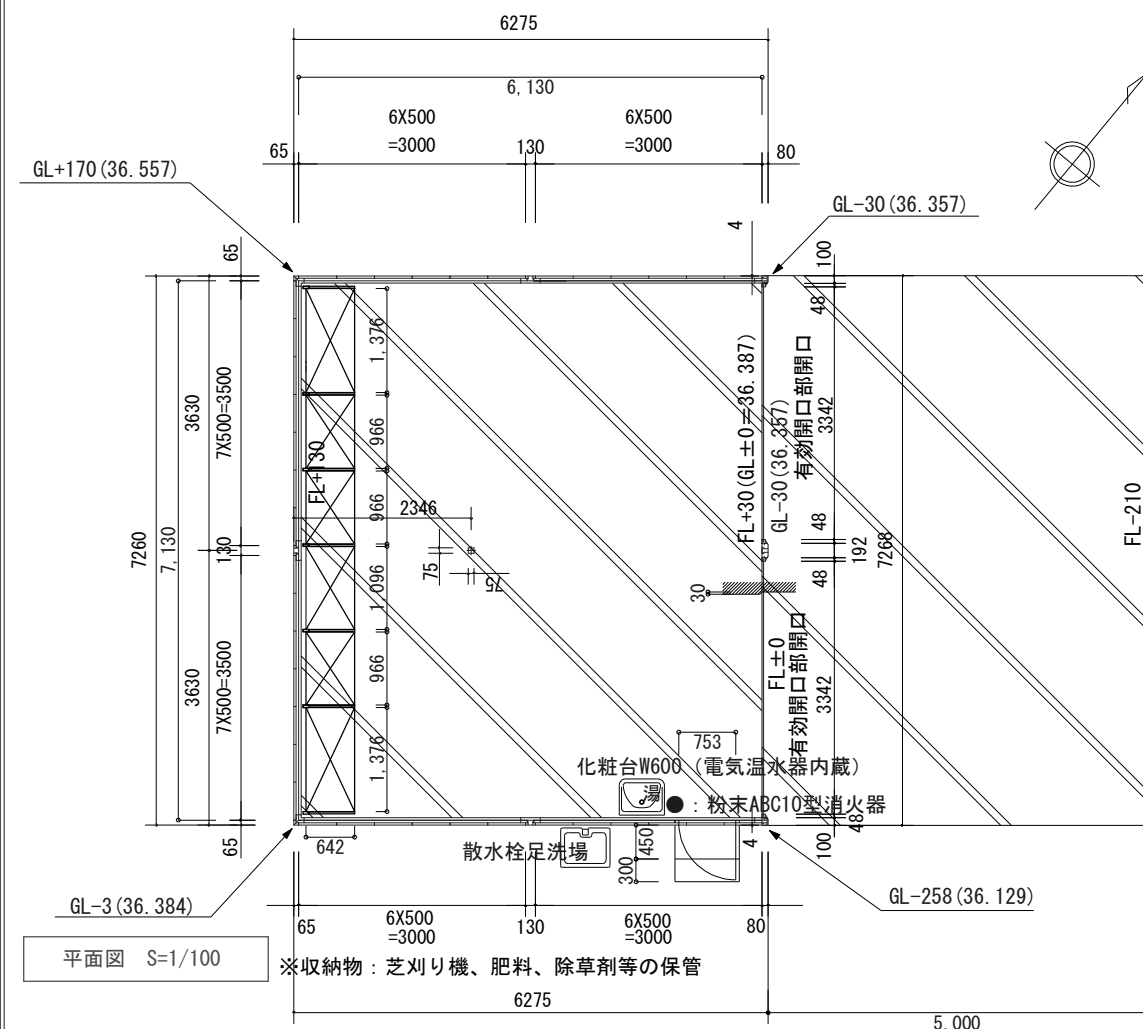
1階 火報・防災設備図 S:1/100

竣 工
令和5年9月
富 谷 市

竣工表示板

材質：ステンレスH L 程度
寸法：200W×100H×2T 程度

工 事 名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 室名札、竣工表示板 詳細図	図 面 No. A-39
		日 付	日 付	日 付	縮 尺	



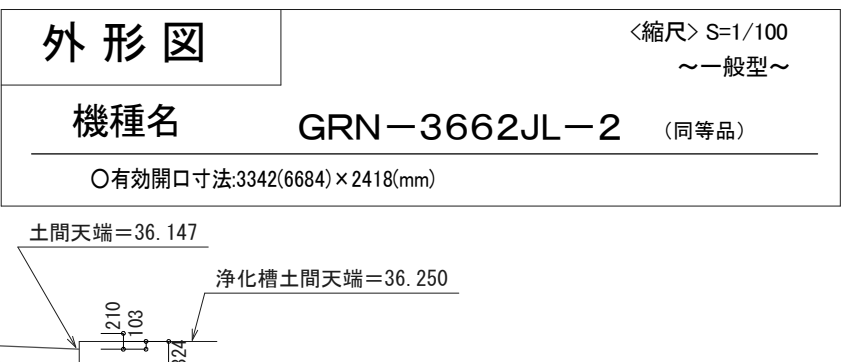
品番	部 品 名	材料（材質）	単位mm
1	土台枠	F12	1.2
2	柱前左右	F12	2.3
3	柱前中※	F12	1.6
4	柱中左右	F12	1.2+1.6
5	柱後左右	F12	1.6
6	柱後中※	F12	1.2+1.6
7	豪雪柱（豪雪地型のみ）	F12	2.3
8	梁中枠取付金具※	F12	3.2
9	桁前	Y10	1.6
10	桁後	Y10	1.6
11	梁左右	Y10	1.0
12	梁中前※	F12	2.0+3.2
13	梁中後※	F12	2.0+3.2
14	梁中屋根板※	Y10	1.0
15	下枠カバー※	F12	2.3
16	梁中カバー※	Y10	0.7
17	母屋中央	F12	1.6
18	母屋中	F12 1.2(豪雪地型1.6+2.3)	
19	屋根パネル	Y10	0.5
20	結露軽減材(不燃材)-別売-	ポリエチレンフォーム	4.0
21	壁パネル	F12	0.7
22	妻板左右	Y10	0.7

品番	部 品 名	材料（材質）	単位mm
23	鼻隠シ前後	Y10	0.7
24	コーナー金具	F12	2.3
25	開口部	F12	1.2
26	シャッター（スラット）	Z08	0.6
27	シャッターカバー	F12	0.7
28	シャッターレール	アルミニウム合金製	
F12→溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）			
Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3317）			
Z08→塗装溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3312）			

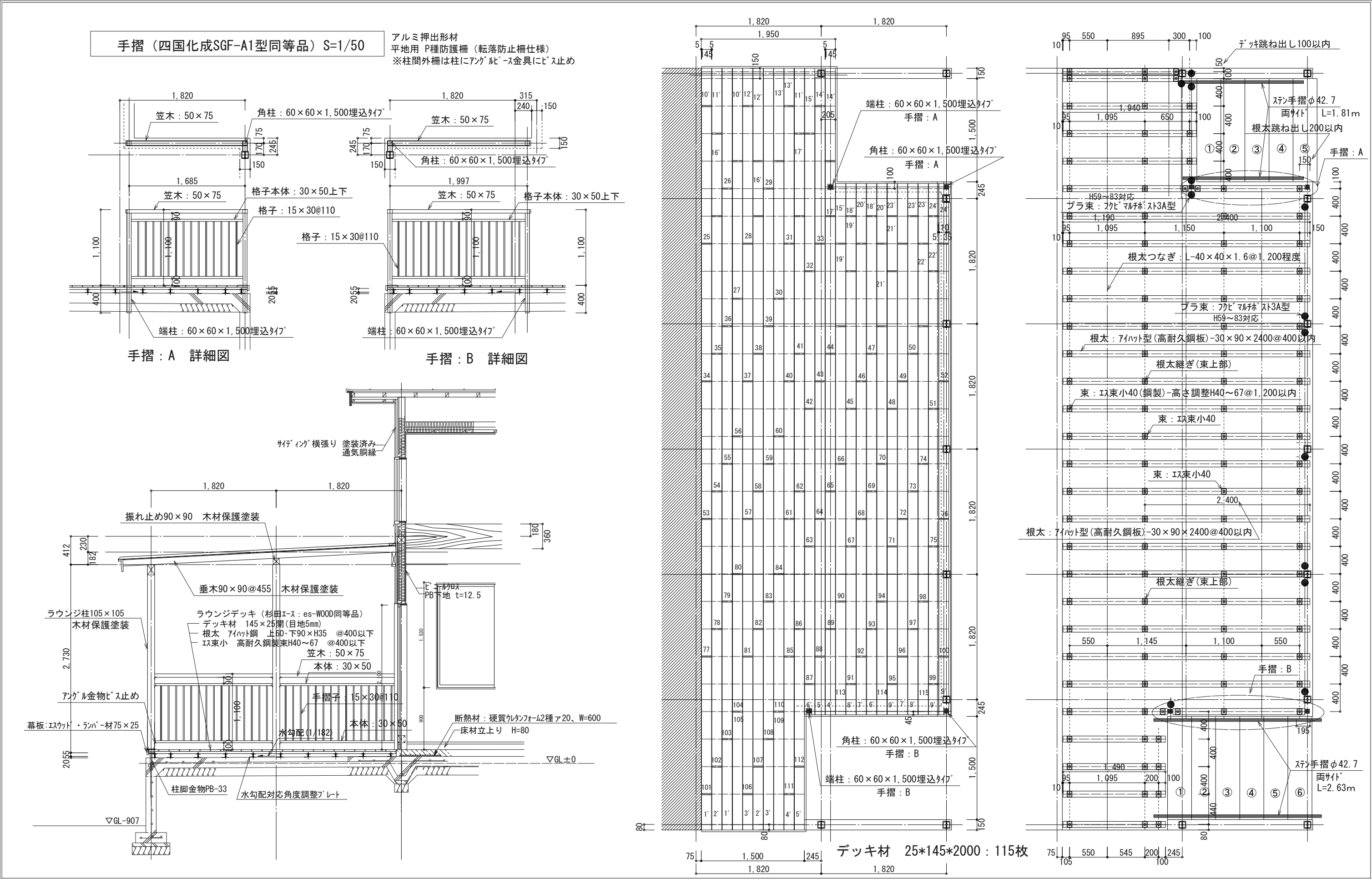
※連棟時のみ使用

塗装鋼板は全て不燃材料です。	
シャッター（スラット）	： 認定番号 NM-8697
屋根（結露軽減材あり）	： 認定番号 NM-4248
（車庫天井仕様）	
その他	： 認定番号 NM-4113

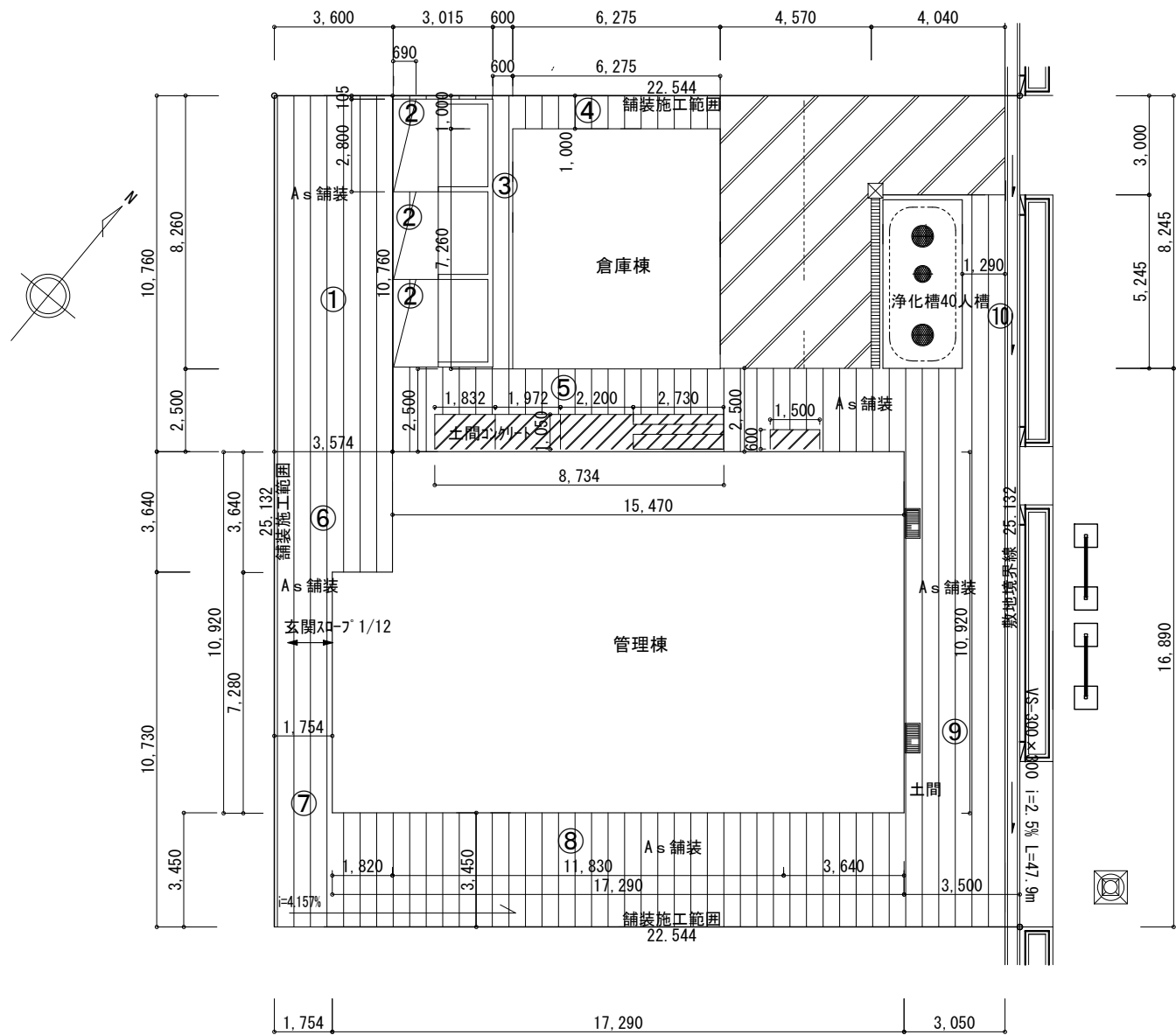
普通階無窓階算定
床面積 $1/30=45.55 \times 1/30=1.518\text{m}^2$
有効開口部 = シャッター (水圧解錠装置付)
間口 3.342m
高さ 2.418m+0.3m 3.342 $\times$ 2.718=9.083 m^2
判定 9.083 m^2 > 1.518 m^2 よって普通階。



工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名	倉庫棟 縮 尺 1/100	図 面 No. A-40
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		池下 久幸 一級建築士 第280837号	池下 久幸 一級建築士 第280837号				

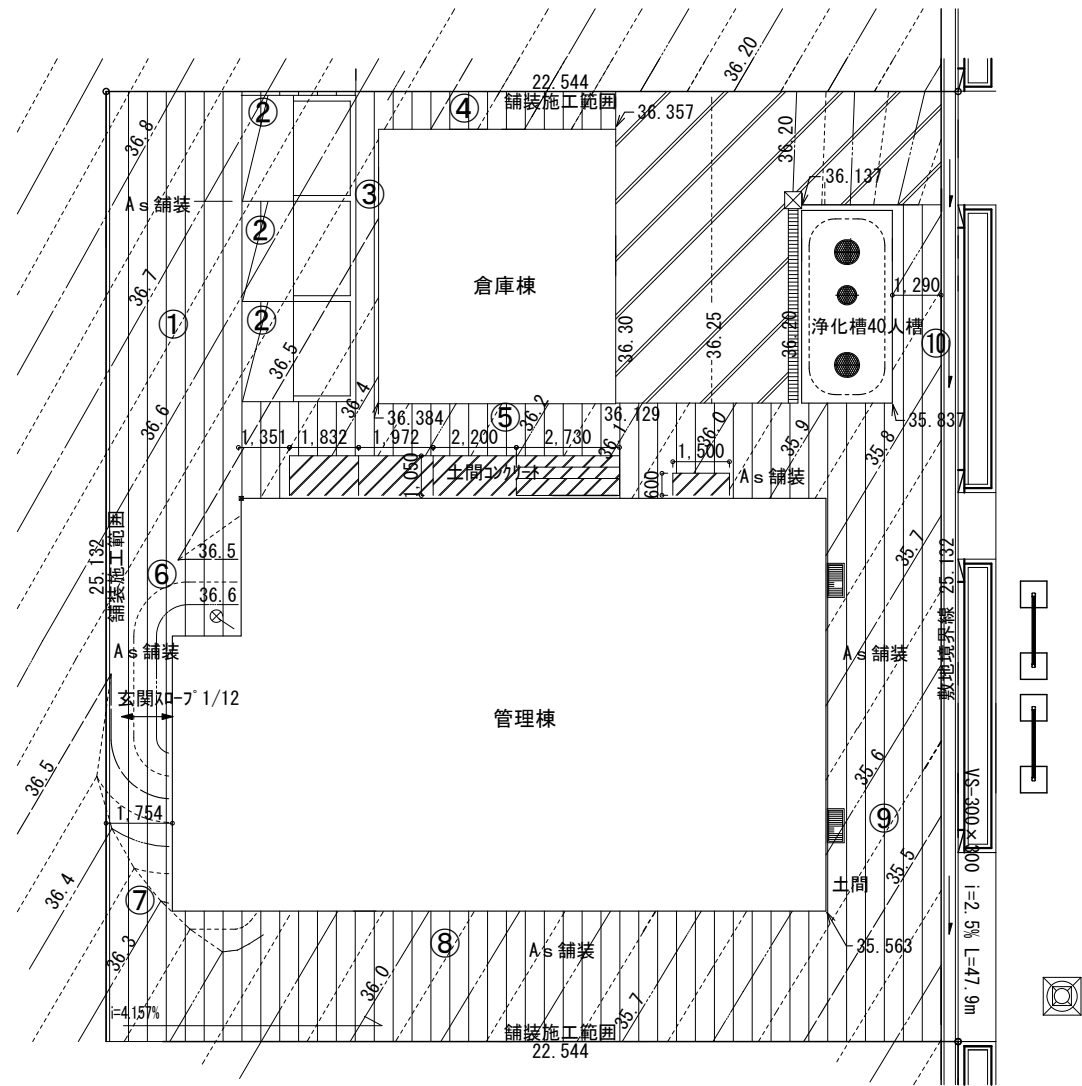
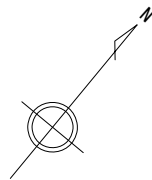


工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 屋外ラウンジ詳細図	図面No. A-42
					縮尺 1/20	

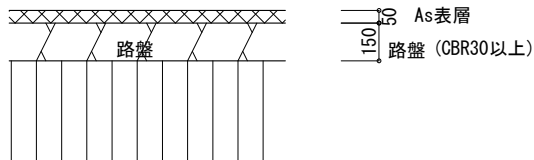


	As 舗装 面積表			
①	10.76	×	3.6	= 38.736
②	2.8	×	0.69×1/2×3か所	= 2.898
③	10.76	×	0.6	= 6.456
④	1.00	×	6.275	= 6.275
⑤	2.5	×	15.47	= 38.675
⑥	3.64	×	3.574	= 13.009
⑦	10.73	×	1.754	= 18.820
⑧	3.45	×	17.29	= 59.650
⑨	16.89	×	3.5	= 59.115
⑩	5.245	×	1.29	= 6.766
	合計			= 240.33

-FC土間(8.734×1.05+1.5×0.6=10.07㎡)



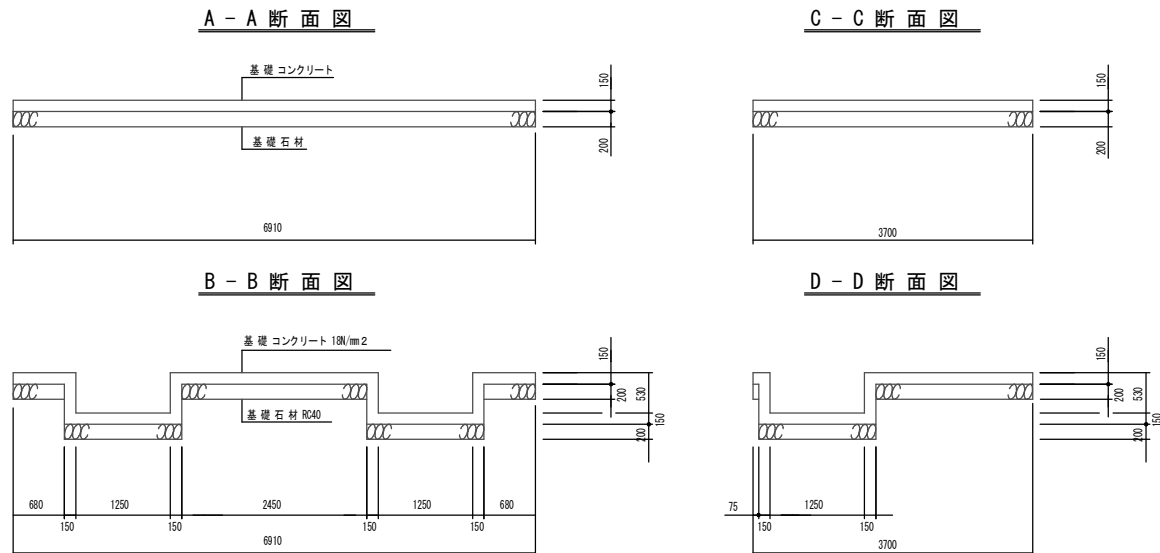
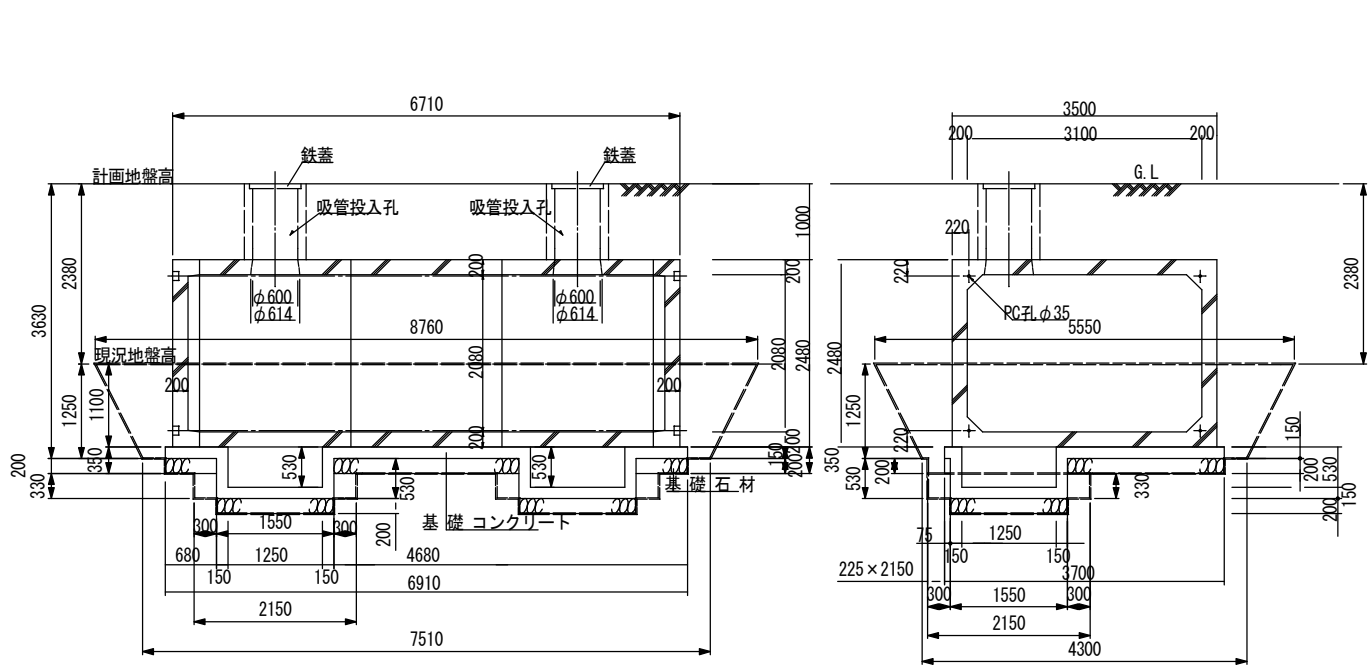
As 舗装面 高低差 等高線図



現状舗装部分から建物基礎までの舗装はA舗装とする。

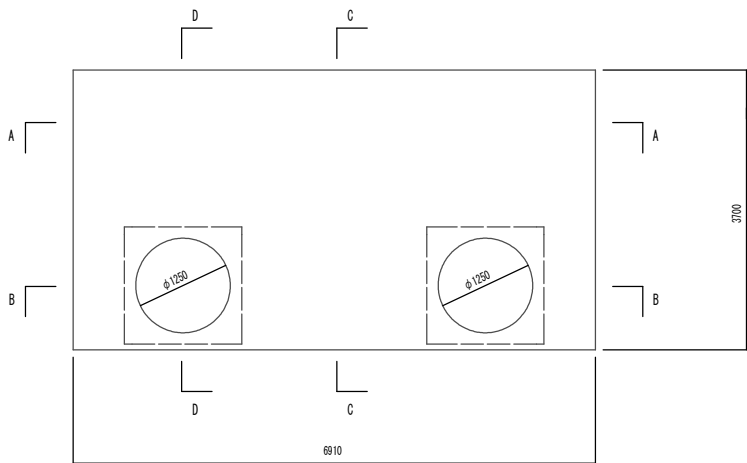
道路後退部・構内駐車場 断面図 S=1/30

工 事 名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株) 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 外構工事図	図 面 No. A-43
備 考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/200	

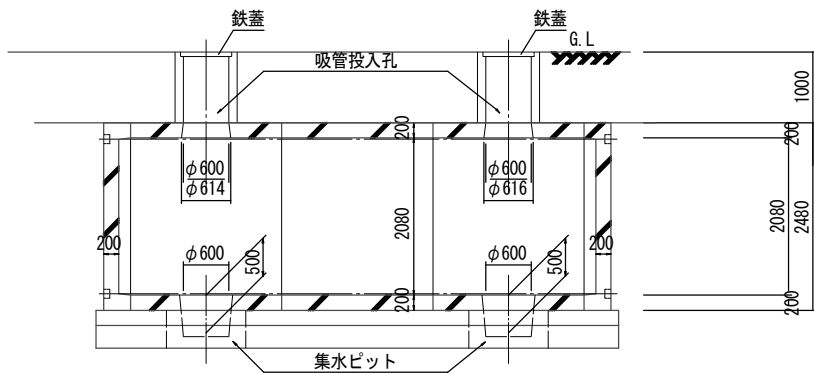


平面図

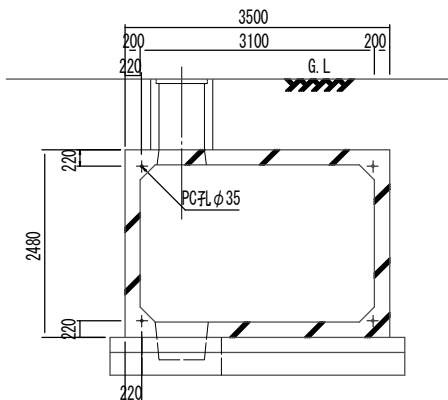
注：地盤条件等によるひび割れ防止対策等配筋を必要とする場合は別図参照。



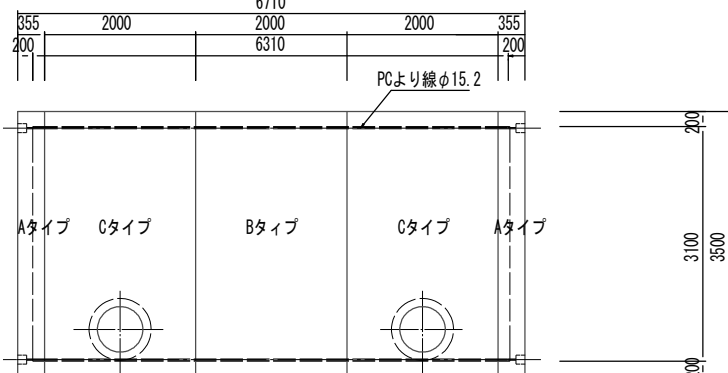
耐震性貯水槽CT-40B-ⅠⅡ型Ⅲ			
基礎図			
形状寸法			
設計条件	荷重	土被り	
	$\sigma_{ca} =$	$\sigma_{sa} =$	
縮尺	S=1/100	図番	
力 No.	- ()		
承認	検図 S.M	設計 M.N	製図 J.T
池田東北株式会社			



断面図 1/100



断面図 1/100



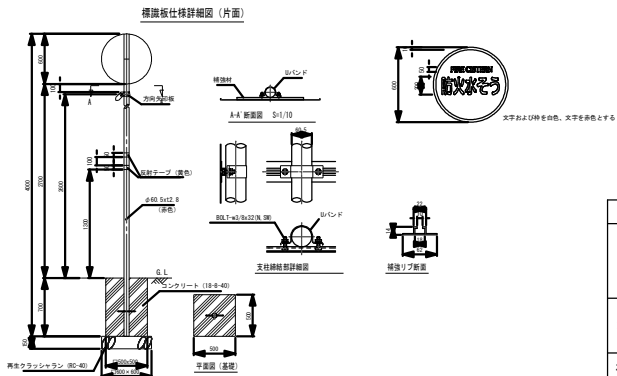
平面図 1/100

耐震性貯水槽 CT-40B-Ⅲ型 組立図			
形状寸法	6310×3100×2080		
設計条件	荷重	T-25	土被り H=0.05~1.0 M
	$\sigma_{ca}=14$ N/㎡	$\sigma_{sa}=120$ N/㎡	
縮尺	S=1/100	図番	2-1~1
力 No.	- ()		
承認	検図 H.T	設計 M.N	製図 N.C
池田東北株式会社			

2005. 7

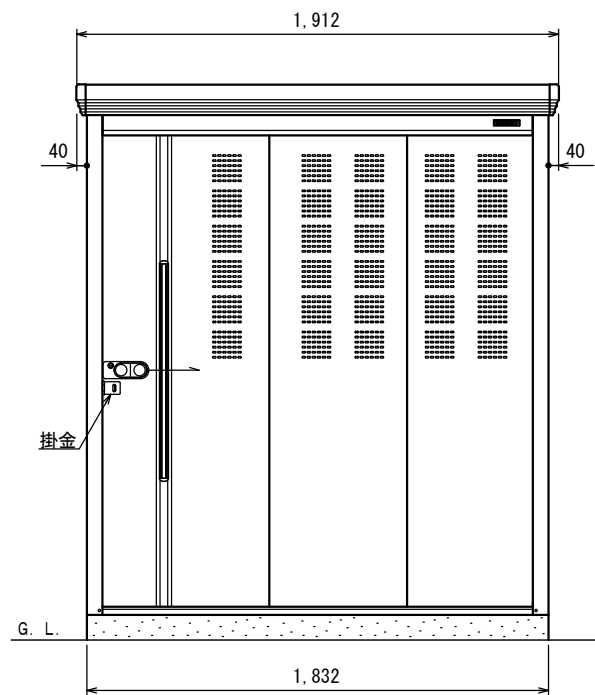
浮力止め無 Aタイプ	地盤面に対して 土被り0.594m以上かつ地下水位0.594m以上 限界地下水位(土被り0.0m時)0.893m以上
浮力止め有 AGタイプ	上記以外

貯水量 40.150M³/基

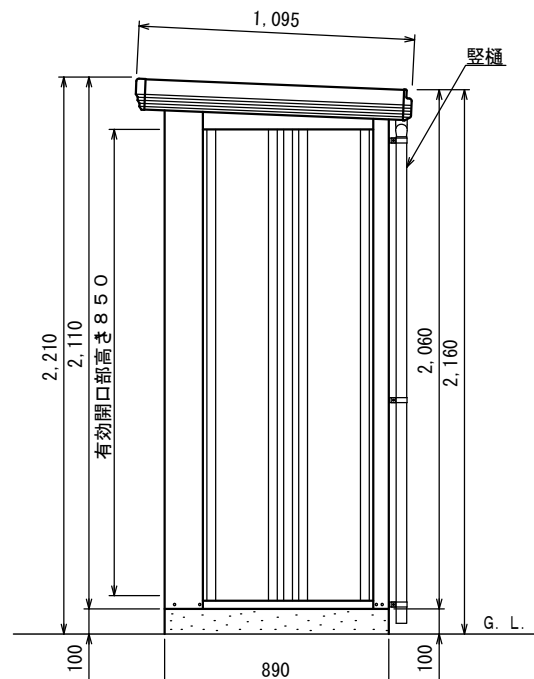


名称	材料	仕上	備考
標識板	基板材質はアルミニウム合金板で 厚さ1.0mm 外径φ600mmとする。 縁(R)カール加工を行う。 (JIS H4000 A5052P H34)	全面反射とし、反射シートは カプセルプリズム型で、 真空加熱圧着機を用いて貼り付ける。	
ポール	一般構造用炭素鋼管を用いる。 外径φ60.5mm、厚さ12.8 長さ4000mm 色は赤とする。	静電粉体塗装 (下地は亜鉛めっき処理)	
補強材	アルミスライドチャンネル (押出形材)		基板にスポット溶接する。 (16ヶ所)
キャップ	塩化ビニール		
取付金具	Uバンド 7M		六角ボルト(M3/8x32)N.Sで取付ける。
根かせ	φ9x200 鉄丸棒 1本		

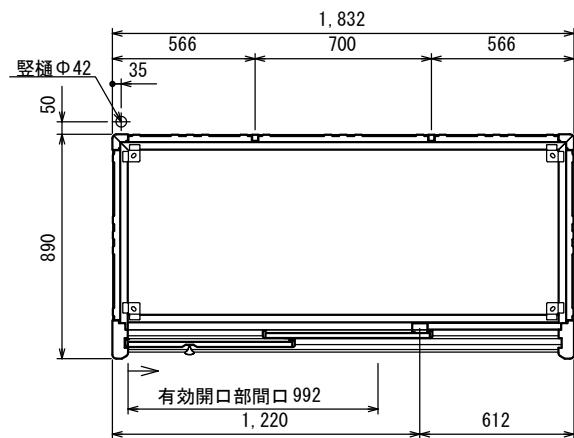
工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 既存：防火水槽詳細図	図面 No. A-44
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺 1/100	



正面図 S = 1 : 30

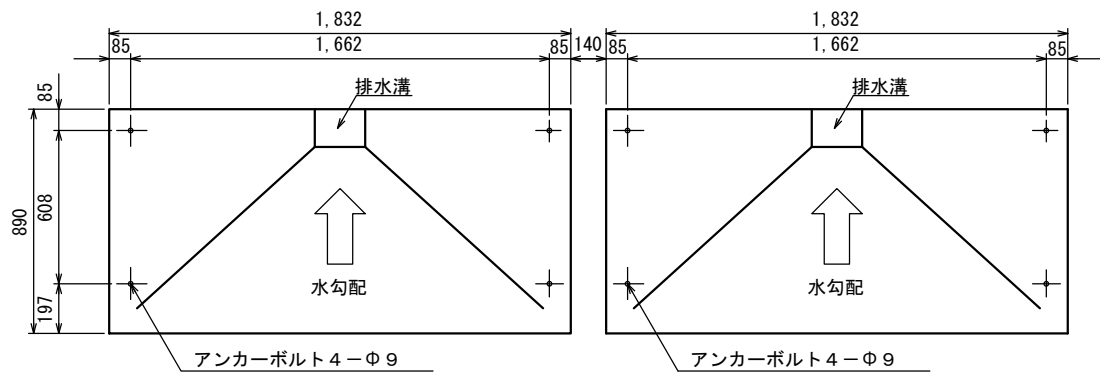


側面図 S = 1 : 30

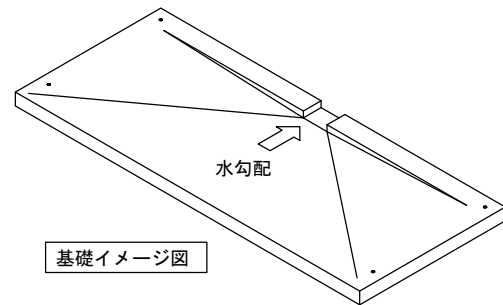


平面図 S = 1 : 30

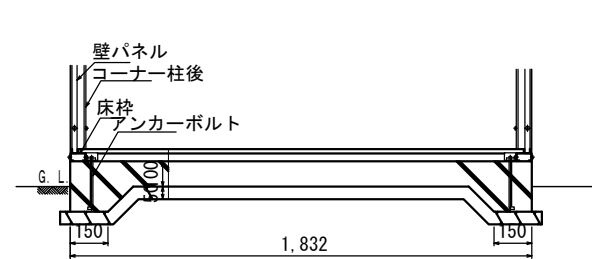
※物置は本工事に含まない。



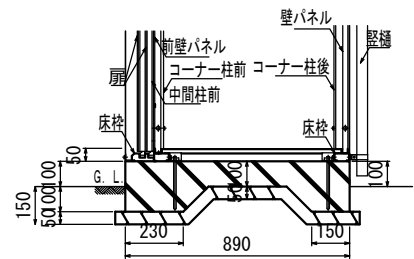
基礎伏せ図 S = 1 : 30



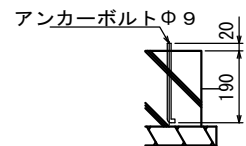
基礎イメージ図



正面断面図 S = 1 : 30



側面断面図 S = 1 : 30



アンカーボルト埋設図 S = 1 : 20

※物置基礎は本工事に含む。

工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株) 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 物置基礎詳細図	図面 No. A-45
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/30	

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事
2. 工事場所 富谷市大亀漆礎一番1-1、1-5の各一部、漆礎二番9、11、12-1、12-2、12-3、15、21-2、の各一部、水路

3. 建物概要						
建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備 考
管理事務所・休憩所	木造	1階	168.93㎡	189.23㎡	15項（各項に該当しない事業場）	
倉庫棟	S造	1階	45.55㎡	45.55㎡	14項（倉庫）	

4. 工事種目（○印のついたものを適用する。）						
建物別及び		工 事 種 別			備 考	
工事種目	屋外	建物本体		屋 外		
・電灯設備		新設一式		新設一式		
・動力設備						
・電熱設備						
・雷保護設備						
・受変電設備						
・電力貯蔵設備						
・発電設備		新設一式				
・構内情報通信網設備						
・構内交換設備						
・情報表示設備						
・映像・音響設備		新設一式				
・拡声設備						
・誘導支援設備		新設一式				
・テレビ共同受信設備						
・監視カメラ設備						
・駐車場管制設備						
・防犯・入退室管理設備						
・自動火災報知設備						
・中央監視制御設備						
・構内配電線路					外灯設備を含む	
・構内通信線路						
・テレビ電波障害防除						
・その他工事		別紙仕様書による				

5. 指定部分 ※ なし ・ あり（工 期：令和 年 月 日）（対象部分： ）
6. 概成工期 ※ なし ・ あり（工事工期より 日前）

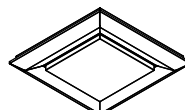
II. 特記仕様書

1. 一般事項
- （1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、平成31年版）」、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編、平成31年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、平成31年版）」による。
- （2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（／）図、建築工事の特記仕様書は（／）図による。
2. 特記事項
- （1）項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- （2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

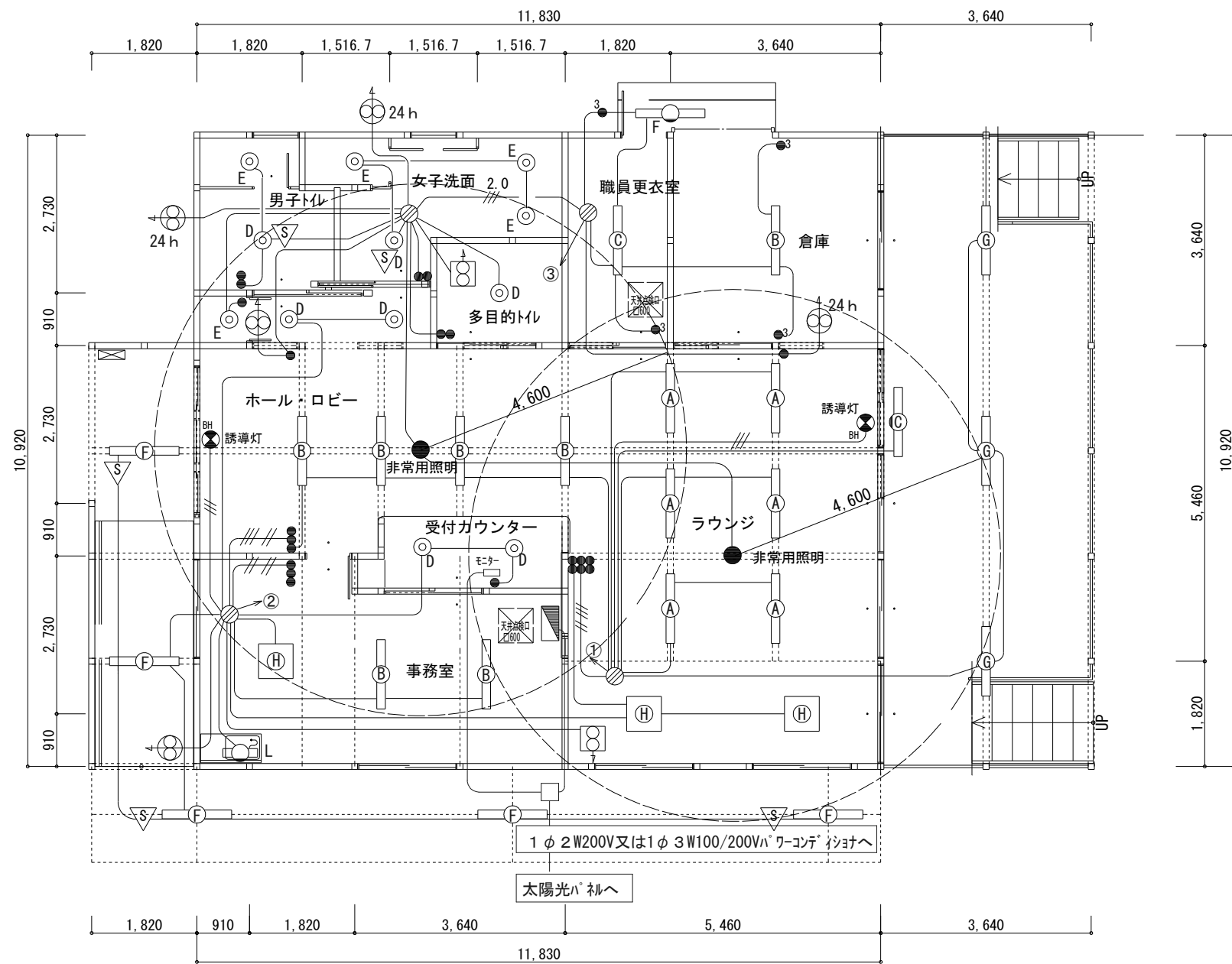
章	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	① 適用基準等	※ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（最新版） ※ 宮構工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版） ・ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定 平成12年版）及び工事写真撮影ガイドブック＜電気設備工事編＞（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版） ※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発・性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	② 機 材 等	※ 本工事前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（（一社）公共建築協会）によって所要の品質・性能を有するこの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（（一社）公共建築協会）によって所要の品質・性能を有するこの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保 険	本工事前に工事に目的物及び工事材料等を、本工事後了引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇 用	本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
	8. 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調査、中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	10. 工事実績情報の登録（ORINS）	請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。
⑪. 事故報告	⑪. 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
	⑬ 工用電力、水、他	本工事に必要な工用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。
	⑭ 工用仮設物	構内につくることが ※ できる ・ できない
	⑮ 監督職員事務所	※ 設けない ・ 設ける（ 号・・・建築工事）
	⑯ 足場、さん橋類	・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑰. 工事表示板	※ 設置する 設置枚数 1枚 宮構工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。 ・ 設置しない

⑱ 工事用通路	※ 指定しない ・ 指定する（図示）																																																																												
⑲ 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ・ PCB使用機器 ・ ） ・ 受入施設名・所在地 ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再資源化を図るもの <table><tr><th>種 類</th><th>受 入 施 設 名</th><th>所在地（km）</th><th>備 考</th></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> ・ その他安定型廃棄物（ ） ・ 受入施設名・所在地 ・ その他管理型廃棄物（ ） ・ 受入施設名・所在地 PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。	種 類	受 入 施 設 名	所在地（km）	備 考																																																																								
種 類	受 入 施 設 名	所在地（km）	備 考																																																																										
⑳ 残土処理	※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出																																																																												
㉑ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（（独）建築研究所監修）による 本工事の施設分類は（ ・ 特定の施設 ・ 一般の施設 ）で地域係数は1とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。 <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">設計用標準震度</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.0 (1.5)</td></tr><tr><td>中層階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>0.6 (1.0)</td></tr><tr><td>一階及び地下層</td><td>1.0 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.4 (0.6)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.4 (0.6)</td></tr></table> 重要機器類 ○ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置 ・ 交換機 ・ 受信機（自立型） ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック 重量が100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。	設置場所	設計用標準震度		特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																										
設置場所	設計用標準震度		特定の施設		一般の施設																																																																								
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																							
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																																																																							
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																																																							
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																																							
22. 風圧加重	※ 風速60m/s ・ m/s ・ 雷保護設備受雷部 ・ 照明ポール・基礎 ・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト																																																																												
㉓ 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。																																																																												
㉔ 保温、結露防止	外部に面する壁、天井でFＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。																																																																												
㉕ 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。																																																																												
㉖ 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、PＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。																																																																												
㉗ 二種金属製可とう管	露出箇所 ○ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし いんべい箇所 ・ ビニル被覆あり ○ ビニル被覆なし																																																																												
㉘ 電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。																																																																												
㉙ インサート	銅製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（重鉛めっき製品）を使用する。																																																																												
㉚ 呼び線	長さ1m以上の通線しない電線管には、1、2mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。																																																																												
㉛ フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む） ・ 樹脂製 ）とする。																																																																												
32. フロアプレート・ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付） ・ 銅合金製 ・ アルミ合金製																																																																												
33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。																																																																												
㉜ 支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。																																																																												
35. あと施工アンカー	施工方法 ・ 接着系（ ※ 有機系 ・ 接着剤 ） ・ 金属拡張系（ ※ 本体打込式 ・ ） 性能・施工確認 ※ 行わない ・ 行う																																																																												
36. 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは1、500mmとする。 ただし、D=10は1、000mm、W=30は1、200mmとする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。 <table><tr><th>接 地 の 種 別</th><th>記 号</th><th>接地抵抗値</th><th>接地極の規格、数量</th></tr><tr><td>雷保護設備用接地</td><td>ELA</td><td>Ω以下</td><td>E P × 2</td></tr><tr><td>雷保護設備用接地</td><td>ELA</td><td>Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 1 組</td></tr><tr><td>共同接地</td><td>E A ・ E D ・ E L H</td><td>10Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>共同接地</td><td>E A ・ E C ・ E D</td><td>10Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>A種</td><td>E A</td><td>10Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>B種</td><td>E B</td><td>Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 2</td></tr><tr><td>C種</td><td>E C</td><td>10Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>D種</td><td>E D</td><td>100Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 1</td></tr><tr><td>構内交換機（陽極）用</td><td>E t</td><td>Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－1 組</td></tr><tr><td>本配線盤の保安装置</td><td>E A t</td><td>10Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>電話引込口の保安器</td><td>E D t</td><td>100Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 1</td></tr><tr><td>拡声増幅器</td><td>E D a</td><td>100Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 1</td></tr><tr><td>防犯装置用</td><td>E S</td><td>Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－1 組</td></tr><tr><td>測定用</td><td>E o</td><td>―――</td><td>E B (D=10又はW=30) × 1</td></tr><tr><td>避雷器用（低圧用）</td><td>E L L</td><td>10Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>避雷器用（高圧用）</td><td>E L H</td><td>10Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組</td></tr><tr><td>避雷器用（モデム用）</td><td>E M D</td><td>100Ω以下</td><td>E B (D=14又はW=40) × 1</td></tr><tr><td>構造体接地</td><td></td><td></td><td>建築構造体利用（通信用も含む）</td></tr></table> 各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内交換設備 ・ 下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外 ※ 居室 ・ 切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）22章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）22章（舗装工事）による。 既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。	接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	E P × 2	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1 組	共同接地	E A ・ E D ・ E L H	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組	共同接地	E A ・ E C ・ E D	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組	A種	E A	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組	B種	E B	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 2	C種	E C	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組	D種	E D	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1	構内交換機（陽極）用	E t	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－1 組	本配線盤の保安装置	E A t	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組	電話引込口の保安器	E D t	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1	拡声増幅器	E D a	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1	防犯装置用	E S	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－1 組	測定用	E o	―――	E B (D=10又はW=30) × 1	避雷器用（低圧用）	E L L	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組	避雷器用（高圧用）	E L H	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組	避雷器用（モデム用）	E M D	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）
接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量																																																																										
雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	E P × 2																																																																										
雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1 組																																																																										
共同接地	E A ・ E D ・ E L H	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組																																																																										
共同接地	E A ・ E C ・ E D	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組																																																																										
A種	E A	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組																																																																										
B種	E B	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 2																																																																										
C種	E C	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組																																																																										
D種	E D	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																										
構内交換機（陽極）用	E t	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－1 組																																																																										
本配線盤の保安装置	E A t	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組																																																																										
電話引込口の保安器	E D t	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																										
拡声増幅器	E D a	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																										
防犯装置用	E S	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－1 組																																																																										
測定用	E o	―――	E B (D=10又はW=30) × 1																																																																										
避雷器用（低圧用）	E L L	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組																																																																										
避雷器用（高圧用）	E L H	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連－2 組																																																																										
避雷器用（モデム用）	E M D	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																										
構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）																																																																										
37. 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内交換設備 ・																																																																												
38. 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外 ※ 居室 ・																																																																												
39. 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。																																																																												
40. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）22章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）22章（舗装工事）による。																																																																												
41. はつり	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。																																																																												

42. 再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付けける。	
43. 撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。	
44. アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石棉障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること アスベスト使用状況（ ）	
45. 有害物質の取り扱い	PCB（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小形二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。	
電 灯 設 備	① 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 分電盤類 ○ 機器類
	② 電気方式	○ 幹線 単相3線式 100／200V 50Hz ○ 分岐 単相3線式 100／200V ○ 分岐 単相2線式 100V 幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線
	③ 施工方法	分岐 電灯 ○ 合成樹脂管配線 ○ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ） ○ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ フロアダクト配線 ・ その他（ ） 屋外露出 ○ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ○ 合成樹脂製 ○ 金属製
	④ 照明器具	LED ○ 一体型 ○ 直管型（JEL801） ○ 直管型（JEL802） ○ ダウンライト ・ その他
	⑤ 防災用照明器具	○ 非常用照明器具 （ ※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形 ） ○ 誘導灯 （ ※ LED誘導灯 ・ 誘導標識 ）
	6. 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。
	7. ハイテンション アウトレット	※ 銅合金製 ・ アルミ製 ※ 飛び出し形 ・ 外部固定形
	8. 人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。
	⑨ 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は（PF22）を1本、5個以上の場合は（PF22）を2本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、1スパンにVE（36）2本を予備スリーブとして埋込む。
動 力 設 備	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類
	2. 電気方式	・ 幹線 三相3線式 200V 50Hz ・ 分岐 三相3線式 200V
	3. 施工方法	幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ その他 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製
	4. 警報盤	※ 壁掛形（電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置 ） ・
	5. 電磁開閉器用押印 （遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具 ・
	6. 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7. 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8. 進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9. 電気自動車用充電装置	・ 機器類 ・ ・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型 ・ 急速充電装置 直流電圧 V
電 熱 設 備	1. 電気方式	幹線 相 線式 V 50Hz 分岐 相 線式 V
	2. 施工場所及び面積	・ （ m ² ） ・ （ m ² ）
雷 保 護 設 備	1. 工事範囲	・ 受雷部 ・ 引下げ導線 ・ 接地極埋設
	2. 受雷部	・ 突針 ・ 棟上導体 ・ 笠木（別途）など
	3. 避雷導線	・ 引下げ導線 ・ 構造体利用
	4. 接地極	※ 接地極埋設 ・ 構造体利用（測定時期 回数 ）
	5. 測定用補助接地極	・ 設置
受 変 電 設 備	1. 工事範囲	・ 機器類 ・
	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 100V／200V
	3. 引込ケーブル	・ EM-CET38° ・ EM-CET60° ・ EM-CE38°-3C ・ EM-CE60°-3C ・
	4. 配電盤	・ 屋内形 ・ 屋外形（防震処理及び結露対策を施す） ・ キュービクル式配電盤 ・ 高圧閉鎖配電盤 ・
	5. 主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S） ・ 高圧交流遮断器（CB） 定格遮断電流 kA
	6. 高圧機器類	・ 油入式 ・ モールド ・ ・ 手動 ・ 電動 ・ 電磁
	7. 変圧器	・ 単相変圧器 kVA ・ 三相変圧器 kVA （油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品）
宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号		
株式会社 池下建築設計		
事務所登録 宮城県 第21610219号		
令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事		
設計者氏名	池下 久幸	図 面 名 称
一級建築士 第280837号	電気設備工事特記仕様書①	図面番号
宮城県土木部設備課		E-1

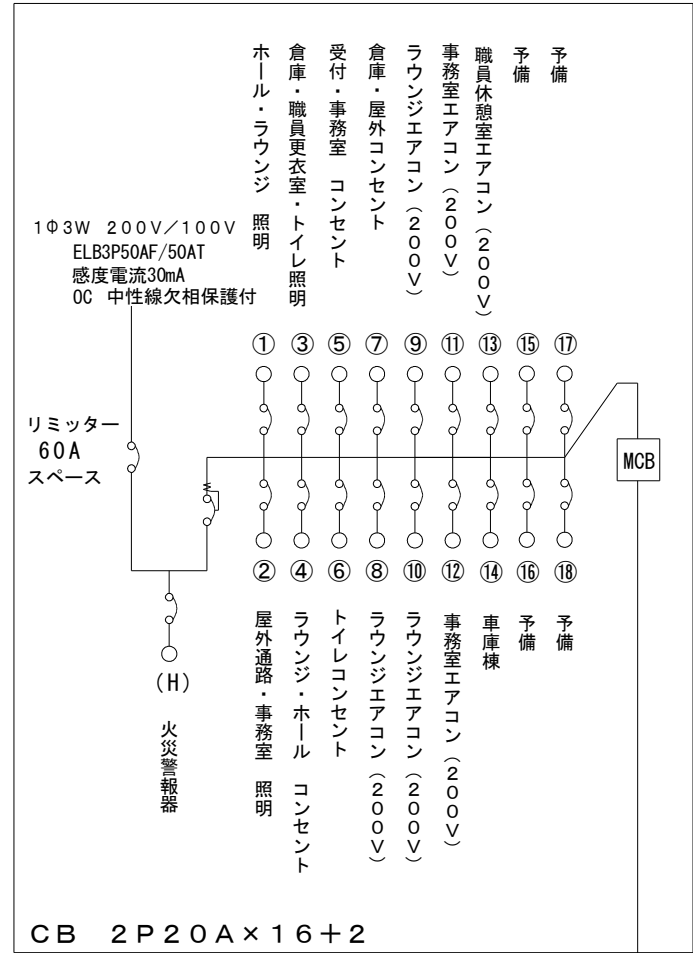
照明器具姿図		A		iDシリーズ直付型40形 iスタイル	B		iDシリーズ直付型40形 iスタイル	C		iDシリーズ直付型40形 iスタイル	凡 例		記 号		名 称		取付高さ（参考）				
																					
				一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵				一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵				一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 約10～100%連続調光型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵									
		パナソニック 直付XLX460NENPLE9				パナソニック 直付XLX450NENPLE9				パナソニック 直付XLX420NENPLA9											
D		ダウンライト 200形				E		ダウンライト 60形				F		iDシリーズ直付型40形 iスタイル 防湿型・防雨型							
				LED内蔵<ワゴンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：2070lm、消費電力：15W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150						LED内蔵<ワゴンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：610lm、消費電力：4.2W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100						一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵					
		パナソニック ダウンライトXND2069WNLE9				パナソニック ダウンライトXND0639WNLE9				パナソニック 直付XLW423NENZLE9											
G		iDシリーズ直付型40形 iスタイル 防湿型・防雨型				H		LEDスクエアベースライト 直付・埋込兼用型 下面開放型 □470		1		LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付									
				一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力32.5W、定格出力型、電圧100～242V 本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵						スクエア光源タイプ、一般光源ユニット、4500lmタイプ 消費電力31.9W、電圧100～242V 調光タイプ（約10～100%） 本体：鋼板（高反射白色粉体塗装）、枠：鋼板（高反射白色粉体塗装） 点灯ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83						直付低天井用（～3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号：LALE-007 レンズ：ガラス、パネル：ガラス（透明） カバー：アルミ（ホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池、点検スイッチ付 自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売）					
		パナソニック 直付XLW453NENZLE9				パナソニック 直付XLX140NENJLA9				パナソニック NNFB91105C											
J		LED B級・BH形 避難口誘導灯片面型				K		スポットライト		L		LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当									
				LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BH形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AL111-3211						ランプ別売（口金GX53-1） 防雨型、ネジ込み方式 アルミダイカスト（オフブラック） パネル：アクリル（透明） 可動範囲上下110度、回転方向330度						昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） スイッチ付					
		パナソニック FA40312CLE1+FK20300				パナソニック LSPS900				パナソニック LSEB7102LE1											

工 事 名		令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事		(株)池下建築設計		管 理 者		設 計 者		担 当 者		図 面 名		図 面 No.	
備 考				事務所登録 宮城県 第21610219号		池下 久幸 一級建築士 第280837号		池下 久幸 一級建築士 第280837号				照明器具姿図・凡例		E-3	
		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3		TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日 付		日 付		日 付		縮 尺			



- △ × 5
- × 4
- ³ × 4
- × 3
- × 4
- Ⓐ × 6
- Ⓑ × 7
- Ⓒ × 2
- Ⓓ × 7
- Ⓔ × 5
- Ⓕ × 8
- Ⓖ × 3
- Ⓗ × 3
- 非常用照明 × 2
- ⓑ 誘導灯 × 2
- Ⓛ × 1

分電盤単線結線図



太陽光ハ 祿 1 φ 2 W200V又は1 φ 3 W100/200Vハ ワ-コンデ イショナヘ

特記なきは下記凡例とする。

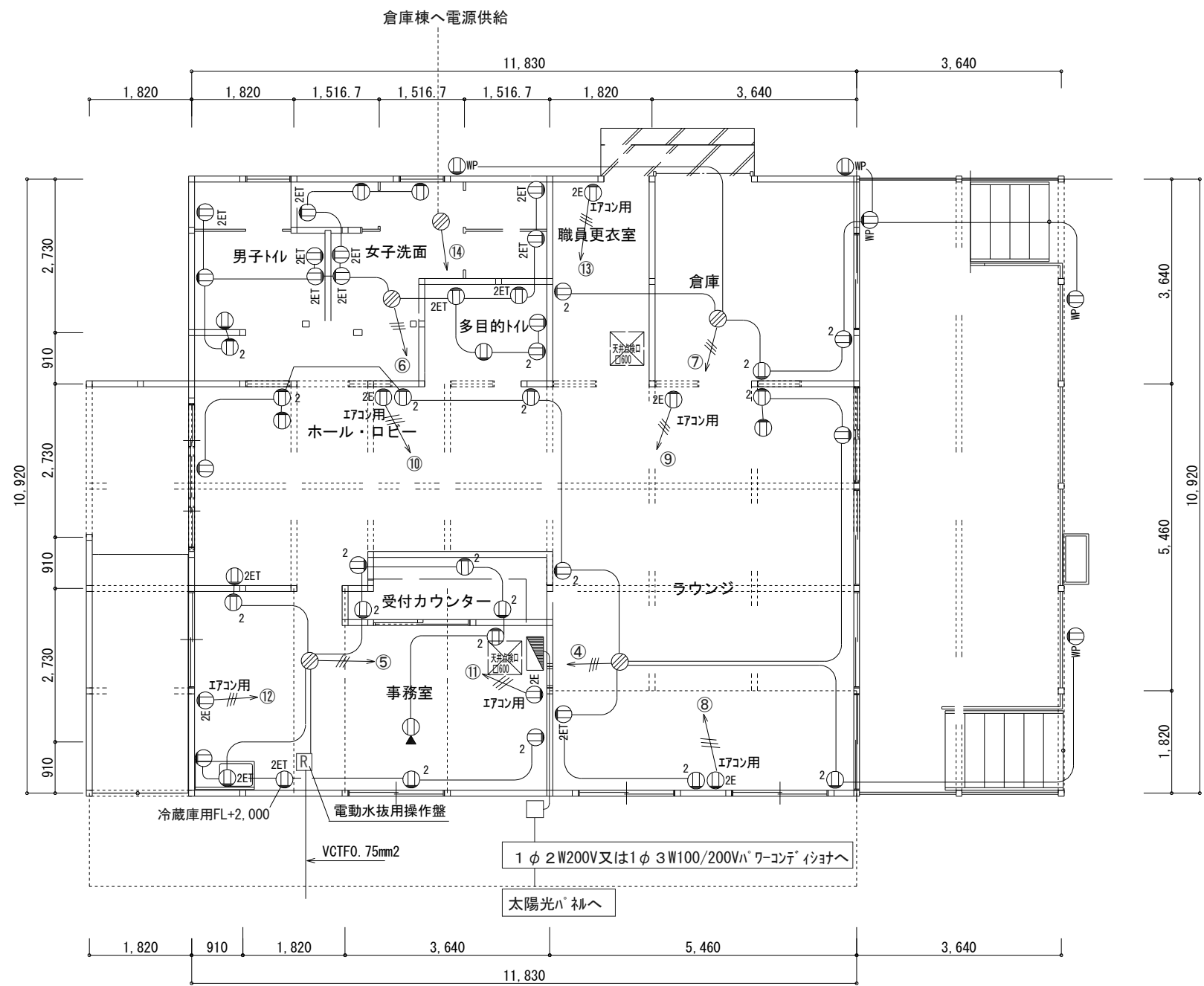
—	EM-E E F 1. 6 - 2 C	ころがし
— ///	EM-E E F 1. 6 - 3 C	ころがし
- // //	EM-E E F 1. 6 - 2 C × 2	ころがし
- // - //	EM-E E F 1. 6 - 2 C + 3 C	ころがし
— /// 2.0	EM-E E F 2. 0 - 2 C	ころがし
スイッチ高さ F L + 1 3 0 0		

● 電池内蔵型非常用照明 ハ ナリニッ ク N N F B 9 1 1 0 5 C 同 等
天井高さ2.7M 1ルクス範囲 半径4.6M

1階 電灯コンセント図 S:1/100

非常用照明で図示以外はH12年5月31日建設省告示第1411号による適用除外

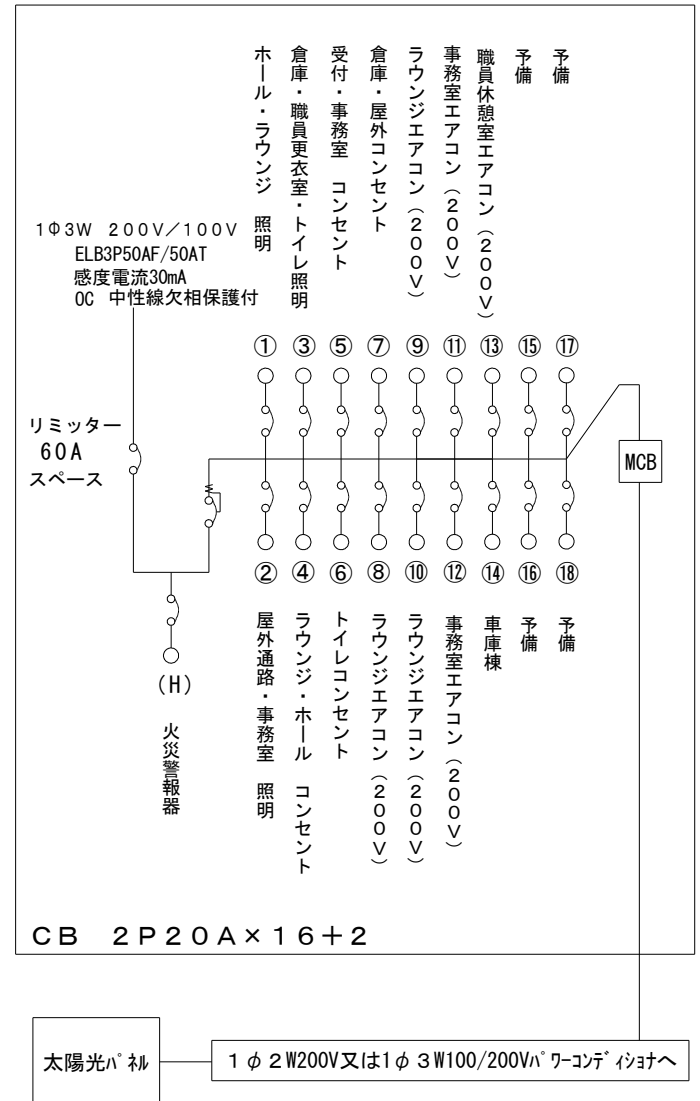
工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 電灯配線図	図 面 No. E-4
備 考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555		日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/100	



コンセント配線図 S:1/100

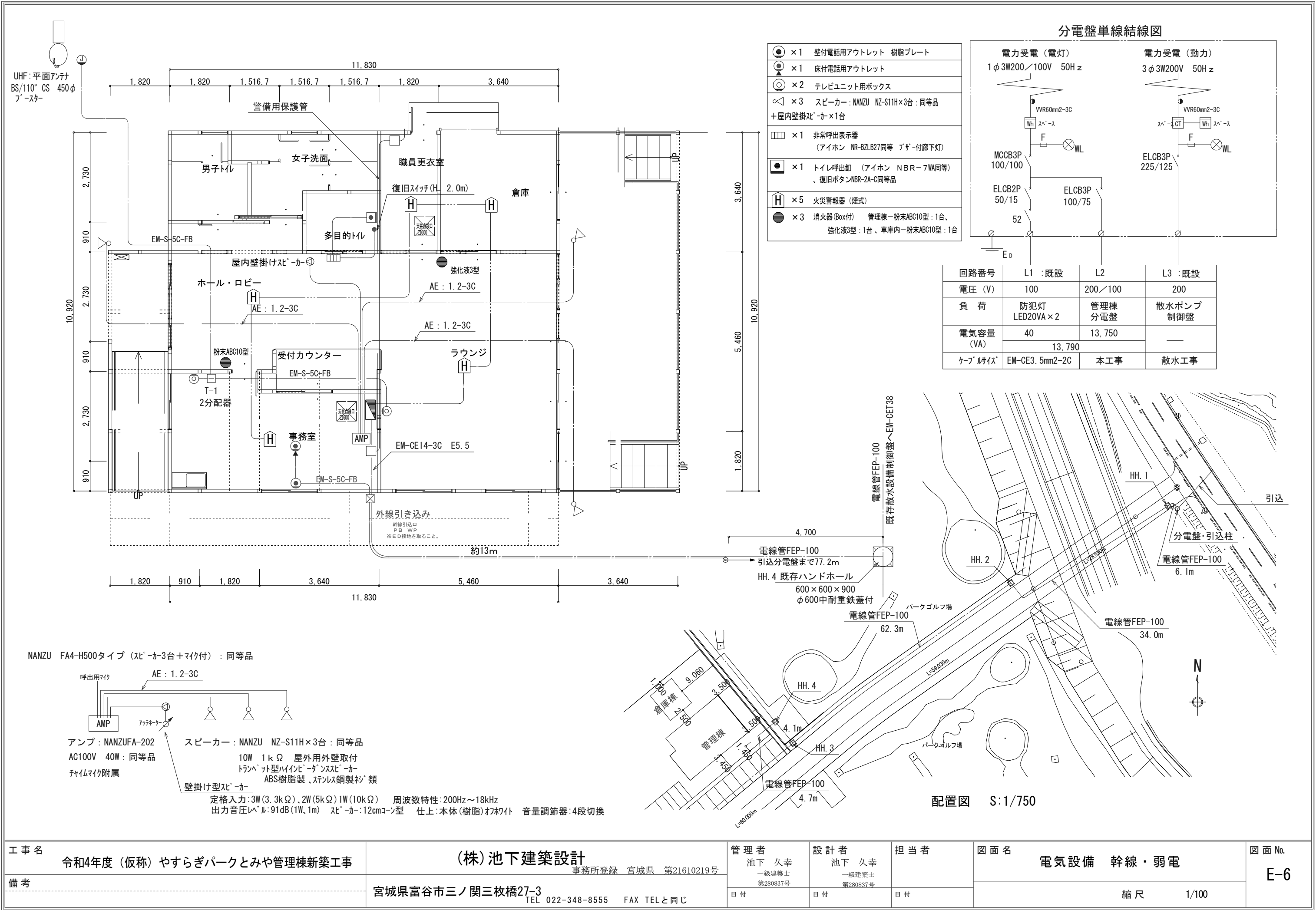
- ×11 壁付コンセント 大角型 2P15A×1 樹脂プレート
- ×20 壁付コンセント 大角型 2P15A×2 樹脂プレート
- ×1 床付コンセント
- ×14 壁付コンセント 大角型 2P15A×2 ET付 樹脂プレート
- ×6 壁付コンセント 大角型 2P15A×1 E付 樹脂プレート エアコン用
- ×5 防雨型コンセント 2P15A×3 ET付

分電盤単線結線図



特記なきは下記凡例とする。

—	EM-E EF 2.0-2C	ころがし
—	EM-E EF 2.0-3C	ころがし





機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称

令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事

2. 工事場所

富谷市大亀漆穂一番1-1、1-5の各一部、漆穂二番9、11、12-1、12-2、12-3、15、21-2、の各一部、水路

3. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備 考
管理事務所・休憩所	木造	1階	168.93㎡	189.23㎡	15項(各項に該当しない事業場)	
倉庫棟	S造	1階	45.55㎡	45.55㎡	14項(倉庫)	

4. 工事種目

印のついたものを適用する。)

工事種目	建設別及び屋外	建物本体				屋 外
空気調和設備		新設一式				新設一式
換気設備		新設一式				新設一式
排煙設備		新設一式				新設一式
自動制御設備						
衛生器具設備		新設一式				新設一式
給水設備		新設一式				新設一式
排水設備		新設一式				新設一式
給湯設備		新設一式				新設一式
消火設備		新設一式				新設一式
厨房機器設備		新設一式				新設一式
ガス設備						
さく井設備						
浄化槽設備		新設一式				新設一式
昇降機設備						
その他工事		新設一式				新設一式

5. 指定部分

※ なし ・ あり (工 期：令和 年 月 日) (対象部分：)

6. 概成工期

※ なし ・ あり (工事工期より 日前)

6. 設備概要

印のついたものは、主要方式を示す)

方 式	設 備	概 要
空気調和方式等	空気調和 ・ 全空気方式 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 パッケージ方式	
	温風暖房 ・ 全空気方式 ・ ファンコンベクター、ダクト併用方式	
	直接暖房 ・ 温水暖房 ・	
自動制御方式	電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 空気式 ・ 中央監視制御	
給水方式	水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ タンクレスブースター方式 ・	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水 分流式 合流式	
	建物外の汚水及び雑排水 分流式 合流式	
	放流先 汚 水 下水道直放流 浄化槽 排水 下水道直放流 浄化槽 側溝 別途樹	
給湯方式	局所式 ・ 中央式	
消火設備方式	屋内消火栓 湿式 乾式 連結送水管 屋外消火栓	
	スプリンクラー 湿式 乾式 不活性ガス消火 泡消火	
	粉末消火 ・ 連結散水 ・ フード等用簡易自動消火 消火器	
ガス設備方式	都市ガス 種別 () kJ/m3 (N) (供給圧力 Pa) ・ 液化石油ガス	

Ⅱ. 特記仕様書

1. 一般事項

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)、 同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 平成31年版)」(以下「標準図という。)」による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は(/)図、建築工事の工事仕様書は(/)図による。

(1) 項目は番号に印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は印の付いたものを適用する。印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

2. 特記事項

章 項 目

特 記 事 項

① 適用基準等

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房庁営繕部監修 平成31年版)
建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)
宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(最新版)
宮城県建築工事写真撮影要領(宮城県土木部制定 平成12年版)及び工事写真撮影ガイドブック<機械設備工事編>(国土交通省大臣官房庁営繕部監修 平成30年版)

② 機 材 等

※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。
※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。

③ 機材の品質・性能証明

④ 保 険

本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。

⑤ 雇 用

本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。

⑥ 施工計画書および施工図等

工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画(実施)書を作成し、監督職員に提出する。

7. 工事実績情報の登録

諸負額が500万円以上の場合、工事実績情報に登録する。
受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。

⑧ 手続

工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係わる費用は、受注者の負担とする。

⑨ 事故報告

施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

10. 電気保安技術者

⑪ 技能士の適用

⑫ 足場等

13. 監督職員事務所

⑬ 工事用電力、水、その他

15. 工事用仮設物

⑭ 残土処理

⑰ 発生材の処理

⑱ 総合試運転調整等

⑲ 容量等の表示

20. 耐震措置

⑳ 弁等のサイズ

㉑ 電線類

23. 溶接部の非破壊検査

㉒ はつり

㉓ 支持及び固定

㉔ 支持金物・固定金具

㉖ 埋戻し土・盛土

㉗ 地中埋設標及び埋設表示用テープ

※ 配置する ・ 配置しない

本工事に下記の当該職種別技能士(・1級・2級)を適用させる。(資格証の写しを提出する)
① 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ・ 熱絶縁施工(保温工事)
・ 冷凍空気調和機器施工(チリ Lingu ユニット、パッケージ形空気調和機の据付け及び調整)
② 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月改訂)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
※ 設けない ・ 設ける(号・・・建築工事仕様書)
本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで受注者の負担とする。
構内に作ることが ※ できる ・ できない
・ 構外搬出 ※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積

(1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし ・ あり()
(2) フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当 ・ なし ・ あり()
(3) 引渡しを要するもの ※ なし ・ あり()
(4) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分すること。
(ア) 特別管理産業廃棄物
※ なし ・ あり()
(イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
・ コンクリート()
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材()
・ 木 材 ()
・ アスファルトコンクリート()
(ウ) その他発生材の処分を行う施設
・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物()
・ 木くず等の管理型の産業廃棄物()
※アスベストについては、労働安全衛生法(石棉障害予防規則)・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること

建設リサイクル法
・ 対象工事
落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第1号別表1～3のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。
・ 対象外工事

※ 本工事において下記の項目の総合試運転調整等を行い、報告書を提出する。 ・ 別途
総合試運転調整等の項目
・ 風量調整 ① 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定
・ 室内気流及びびんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 初期運転状態の記録
・ 末端水栓の水質測定 ・ し尿浄化槽放流水質の測定
・ 機器の絶縁抵抗の測定 ② 水圧調整
測定箇所は、監督職員の指示による。

(1) 機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修2014年版)による。

設計用標準水平震度(K _a)		一般の施設	
設置場所	特定の施設	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)
中層階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)
一階及び地下層	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0
一階及び地下層、中層階	1.5	1.0	0.6

注(1) 設置場所の区分は標準仕様書による。注(2)()内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
(3) 本工事の施設は(・一般の施設・特定の施設)とする。
(4) 地域係数は1.0とする。
(5) 100kg以下の軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
(6) 昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平鉛直方向の地震力にに対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。
特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

本工事ででは環境配慮の観点から、原則としてEケーブルを使用するものとする。なお、電気設備工事編標準仕様書第6編通信・情報設備工事による。

対象配管系統 ・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 消火(水用) ・ 油 ・ ガス
検査の種類 ・ 浸透探傷検査(PT)又は磁粉探傷検査(MT) ・ 放射線浸透検査(RT)

既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

(1) 標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第3編2.1.13(b)に準ずる。
(2) 横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。

(1) ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製(SUS304)とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。
(2) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
(3) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
・ 根切り土中の良質土(ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類
地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
(1) 給水管 ① 地中埋設標 ② 埋設用表示テープ
(2) ガス管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ
(3) 油 管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ
(4) 消火管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ

㉘ 保 温

㉙ 塗 装

⑬ 防食処理

㉚ 山留め

33. 舗装工事

㉛ 他工事との取り扱い

35. 予備品等

36. 施工条件

37. 三相誘導電動機

1. 設計温湿度

2. ばい煙濃度計

3. 煙 突

4. 煙 道

5. ダクトの区分

6. 長方形ダクトの工法

7. 風量測定口

8. チャンパ

9. 防煙ダンパ

⑩ 配管材料

⑪ 弁 類

⑫ 鋼管用伸縮管継手

13. 温度計

14. 瞬間流量計

15. オイルタンク

16. 積算油量計

17. 注油口及び指示ヶツス

・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。
主機械室：
・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は(・ロックウール ・ グラスウール)

屋 内 露 出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・
各階機械室	・ アルミガラスクロス	・	
主機械室	・ アルミガラスクロス	・	
居室・廊下など	・ カラー亜鉛鍍板	・	
屋内隠ぺい、P S 内	・ アルミガラスクロス		
屋外露出、多湿箇所()	・ ステンレス鋼板		

① 配管の保温の外装は下記による。内装は① ロックウール ・ グラスウール ・ ポリスチレンフォーム)

屋 内 露 出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・
各階機械室	・ アルミガラスクロス	・	
主機械室	・ アルミガラスクロス	・	
居室・廊下など	・ 合成樹脂製カバー	・	
屋内隠ぺい、P S 内	① アルミガラスクロス		
屋外露出、多湿箇所()	・ ステンレス鋼板 ・ アスファルトプライマー	・ 着色アスファルトプライマー	

(1) 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外露出 ※ 居室
(2) 保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管(鋼管)には塗装を行う。
土中埋設の鋼管(ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く)及び金属製継手類(砲金製弁・継手を含む)にはベトラタム系防水テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。(埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。)
切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章(舗装工事)による。
図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。
ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は予備品として、20%納入する(種別ごと最低1個)。
別添の施工条件明示書による。
省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS C 4034-30:2011のIE3(プレミアム効率)に相当する機器を導入すること。

	外 気		屋内(調整目標値)					
	温度(DB)	湿度(RH)	一 般 系 統	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	
夏期	30.6℃(9時) 32.4℃(12時) 32.6℃(14時) 31.8℃(16時)	65.5%(9時) 60.2%(12時) 57.8%(14時) 61.0%(16時)	26℃	45%	℃	%	24℃	45%
冬季	-2.0℃	69.2%	22℃	40%	℃	%	24℃	45%

取付箇所は図示による。
※ 別途 ・ 本工事(鋼板厚 mm、高さ m以上)
※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。 ・ 図示による。
(煙道径が400mmを超えるものには、排除口に蝶番を取り付ける。)
低圧とする(高圧1及び高圧2の部位は図示による。)
・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド)
取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。
(2) 空気調和機に取付けるサブライチャンパー及びレタンチャンパーで消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
(1) 復帰方式 ※ 遠隔式(電気式(定格入力DC24V、0.7A以下))
(2) 復帰動作 ※ 順送り
(1) 冷温水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ・
(2) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ・
(3) 蒸気管(給気管) ※ 配管用炭素鋼管(黒) ・
(還水管) ※ 圧力配管用炭素鋼管(Sch40) ・
(4) 油管、油用通気管(一般) ※ 配管用炭素鋼管(黒) ・
(土中) ※ ポリエチレン被覆鋼管
(5) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ・
※ 配管用炭素鋼管(白) ・
(6) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼管(白) ・
(7) 冷媒管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管
※ JIS又はJVS K ・ JIS又はJV10K
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
※ ベローズ形 ・ スリーブ形
※ 標準仕様書、標準図による他、図示した箇所に取付ける。(配管用はL形、ダクト用は円形)
・ 空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、遠気ダクト及び外気ダクト
・ 冷温水ヘッダー(往)及び冷温水ヘッダーの各選り管
・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
※ 着脱可能形(※ 全数 ・ 図示による)
着脱可能形の場合、その指示部(・40A用 個 ・ 100A用 個 ・ 250A用 個)を付属する。
・ 固定形(止水コック付) ・ 測定用タッピング(32mmビトール管流量計用)
(1) オイルタンク本体は図示による。
(2) 遠隔油用指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない
(3) 計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。
図示の箇所に取付ける(熱源機器等)。
標準図(機材 6)による。
・ 単独形 ・ 共用形(・ ローリーアース付)

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

電話 022-211-3268 FAX 022-211-3190

宮城県土木部設備課

株式会社 池下建築設計

事務所登録 宮城県 第16610022号

設計年月日

調査

設計

池下 久幸
一級建築士
第280837号

工事名称

令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事

図面名称

機械設備工事特記仕様書①

全 業

図面 No

M-1

空調 和・ 冷房・ 暖房 設備	18. 消管内貼り	(1) 施工箇所は図示による。 (2) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。 (3) 吹出口に接続するチャンパーの消管内貼りは別図による。	昇降機 設備	11. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径60SU以下 SAS322 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合 (2) 呼び径75SU以上 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合 給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑬ 保 温	(1)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし (空気抜き弁も含む) , 仕様は冷温水の管による。 (2)屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 (3)外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※ 要 (全熱交換器の給気ダクトを含む) ・ 不要 (4)排気ダクトの外壁開放部より1m程度保温する。(チャンパーボックスを含む) (5)冷媒管 (断熱材被覆鋼管) の保温外表 屋内露出部 ① 保温化粧ケース (樹脂製) ・ 外装なし ・ 屋外 ② 保温化粧ケース (樹脂製) (6) 高圧蒸気管及びベッターの保温厚は mmとする。		① 配管材料	(1)屋内外汚水管 (2)屋内雑排水管 (3)屋外土中汚水、雑排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ① 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 鉛管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ② 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP+VU)		
	⑭ 電気工事の範囲	(1)地震感知器の配管配線 ※ 別途 ・ 本工事 (2)防煙ダンパと運動制御器迄の配管配線及び運動制御室から煙感知器迄の配線配管は ※ 別途 ・ 本工事		(4)土間配管用 (5)通気管 (6)ポンプアップ排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ ポリ粉体鋼管 (PD) ① 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。		
	⑮ 塗装	(1) 屋内露出排気ダクトの塗装 (居室を除く) は ※ 行わない ・ 行う (2) 屋内露出冷却水配管の塗装 (居室を除く) は ※ 行わない ・ 行う		② 排水桝 ・ 桝リストは図面番号 () (1)材料 ・ RC ① 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鑄鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ TSA) ①樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・ 日本下水道協会 (JSWAS) ・ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS) ① 市町村別基準 (有 ・ 無)	3. グリース阻集器 4. 満水試験継手 ⑤ 試 験 6. 放流負担金等 7. 基礎材		
換気 設備	① 準拠事項	[空調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備] の当該事項に準ずる。 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 18 ・ 19 ・ 21 ※ 別途 ・ 本工事 ・ 既設	排水 設備	② 排水桝	・ 桝リストは図面番号 () (1)材料 ・ RC ① 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鑄鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ TSA) ①樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・ 日本下水道協会 (JSWAS) ・ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS) ① 市町村別基準 (有 ・ 無)	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	2. 開放形湯沸器排気フット	※ 垂鉛鉄板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304) (板厚は高圧ダクトによる)		3. グリース阻集器 4. 満水試験継手 ⑤ 試 験 6. 放流負担金等 7. 基礎材			
	3. 厨房用排気ダクト	※ アンゲルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ)		② 排水桝	・ 桝リストは図面番号 () (1)材料 ・ RC ① 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鑄鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ TSA) ①樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・ 日本下水道協会 (JSWAS) ・ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS) ① 市町村別基準 (有 ・ 無)		
	4. 厨房用排気ダクト工法	(1)フード周囲の天幕 (フード面から天井面まで) ※ 取り付けける ・ 取り付けない (2)フードコック ※ 取り付けける ・ 取り付けない (3)材質 (天幕とも) ※ ステンレス鋼板 (SUS430又はSUS304)		② 排水桝	・ 桝リストは図面番号 () (1)材料 ・ RC ① 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鑄鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ TSA) ①樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・ 日本下水道協会 (JSWAS) ・ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS) ① 市町村別基準 (有 ・ 無)		
排煙 設備	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 (1.6mm以上)	給湯 設備	① 配管材料	・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 鋼管 ・ 被覆鋼管 ① 保温付被覆鋼管 ＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞ 給水設備の当該事項による。	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	2. 排煙口の形式	・ 可動羽根 (スリット共) ・ 可動パネル		② 弁 類	・ 膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞ 給水設備の当該事項による。		
	3. 排煙口開放装置	・ ワイヤード ・ 電気式 (遠隔操作機能 ・ 要 ・ 不要)		3. 湯沸器の排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。		
	4. 排煙風量測定方式	建築協定定期検査業務指導書 ((財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方式に準ずる。		④ 保 温	湯沸器の給排気筒 (二重管) のいんべい部保温を行う。標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5の (h・(f)・X)		
自動制 御設備	1. 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。	消火 設備	5. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径60SU以下 SAS322 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合 (2) 呼び径75SU以上 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	2. 計装工事の配線	(1) 屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 (2) 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。		1. 配管材料	(1)一 般 (2)地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 外面被覆鋼管 (SGP-VS) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (SGP-PS) ・ 外面被覆鋼管 (STPG-370VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (STPG-370PS)		
	3. 厨房用排気ダクト	※ 垂鉛鉄板 ・ ステンレス鋼板 (SUS304) (板厚は高圧ダクトによる)		2. 屋内消火栓種類	・ 易操作性1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓		
	4. 厨房用排気ダクト工法	(1)フード周囲の天幕 (フード面から天井面まで) ※ 取り付けける ・ 取り付けない (2)フードコック ※ 取り付けける ・ 取り付けない (3)材質 (天幕とも) ※ ステンレス鋼板 (SUS430又はSUS304)		3. 消火栓開閉弁	・ JIS10K ・ JIS20K		
衛生器 具設備	① 大便器洗浄弁	・ 洗浄タンク方式 ・ 洗浄弁方式 (不凍結節水弁付)	給 水 設備	⑤ 消火器類	(1)消火器 種類 ・ 数量 (粉末ABC10型:2台、強化液3型:1台) (2)消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量 (スチール焼付け塗装仕上、扉:非晶性ポリスチレン樹脂W290D190H710)	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	② 便器洗浄用タンク	※ 手洗なし ・ 手洗付		① 厨房機器類	(1) 図示による (材質などは標準仕様書による)。ただし、寸法は参考とする。 (2) 厨房機器据付要領は、標準図施工74による。		
	③ 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。(・ 小便器一体型 ① 小便器分離型)		1. 配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ガス用ポリエチレン管		
	④ 器具付属水栓	固定こま式 (節水こま式) とする。		2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)		
給 水 設備	⑤ 自動水栓	※ 電源供給方式 (※ AC100V) ・ 乾電池 ・ 自己給電	ガ ス 設備	3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑥ 温水洗浄便座加熱方式	・ 瞬間式 ・ 貯湯式		4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)		
	7. 大便器耐火カバー	設ける (ビット内を除く)		5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による)		
	1. 量水器	(1)親メーター ※ 借用 ・ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無) (2)子メーター ※ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無)		6. その他	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
給 水 設備	2. 量水器桝	(1)親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材57) (2)子メーター用 ※ 標準図 (機材57) ・ 水道事業者の指定品	給 水 設備	1. 配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ガス用ポリエチレン管	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	③ 配管材料	(1)一般用 (3)屋外土中用 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ ステンレス鋼管 (SUS316) ① 塩ビライニング鋼管 (・ VA ・ VB) ・ 塩ビライニング鋼管 (VD) ・ ポリ粉体鋼管 (・ PA ・ PB) ・ ポリ粉体鋼管 (PD) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ " (HIVP) ② ポリエチレン管 ・ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管		2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)		
	④ 不凍水栓柱	化粧ケーシング (① アルミ合金製 ・ 合成樹脂製)		3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。		
	⑤ 弁 類	(1)水道直結部分 ※ JIS又はJV10K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。		4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)		
給 水 設備	⑥ 給水栓	(1)屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。	給 水 設備	5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑦ 埋設深さ	(1)一般敷地内 (0.45 m以上) (2)敷地内車両道路 (0.45 m以上) (3)公道部分 (※ 水道事業者及び道路管理者規定による)		6. その他	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
	⑧ 保 温	(1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管 (弁フランジを含む) は、標準仕様書第2編 (表2.3.6 e2・(ハ)) とし 厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。		1. 配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ガス用ポリエチレン管		
	⑨ 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない		2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)		
給 水 設備	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 ()	給 水 設備	3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑤ 弁 類	(1)水道直結部分 ※ JIS又はJV10K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。		4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)		
	⑥ 給水栓	(1)屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。		5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
	⑦ 埋設深さ	(1)一般敷地内 (0.45 m以上) (2)敷地内車両道路 (0.45 m以上) (3)公道部分 (※ 水道事業者及び道路管理者規定による)		6. その他	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
給 水 設備	⑧ 保 温	(1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管 (弁フランジを含む) は、標準仕様書第2編 (表2.3.6 e2・(ハ)) とし 厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。	給 水 設備	1. 配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ガス用ポリエチレン管	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑨ 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない		2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)		
	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 ()		3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。		
	⑤ 弁 類	(1)水道直結部分 ※ JIS又はJV10K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。		4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)		
給 水 設備	⑥ 給水栓	(1)屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。	給 水 設備	5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑦ 埋設深さ	(1)一般敷地内 (0.45 m以上) (2)敷地内車両道路 (0.45 m以上) (3)公道部分 (※ 水道事業者及び道路管理者規定による)		6. その他	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
	⑧ 保 温	(1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管 (弁フランジを含む) は、標準仕様書第2編 (表2.3.6 e2・(ハ)) とし 厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。		1. 配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ガス用ポリエチレン管		
	⑨ 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない		2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)		
給 水 設備	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 ()	給 水 設備	3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑤ 弁 類	(1)水道直結部分 ※ JIS又はJV10K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。		4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)		
	⑥ 給水栓	(1)屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。		5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
	⑦ 埋設深さ	(1)一般敷地内 (0.45 m以上) (2)敷地内車両道路 (0.45 m以上) (3)公道部分 (※ 水道事業者及び道路管理者規定による)		6. その他	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
給 水 設備	⑧ 保 温	(1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管 (弁フランジを含む) は、標準仕様書第2編 (表2.3.6 e2・(ハ)) とし 厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。	給 水 設備	1. 配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ガス用ポリエチレン管	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑨ 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない		2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)		
	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 ()		3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。		
	⑤ 弁 類	(1)水道直結部分 ※ JIS又はJV10K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。		4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)		
給 水 設備	⑥ 給水栓	(1)屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。	給 水 設備	5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑦ 埋設深さ	(1)一般敷地内 (0.45 m以上) (2)敷地内車両道路 (0.45 m以上) (3)公道部分 (※ 水道事業者及び道路管理者規定による)		6. その他	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()		
	⑧ 保 温	(1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管 (弁フランジを含む) は、標準仕様書第2編 (表2.3.6 e2・(ハ)) とし 厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。		1. 配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ガス用ポリエチレン管		
	⑨ 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない		2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)		
給 水 設備	10. 水道加入金等	水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他 ()	給 水 設備	3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図 (施工72) による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。	1. 方式 用途 2. 積載量 (kg) 定員 (人) 3. 速度 (m/分) 停止箇所 4. 管制運転 5. 工場検査予定 6. 無償保守期間	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用 ・) 積載量 (kg) 定員 (人) 速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止) ・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発電 ※ あり ・ なし ・ あり (ヶ月) ※ なし
	⑤ 弁 類	(1)水道直結部分 ※ JIS又はJV10K ・ 水道事業所の規定による K (2)その他の部分 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。		4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)		
	⑥ 給水栓	(1)屋内 (※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外 (※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。		5. 埋設深さ	(1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による) 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()</		

樹 リ ス ト			※地盤高さ36.470＝GL±0と設定する				
記号	名称	樹仕様	管低	泥溜り	樹ぶた	地盤高さ	備考
1	インバート樹	45L 100 -150	250	—	A I	GL-50	起点
2	インバート樹	UT 100 ×100-150	266	—	A I	GL-180	勾配は 富谷市下水道条例 による
3	インバート樹	90YS 100 ×100-150	314	—	A I	GL-200	
4	インバート樹	UT 100 ×100-150	370	—	A I	GL-315	
5	インバート樹	90L 100 -150	404	—	A I	GL-630	
6	インバート樹	90L 100 -150	456	—	A I	GL-410	敷地内浄化槽へ接続
							敷地内側溝へ接続
A	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL+130	
B	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL+35	
C	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL+100	
D	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-70	
E	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-120	
F	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-250	
G	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-280	
H	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-480	
I	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-650	敷地内側溝へ接続
J	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-200	
K	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-470	
L	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-770	
M	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-720	
N	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-820	
O	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-900	
P	ため樹	φ300 - 450	300	150	レゾコン蓋	GL-950	敷地内側溝へ接続

電気温水器					
記号	機器名称	機器仕様	電気容量		設置場所
			V	k w	
EH-1	電気温水器	電気温水器：EHPN-F6N5（INAXゆづろ）同等品 排水器具：EFH-6K タンク容量：約6L わきあげ温度：約60℃	100	0.45	1 事務室流し
EH-2	電気温水器	電気温水器：EHPN-T1N3（INAXゆづろ）同等品 排水器具：EFH-3SEK タンク容量：約1.5L わきあげ温度：約39℃	100	0.49	6 男手洗い×2 女手洗い×2 多目的トイレ手洗い 倉庫手洗い

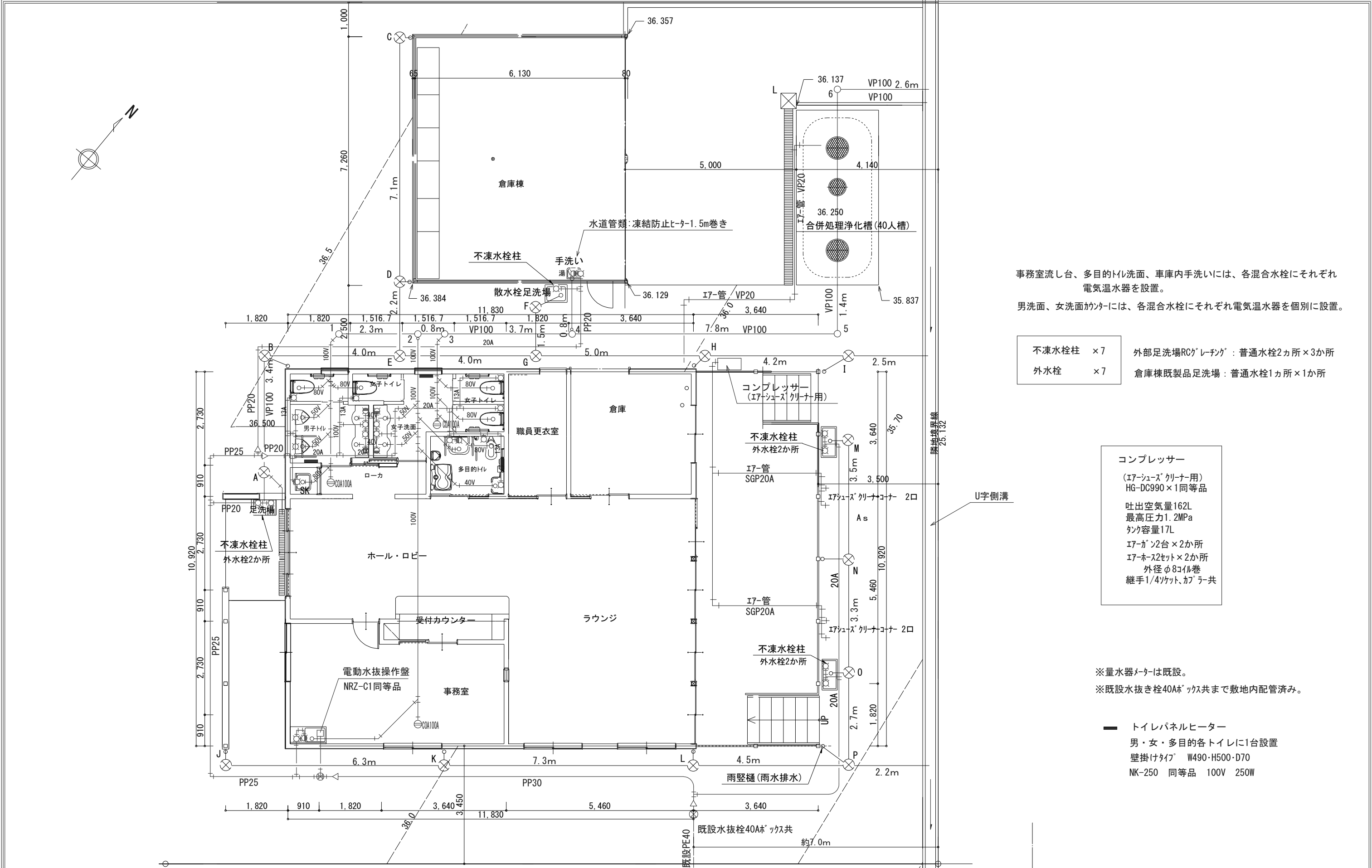
※空調調和設備機はM-8図面参照

衛生器具表

器具名称	品番	仕 様	男子便所	女子便所	多目的便所	事務室	S K （掃除員庫）	屋 外	合 計	備考
洋風便器	CS232B	SH232BN（ロ-タンク）、TCF6623（ウォシュレット） 他一式	1	3					4	同等品
トイレ手摺	NKF-3WU2	棚手摺（L型タイプ）+2連紙巻器付 他一式	1	3					4	同等品
小便器	UFH507CHR	TEA61ADS（自動洗浄システム） 他一式	2						2	同等品
小便器用手すり	T112CU2	固定金具	1						1	同等品
洗面器	L-2150FC	マーベリックオーバークォンターベイスタイプ MB-450M シングルバ-混合水栓LF-WF340SY、床ストラップ 他一式	2	2					4	同等品
化粧鏡	YM4560F	450×600 耐食	2	2					4	同等品
洋風便器	CS232B	SH232BN（ロ-タンク）、TCF4713AKR（ウォシュレットF1A）他一式			1				1	同等品
紙巻器付手摺	YHB63F	棚・手摺一体タイプ 他一式			1				1	同等品
オストメイト	PTOM-B210TLW	オストメイト対応トイレパック			1				1	同等品
多目的トイレ洗面器	L250CM	シングルバ-混合水栓TLS04302JA、床ストラップ 手摺T112CP31×2台 他一式			1				1	同等品
可動式手摺	T113HK7R				1				1	同等品
ベビーチェアー	AC-BK-F62				1				1	同等品
ベビーシート	AC-OK-21F				1				1	同等品
化粧鏡	LM530	障害者用傾斜鏡 528×193×664			1				1	同等品
洗面化粧台	FTV1N-500N 寒冷地仕様	ミラキャビネットMFX-501S 倉庫棟 他一式						1	1	同等品
トイレパネルヒーター	NX-250	インターセントラル いたずら防止カバー：TPC-N、吹出口用防護カバー：NX-PG	1	1	1				3	同等品
流し台	1200	BL型				1			1	同等品
吊戸棚	600					1			1	同等品
掃除流し	S-200	LF-7C-19、SF-20SAF-P、SF-10E 他一式					1		1	同等品
電動水抜栓	NRZ-D	NRZ-D1-MT同等品、操作盤（屋内設置）NRZ-C1同等品				1			1	同等品
不凍水栓柱	DMB-V	13×13 L=1200						7	7	同等品

浄化槽
分離嫌気ろ床担体流動方式 処理対象人員：40人 型式：DCX40型 認定番号：8-19k-H-003-9 株式会社ダイキアクシス 同等品

工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 樹リスト	図 面 No. M-3
			日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/100	
備 考	宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555						



事務室流し台、多目的トイレ洗面、車庫内手洗いには、各混合水栓にそれぞれ電気温水器を設置。

男洗面、女洗面がソナーには、各混合水栓にそれぞれ電気温水器を個別に設置。

- 不凍水栓柱 × 7

外水栓 × 7
- 外部足洗場RCがレチング：普通水栓2カ所 × 3か所

倉庫棟既製品足洗場：普通水栓1カ所 × 1か所

コンプレッサー

(I7-シューズクリーナー用)

HG-DC990 × 1同等品

吐出空気量162L

最高圧力1.2MPa

タンク容量17L

I7-ガン2台 × 2か所

I7-ホース2セット × 2か所

外径φ8コイル巻

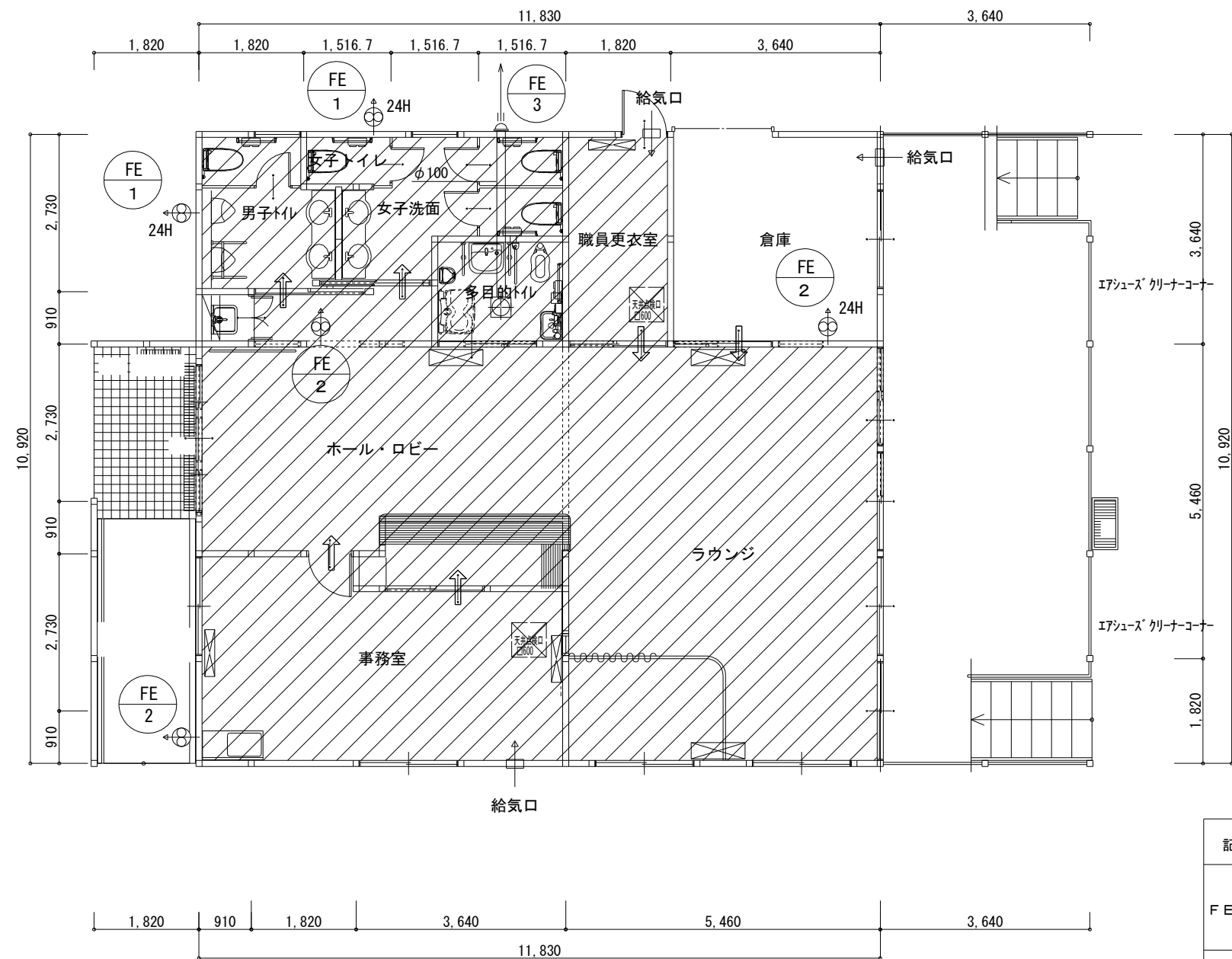
継手1/4ソケット、カバー共

※量水器メーターは既設。

※既設水抜き栓40Aホックス共まで敷地内配管済み。

- トイレパネルヒーター
- 男・女・多目的各トイレに1台設置
- 壁掛けタイプ W490・H500・D70
- NK-250 同等品 100V 250W

工事名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計	管理者	池下 久幸	設計者	池下 久幸	担当者	図面名	図面No.
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3	事務所登録 宮城県 第21610219号	一級建築士 第280837号	一級建築士 第280837号			給排水衛生設備図	M-4
		TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付		縮尺 1/100	



凡例

天井裏等部屋

対象部屋

24H シックハウス用排気機

給気口 P-18WQU

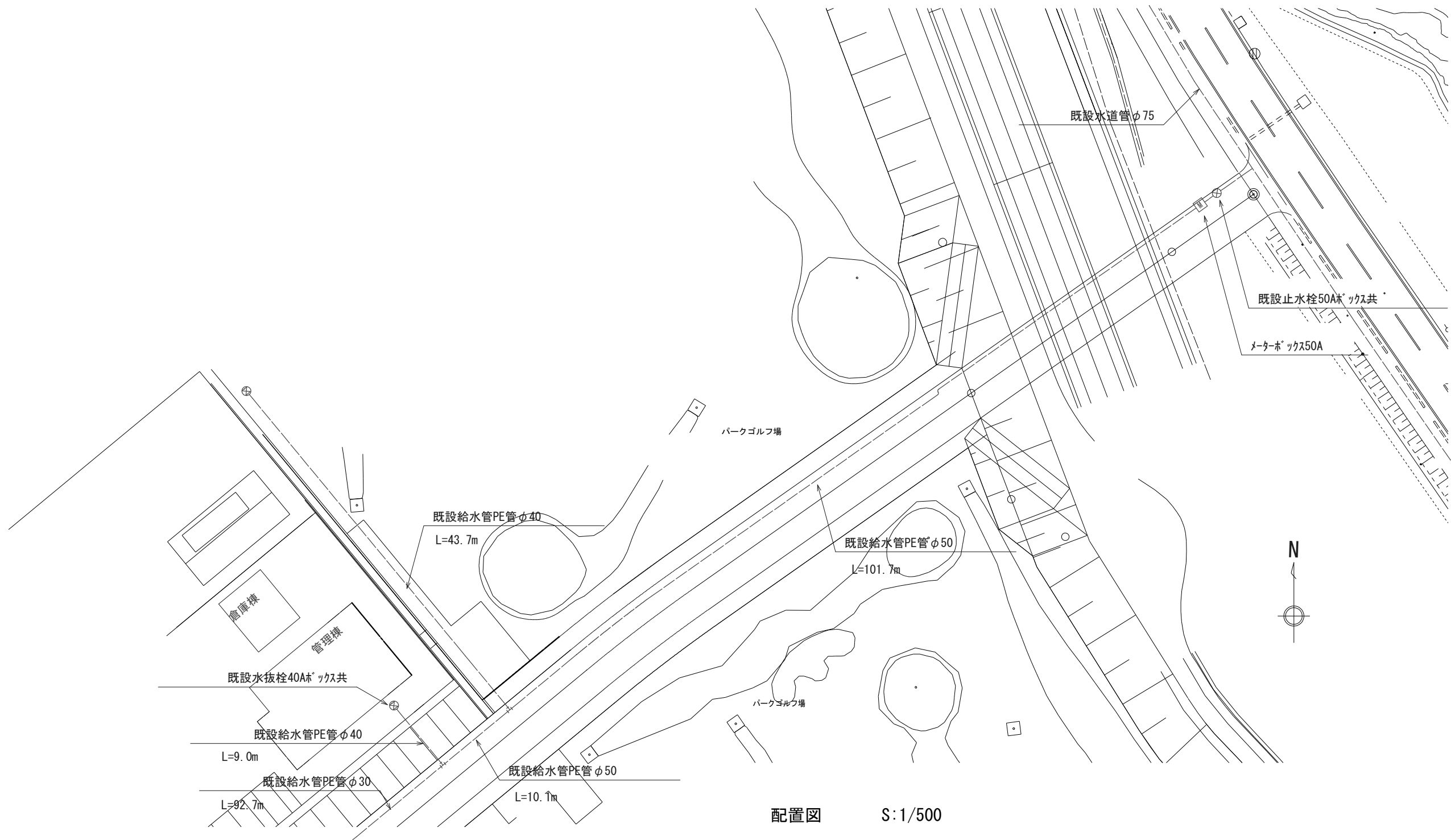
1階 シックハウス チェック S:1/100

24時間換気 空気の流れ

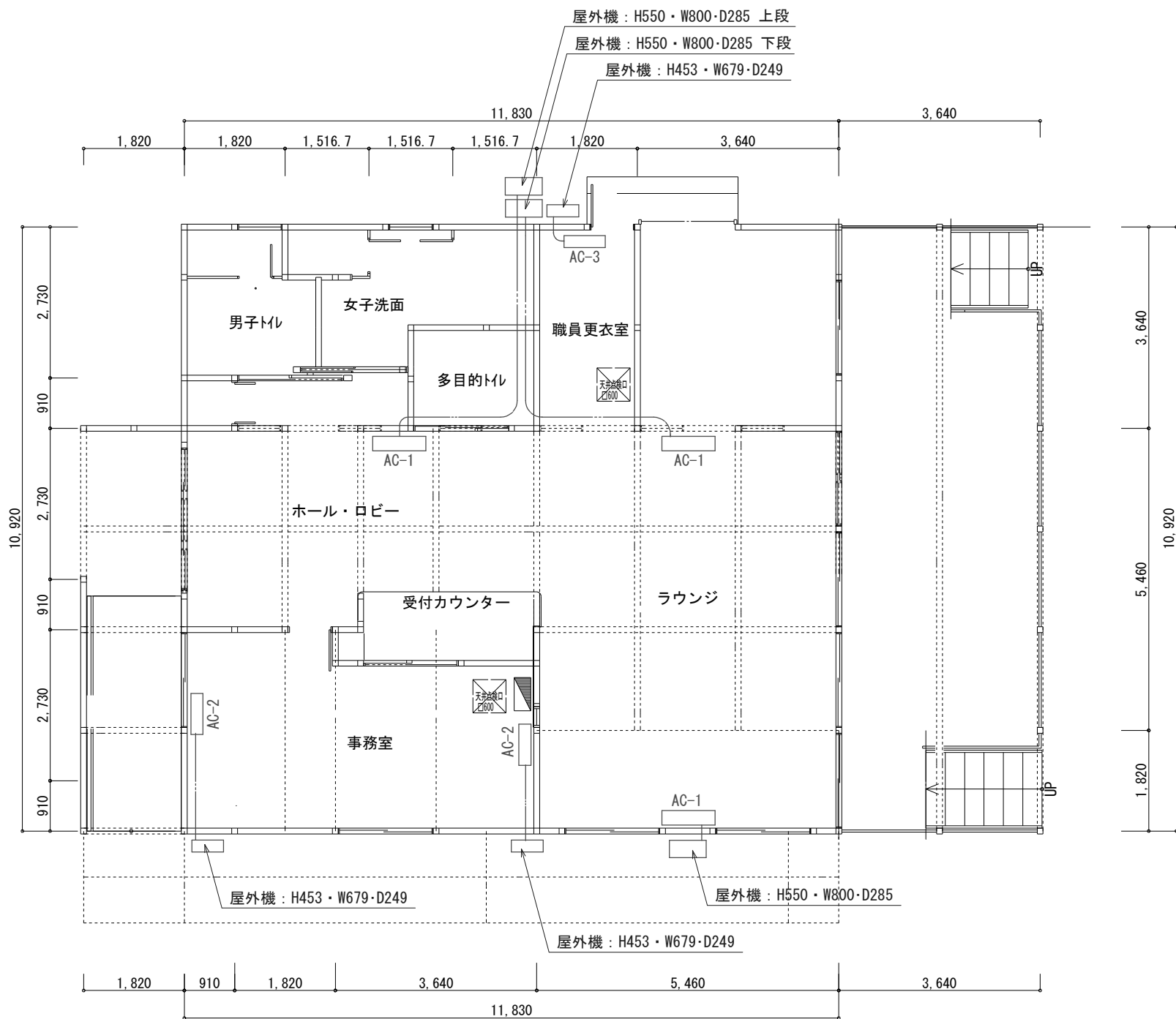
記号	機器名称	機器仕様	電気容量			数量	設置場所	備考
			φ	V	W			
FE-1	壁面換気扇 φ100	シックハウス 24H対応 風量：37.5m3/h 付属品：SUS製フード (P-13FSQ5)、防虫網	1	100	1.3	2	女子便所 男子便所	V-08PEALD7
FE-2	壁面換気扇 φ150	型式：高密閉電気式シャッター付 風量：140m3/h 付属品：SUS製深形フード (P-18VSQ4)、防虫網 天吊金具	1	100	4.8	3	ラウンジ 事務室	洋室用 V-12PED7
FE-3	天井換気扇 φ100	型式：低騒音タイプ 風量：51m3/h 付属品：SUS製深形フード (P-18VSQ4)、防虫網 天吊金具	1	100	5.5	1	多目的便所	VD-13ZLC10-S
FE-4	壁面換気扇 φ200	型式：シャッター連動式 風量：558m3/h 付属品：SUS製深形フード (P-20CV6)、P-20	1	100	13.5	1	倉庫棟	EX-20LH9

工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	株式会社 池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号 宮城県富谷市三関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX 022-348-8555	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号 日付	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号 日付	担当者 日付	図面名 換気設備図	図面No. M-5
					縮尺 1/100	

工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設 計 者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担 当 者	図 面 名 浄化槽	図 面 No. M-6
備 考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/50	



工 事 名	令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名	図 面 No. M-7
			池下 久幸 一級建築士 第280837号	池下 久幸 一級建築士 第280837号		敷地内既存機械設備図	
備 考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日 付	日 付	日 付	縮 尺 1/500	



空気調和設備図 S:1/100

ラウンジ 3台	AC-1	室内機：MSZ-JXV4022S-W-IN 室外機：MUZ-JXV4022S 単相：200V 20A 管：液φ6.35・ガスφ9.52 配管長20m（チャージレス15m）／高低差15m 瞬間消費電力量1,282kWh、省エネ基準達成率89%、通年エネルギー消費効率5.9 冷房：畳数目安11～17、能力4.0kW、消費電力965W(105～1,450) 暖房：畳数目安11～14、能力5.0kW、消費電力1,090W(105～3,670)
事務室 2台	AC-2	室内機：MSZ-BXV2522 室外機：MUZ-BXV2522 単相：100V 15A 管：液φ6.35・ガスφ9.52 配管長20m（チャージレス10m）／高低差15m 期間消費電力量815kWh、省エネ基準達成率87%、通年エネルギー消費効率5.8 冷房：畳数目安6～9、能力2.2kW、消費電力655W(165～940) 暖房：畳数目安5～6、能力2.2kW、消費電力470W(135～1,315)
職員更衣室 1台	AC-3	室内機：MSZ-BXV2222 室外機：MUZ-BXV2222 単相：100V 15A 管：液φ6.35・ガスφ9.52 配管長20m（チャージレス10m）／高低差15m 期間消費電力量717kWh、省エネ基準達成率87%、通年エネルギー消費効率5.8 冷房：畳数目安7～10、能力2.5kW、消費電力745W(165～990) 暖房：畳数目安6～8、能力2.8kW、消費電力625W(135～1,315)

工事名 令和4年度（仮称）やすらぎパークとみや管理棟新築工事	(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	管理者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	設計者 池下 久幸 一級建築士 第280837号	担当者	図面名 空気調和設備図	図面 No. M-8
備考		日付	日付	日付	縮尺 1/100	

